

令和5年度第2回朝霞市子ども・子育て会議 次第

日 時：令和5年8月31日（木）
午後2時から午後4時まで
場 所：朝霞市民会館（ゆめぱれす）
会議室（梅）

1 開 会

2 議 題

- (1) 第2期朝霞市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理について
- (2) 第1回朝霞市子ども・子育て支援事業計画部会の報告について
- (3) その他

3 閉 会

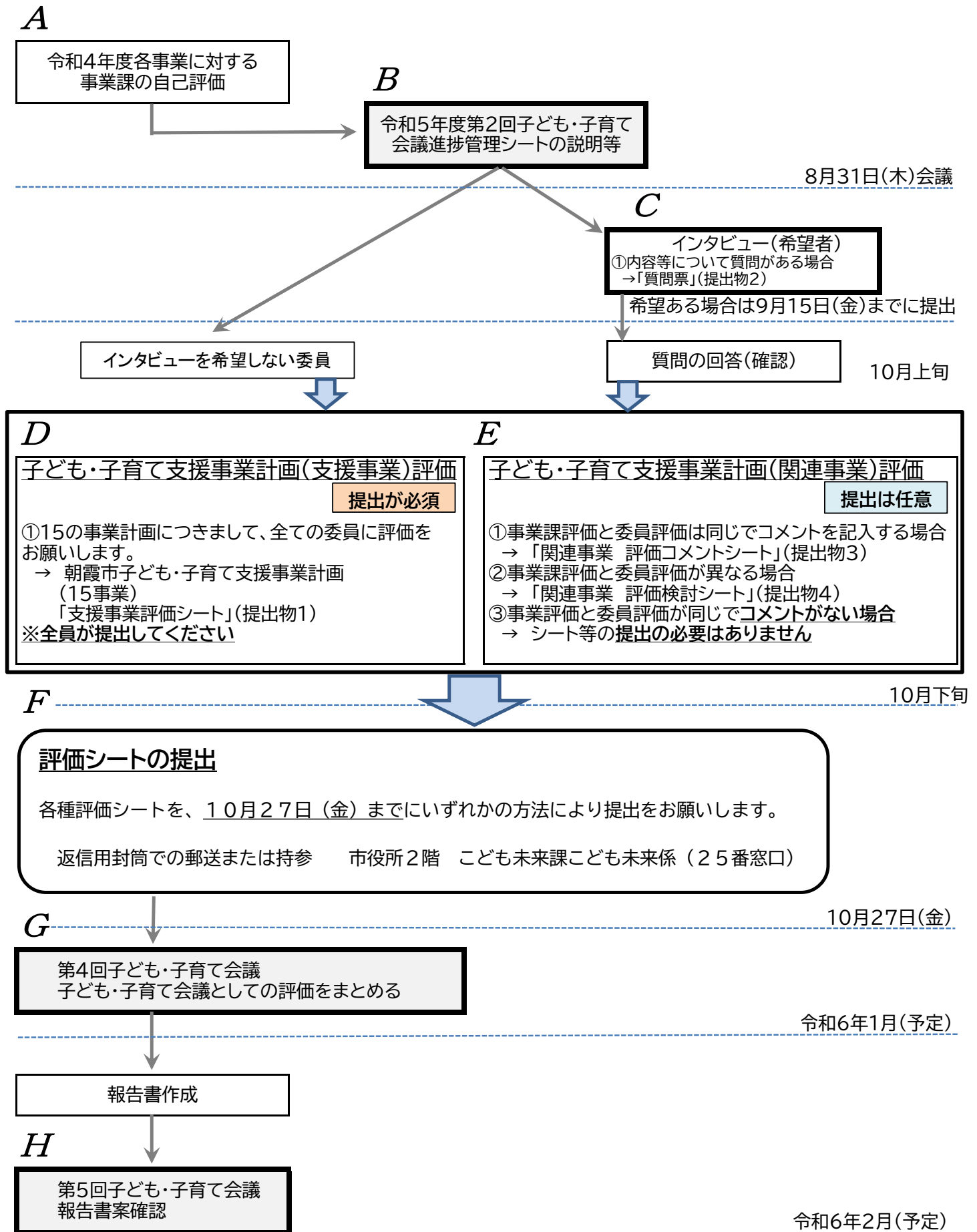
朝霞市子ども・子育て会議委員 部会名簿

(任期：令和5年7月6日～令和7年3月31日)

部会	選出団体等	氏名	区分
保育園等運営検討部会 (6名)	十文字学園女子大学	鈴木 晴子	1号
	朝霞市小中学校校長会	小林 美加	1号
	朝霞市放課後児童クラブ連絡協議会	坂本 彩香	2号
	東上地区私立幼稚園協会朝霞支部	佐藤 順與	3号
	朝霞市民生委員・児童委員協議会	宮永 純子	5号
	朝霞市青少年育成市民会議	金子 和人	5号
保育園等利用者負担検討部会 (6名)	公益財団法人21世紀職業財団	山谷 真名	1号
	公営保育園保護者	新井 智美	2号
	朝霞市社会福祉法人民間保育園連絡協議会	金子 雅美	3号
	連合埼玉朝霞・東入間地域協議会	藤田 勇	5号
	子ども会連合会	渡邊 俊夫	5号
	朝霞市地区里親会	江川 千佳子	5号
子ども・子育て支援事業計画部会 (13名)	学校法人東洋大学	嶋崎 博嗣	1号
	民営保育園保護者	田島 由華	2号
	幼稚園保護者	鈴木 厚子	2号
	朝霞市保護者代表連絡会	菅原 慎也	2号
	朝霞市社会福祉協議会	川合 義和	3号
	朝霞地区福祉会みつばすみれ学園	岡部 利枝	3号
	公募市民	神部 陽一	4号
	公募市民	獅子倉 賢治	4号
	朝霞市議会議員	本田 麻希子	5号
	NPO法人なかよしねっと	安孫子 陽子	5号
	あさか子育てネットワーク	喜多 陽子	5号
	子どもの居場所ネット	吉村 智代	5号
	児童館利用団体	鶴田 美樹	5号

計25名

朝霞市子ども・子育て支援事業計画 評価フローチャート



※太枠の項目が委員の皆様にご実施していただく内容となります。

※各提出物は、メールでの提出も可能です。

様式をお送りしますので、kodomo_mirai@city.asaka.lg.jp に御連絡ください。

朝霞市子ども・子育て支援事業計画 支援事業 進捗状況一覧

※R4 進捗状況（事業課の自己評価）の目安について

- A: 着実に進捗している。予算執行状況が80%以上、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が80%以上であり、総合的に勘案して着実に進捗していると判断できる場合。
- B: ある程度進捗している。予算執行状況が60%~79%、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が60%~70%であり、総合的に勘案してある程度進捗していると判断できる場合。
- C: 進捗が滞り調でない。予算執行状況が40%~59%、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が40%~59%であり、総合的に勘案して進捗が滞り調でないとは判断できる場合。
- D: 進捗していない。予算執行状況が39%以下、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が39%以下であり総合的に勘案して進捗していないと判断できる場合。

事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
			R2	R3	R4	R5	R6
5	幼児期の学校教育・保育の提供	保育課	A	A	A		

6 地域子ども・子育て支援事業の充実

6-(1)	延長保育事業（時間外保育事業）	保育課	A	A	A		
6-(2)	放課後児童クラブ	保育課	A	A	B		
6-(3)	子育て短期支援事業（ショートステイ事業）	こども未来課	A	A	A		
6-(4)	乳児家庭全戸訪問事業	健康づくり課	A	A	A		
6-(5)	養育支援訪問事業及び要保護児童支援事業	こども未来課	B	A	A		
6-(6)	地域子育て支援拠点事業	保育課	B	B	A		
6-(7)-①	一時預かり事業（幼稚園）	保育課	A	A	A		
6-(7)-②	一時預かり事業（保育園等）	保育課	A	A	B		
6-(8)	病児保育事業	保育課	A	A	B		
6-(9)	ファミリー・サポート・センター事業	保育課	A	A	A		
6-(10)	妊婦健康診査	健康づくり課	A	A	A		
6-(11)	利用者支援事業	健康づくり課	A	A	A		
6-(12)	実費徴収に係る補足給付を行う事業	保育課	B	B	B		
6-(13)	多様な事業者の参入促進・能力活用事業	保育課	A	A	A		

朝霞市子ども・子育て支援事業計画
【支援事業】

進捗管理シート
(令和4年度事業)

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート

部名	子ども・健康部	課名	保育課	事業番号	5											
基本方針	幼児期の学校教育・保育の提供															
事業名	幼児期の学校教育・保育の提供															
事業概要	乳幼児に対する学校教育や保育を適切に提供できるように、保護者のニーズに基づき、幼稚園、保育所、小規模保育事業などの基盤整備を進めます。															
市の現状	入所者数(幼稚園5月1日、その他は4月1日)															
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度										
	幼稚園	2,242人	2,250人	2,206人	2,210人	2,152人										
	保育園、認定こども園	2,397人	2,556人	2,718人	2,867人	3,048人										
	小規模保育事業	113人	177人	237人	254人	352人										
	家庭保育室	92人	107人	59人	33人	6人										
事業の見込み、 確保内容及び実績	幼児期の学校教育【幼稚園・認定こども園】(1号認定、新1号認定)															
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度										
	量の見込み (必要利用定員総数)	1,650人	1,650人	1,650人	1,650人	1,650人										
	確保の内容 (幼稚園・認定こども園)	1,650人	1,650人	1,650人	1,650人	1,650人										
	実績	2,140人	2,140人	2,140人	—	—										
	幼児期の保育【保育園・認定こども園】(2号認定、新2号認定、3号認定)															
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度						
		2号	3号		2号	3号		2号	3号							
			0歳	1・2歳	0歳	1・2歳	0歳	1・2歳	0歳	1・2歳						
	量の見込み (必要利用定員総数)	2,285	383	1,429	2,330	385	1,450	2,330	385	1,449	2,330	385	1,459	2,330	385	1,477
	確保の内容(保育所・認定こども園・幼稚園及び預かり保育)	2,285	239	983	2,330	242	995	2,330	242	995	2,330	242	995	2,330	242	995
	確保の内容 (小規模保育事業等)	—	86	321	—	89	337	—	92	353	—	95	369	—	98	385
	確保の内容 (その他)	—	58	125	—	54	118	—	51	101	—	48	95	—	45	97
	実績	2,543	336	1,404	2,527	329	1,472	2,590	300	1,464	—	—	—	—	—	—
	確保の方策	<p>本市の就学前児童数は横ばいで推移しておりますが、保育所や小規模保育事業等の申込者数は増加傾向にあるため、保育所や小規模保育事業等の整備を行い、待機児童の解消に努めます。さらに、幼稚園の預かり保育事業に補助金を交付することで幼稚園の利用促進を図ります。</p> <p>また、令和元(2019)年10月より幼児教育・保育無償化が開始されたことにより、保育所や幼稚園の3歳児～5歳児クラスの保育料が無料となり、幼稚園については、預かり保育事業の利用料も無償化の対象となるため、保護者のニーズに合わせて幼稚園、保育所、小規模保育事業等の活用を推進します。</p>														
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<p>適切な定員設定として、令和4年4月入所に引き続き、令和5年4月入所の定員について公設保育園の0歳児受入人数を減少して設定(受入減により翌年度1歳児としての受入増に繋がる内容)。</p> <p>また、待機児童解消に向けて、保育所2施設の整備を行った。</p>															
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク	A	事業の実施 により得られた成果	<p>受入定員 4,090人(令和5年4月1日)</p> <p>保育園 3,492人 認定こども園 149人 小規模 442人 事業所内 7人</p> <p>入所児童 3,785人(令和5年4月1日時点)</p> <p>保育園 3,224人 認定こども園 146人 小規模 409人 事業所内 6人</p> <p>待機児童 9人(R5年4月)、21人(R4年4月)、43人(R3年4月)、</p>													
自己評価ランクの理由 (令和3年度と自己評価 が変わった又はA以外の 評価が連続している場合 のみ記載)																
推進に関する課題	保育園を希望する家庭が増加する中、待機児童の解消に至っていない。															
令和5年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定してい るか)	現行事業の継続に加え、待機児童の発生要因を分析し、各年齢による定員配分の見直しを行うなど、待機児童の解消に向けた取組を行う。															
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度)		コメント														
A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない																

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート

部名	子ども・健康部	課名	保育課	事業番号	6-(1)	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	延長保育事業(時間外保育事業)					
事業概要	保育所等を利用するフルタイム勤務の共働き世帯数や通勤時間を含む勤務時間等の状況から、保育時間のニーズを把握し、延長保育の充実を進めます。					
市の現状	延長保育事業の実施箇所数（令和3年度）					
	実施時間	公設保育園		民設保育園・小規模保育施設		
	午後6時から午後7時までの延長保育	9か所		27 か所		
	午後6時から午後7時30分までの延長保育	0か所		12 か所		
	午後6時から午後8時までの延長保育	2か所		21 か所		
	計	11か所		60 か所		
事業の見込み、 確保内容及び実績	延長保育事業の実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	年間利用者数 (午後6時以降延べ人数)	184,239人	190,244人	196,034人	178,819人	163,690人
	量の見込み、確保内容及び実績					
事業の見込み、 確保内容及び実績		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	1,549人	1,524人	1,522人	1,518人	1,536人
	確保の内容	3,514人	3,593人	3,612人	3,631人	3,650人
	実績	3,861人	3,915人	3,941人	—	—
確保の方策	延長保育事業は、各保育所等における保育標準時間として提供される11時間の保育時間を超える時間帯に提供される保育であり、各施設において設定している延長時間を含む開園時間は、保護者のニーズに応えることができますようにします。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	保育園の開所時間を午後7時まで時間延長(一部の園では午後8時まで)する。					
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	全園にて延長保育実施(71施設) ※園により最大午後8時まで時間延長。 年間利用者数133,758人			
自己評価ランクの理由 (令和3年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	延長保育料(基本保育時間外)の設定					
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート

部名	こども・健康部	課名	保育課	事業番号	6-(2)	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	放課後児童クラブ					
事業概要	就労等により、昼間家庭に保護者のいない小学生の児童を対象に、放課後や長期休暇中に、保護者に代わって保育の場を提供するものです。					
市の現状	放課後児童クラブ実績					
	入所者数(4月1日時点)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	1～3年生	1,045人	1,211人	1,293人	1,373人	1,486人
	4～6年生	96人	52人	53人	66人	85人
	合計	1,141人	1,263人	1,346人	1,439人	1,571人
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み(1～3年生)	1,580人	1,600人	1,620人	1,640人	1,660人
	量の見込み(4～6年生)	190人	190人	190人	190人	190人
	量の見込み(合計)	1,770人	1,790人	1,810人	1,830人	1,850人
	確保の内容	1,650人	1,730人	1,770人	1,810人	1,850人
実績	1,643人	1,764人	1,765人	—	—	
確保の方策	放課後児童クラブは、市の事業として、小学校の隣接地等に保育室を設置し、実施してきましたが、利用希望者の増加により待機児童が発生していることから、平成29(2017)年度から、民間事業者が運営する放課後児童クラブを誘致しています。今後も引き続き、利用希望者が入所できるよう民間事業者の活用などを検討します。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・公設クラブ10か所、民間クラブ11か所で保育を実施 ・令和5年4月入所選考に当たり、低学年生の入所希望が特に多い学区においては、小学校の教室を借用して、定員を超える児童を受け入れた(二小・四小・七小)。 ・令和5年4月に民間クラブ1か所の新規開所に向けた準備(50人の定員増) 					
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実 施により得 られた成果	放課後児童クラブ数 21か所 入所者数 1,778人(令和5年4月入所) 1,765人(令和4年4月入所) 1,657人(令和3年4月入所) 入所保留者数 64人(令和5年4月) 69人(令和4年4月) 69人(令和3年4月)			
自己評価ランクの理由 (令和3年度と自己評価 が変わった又はA以外の 評価が連続している場合 のみ記載)	・民間クラブ1か所の新規開所により、令和5年4月の放課後児童クラブの定員を50人増やすことができたため。また、既存のクラブにおいても、定員を見直した結果、さらに14人の枠を確保することができた。 (令和4年度定員)1,765人 (令和5年度定員)1,829人					
推進に関する課題	学区によっては、公設クラブの定員に空き枠があるなど、需要にばらつきがある。需要が高い学区には民間クラブの設置を進めているほか、マンション開発によって、今後、需要が高まることを見込む学区もあるなど、入所保留児童の解消には至っていない。					
令和5年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定してい るか)	マンション開発中のエリアなどにおける保育の需要を学区ごとに分析し、必要に応じて民間クラブの新規開所計画を立てる。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート

部名	子ども・健康部	課名	子ども未来課	事業番号	6-(3)	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	子育て短期支援事業(ショートステイ事業)					
事業概要	子育て短期支援事業は、保護者の疾病や仕事などにより、児童の養育が一時的に困難になった場合などに、市内里親宅で一時的に児童を預かる事業です。					
市の現状	子育て短期支援事業の実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	年間利用者数(延べ数)	96人/年	65人/年	48人/年	65人/年	97人/年
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み(延べ数)	70人/年	70人/年	70人/年	70人/年	70人/年
	確保の内容(延べ数)	70人/年	70人/年	70人/年	70人/年	70人/年
	実績	87人/年	58人/年	95人/年	—	—
確保の方策	所沢児童相談所の里親認定調査に同行し、里親認定登録前から里親との関係づくりや養育環境の確認をしている。里親認定登録後、朝霞市地区里親会の協力により、市内里親へ事業の委託契約の依頼をしている。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	保護者の育児疲れ、疾病、仕事などの理由により、児童の養育が一時的に困難になった場合に、委託里親宅で一定期間の養育を行った。 市内里親家庭9世帯と委託契約を締結し、うち6世帯に委託を行った。 委託里親を増やすため、市役所1階市民ホールにて、里親制度をPRするためのパネルを設置し、ショートステイ事業と里親制度の普及啓発を行った。					
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施 により得ら れた成果	年間利用者数(延べ数) 36人 令和4年度委託里親数 目標値 5世帯 実績値 6世帯 ショートステイ受入日数 実績値 95日間			
自己評価ランクの理由 (令和3年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)						
推進に関する課題	ショートステイ事業の継続実施のため、より多くの新規委託里親を確保すること。 ショートステイ事業や里親制度について、市民への広報を行うこと。					
令和5年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定してい るか)	現行事業を継続しつつ、委託里親を確保するために里親制度の広報啓発を行う。 委託里親の資質向上のため、市主催研修への参加依頼など、研修機会を設ける。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	コメント					

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート

部名	こども・健康部	課名	健康づくり課	事業番号	6-(4)	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	乳児家庭全戸訪問事業					
事業概要	乳児家庭全戸訪問事業は、生後4か月までの乳児のいるすべての家庭〔新生児訪問(生後2か月まで)を含む〕を訪問し、子育て支援情報の提供や養育環境等の把握を行い、必要なサービスにつなげる事業です。					
市の現状	乳児家庭全戸訪問の実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	出生者数	1,368人	1,370人	1,317人	1,339人	1,264人
	乳児家庭全戸訪問数	1,244人	1,259人	1,219人	1,254人	1,234人
	訪問率(%)	90.9%	89.9%	87.1%	89.6%	97.6%
事業の見込み、確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み(訪問人数)	1,251人	1,206人	1,208人	1,300人	1,300人
	確保の内容(訪問人数)	1,251人	1,206人	1,208人	1,300人	1,300人
	確保の内容(訪問率)	100%	100%	100%	100%	100%
	訪問人数実績	1,186人	1,109人	1,197人	—	—
	訪問率実績	94.8%	92.0%	99.10%	—	—
確保の方策	対象者の把握については、出生後に提出される出生連絡票(お誕生はがき)と生後3か月で出生連絡票が提出されていない家庭の抽出によって行っており、訪問希望のない家庭へも全戸訪問を実施しています。不在の家庭もあり、全数把握には至っていませんが、引き続き訪問を継続していきます。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	生後4か月未満の全乳児及び保護者に対して家庭訪問を実施。					
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和4年度 乳児家庭全戸訪問件数 1,197人 (新生児訪問件数1,038人 こんには赤ちゃん訪問件数159人)			
自己評価ランクの理由 (令和3年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	本事業については、すべての乳児がいる家庭に全戸訪問を実施(100%)しているが、対象児が入院中や里帰り中と不在の場合も多く、乳児と保護者の把握がすべてできない状況が課題である。					
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	母子手帳交付時に子育て包括支援センターで行う面談の際に、産後の訪問等についての案内を更に充実し、訪問に繋がるよう努める。また、4か月児健診までの期間で、ほぼ全数の把握はできているため、引き続き訪問と健診での支援を継続する。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート

部名	子ども・健康部	課名	子ども未来課	事業番号	6-(5)	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	養育支援訪問事業及び要保護児童支援事業					
事業概要	<p>養育支援訪問事業は、育児ストレスなどにより、子育てに不安や孤独感を抱える家庭や、養育に支援が必要な家庭を対象に、ホームヘルプ等による家事支援や見守り支援、助産師・保育士による育児支援を実施しています。</p> <p>要保護児童支援事業は、様々な理由によって家庭での養育が困難となった児童や、子育てに悩む保護者を支援するために、要保護児童対策地域協議会を設置し、児童の適切な保護、保護者支援及び児童虐待の予防を目的に、必要な情報交換を行うとともに、支援等の内容に関する協議を行い、迅速な対応ができるようにするものです。</p>					
市の現状	養育支援事業実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	養育支援訪問日数	6日	3日	19日	19日	81日
事業の見込み、確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み(訪問日数)	20日	20日	20日	20日	20日
	確保の内容	20日	20日	20日	20日	20日
	実績(4月1日時点)	2日	41日	52日	—	—
確保の方策	<p>養育支援訪問事業を行う際には、子ども未来課(児童相談担当)や要保護児童対策地域協議会での検討に基づき、利用決定を行い、訪問先の家庭の理解を得て、養育支援訪問支援員(助産師・保育士・ホームヘルパー等)を派遣します。</p> <p>地域で孤立していたり、子どもの養育に課題があったりする家庭の把握に努め、児童と保護者への支援の充実を図ります。</p>					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したかまた、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<p>子育て世代包括支援センターと毎月開催する連絡会議において、子どもの養育に支援を要する家庭を把握し、養育支援訪問事業の導入を検討。専門職の養育支援訪問事業支援員が家庭訪問し、育児方法を実践するなどして具体的に支援。育児相談を受けながら継続した支援や援助を行った。</p> <p>また、支援状況を踏まえて児童相談対応を行った。</p>					
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<p>令和4年度 支援員 5人(助産師1人、保育士3人、ヘルパー1人) 養育支援利用者(保護者) 5人 養育支援利用日数 52日</p>			
自己評価ランクの理由 (令和3年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合の)						
推進に関する課題	養育支援員の確保、子どもの養育に支援を要する家庭の把握、利用の促進					
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	子どもの養育に支援が必要な家庭の把握に努めるとともに、養育支援訪問事業支援員の資質向上のため、市主催研修への参加依頼、県などが主催する研修情報の提供など、研修機会を設ける。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート

部名	子ども・健康部	課名	保育課	事業番号	6-(6)	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	地域子育て支援拠点事業					
事業概要	地域子育て支援拠点事業は、保育園や公共施設などの地域の身近な場所で、子育て中の家庭の交流・育児相談等を行う事業です。					
市の現状	地域子育て支援センターの利用実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	利用者数	387人/日	453人/日	384人/日	364人/日	326人/日
	施設数	9か所	9か所	9か所	9か所	9か所
事業の見込み、確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	370人/日	370人/日	370人/日	370人/日	370人/日
	確保の内容	9か所	9か所	9か所	9か所	9か所
	実績	8か所	8か所	8か所	—	—
確保の方策	保育所や児童館などに併設する形で設置された子育て支援センターにおいて、様々な事業を行います。 子育て支援センターでは、併設する保育所や児童館などと連携しながら、子育てに関する専門性の高い職員が、各施設の特色のある事業を実施するほか、子育て相談等を行います。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・子育てに関する相談、指導、各種事業(誕生会、身体計測、食の安心サロン、児童の月齢に応じた集り等)を企画・実施した。 ・市内子育て支援センター8か所の職員を集めたセンター会議を2回開催し、新型コロナウイルス感染症への対応や行事の開催方法など、各センターで実施している内容を共有し、各センターの改善に取り組んだ。					
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	市内子育て支援センター 全8か所 (公設公営2か所、公設民営2か所、民設民営4か所) 延べ利用者数 R4年度 56,085人(大人26,283人、児童29,802人) (8か所合計) R3年度 50,378人(大人23,140人、児童27,238人)			
自己評価ランクの理由 (令和3年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	0歳児の集まるイベント、1歳児の集まるイベントなど、年齢を限定したイベントを実施したことで、同じ年齢の児童を持つ保護者が知り合える機会を提供することができた。また、子育てに関する相談を受け、保護者の育児に関する不安を軽減できたと考えるため。					
推進に関する課題	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、外出を控えていた家庭が子育て支援センターを利用しに来ることが増えることを想定している。事業の参加者が特定の利用者に偏らないように、新規の予約枠を設けるなど、新規利用者が子育て支援センターを利用しやすい環境を作っていく。					
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	民間の子育て支援センターの職員に対して、朝霞市が実施している子育て関連施策を共有し、各センターにおいて、保護者からの相談に対して、同様の対応ができるように研修会を実施する予定である。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート

部名	こども・健康部	課名	保育課	事業番号	6-(7)-①	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	一時預かり事業					
事業概要	様々な理由で、家庭において保育を受けることができない乳幼児を対象に、幼稚園や保育所等において、一時的に預かる事業です。					
市の現状	一時預かり事業実績(幼稚園)					
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	利用者数	—	—	88人/日	135人/日	111人/日
事業の見込み、確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	400人/日	400人/日	400人/日	400人/日	400人/日
	確保の内容	400人/日	400人/日	400人/日	400人/日	400人/日
	実績	400人/日	400人/日	400人/日	—	—
確保の方策	幼児教育・保育の無償化の対象施設として確認をした施設に対しては、幼稚園の在園児を対象として、教育時間の前後や、夏休み等の長期休業中に預かり保育を行います。 また、市では、幼稚園での預かり保育を推進するため、実施時間や利用者数等に応じて、市内の幼稚園に預かり保育事業補助金を交付します。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全8園で預かり保育事業を実施(うち市の基準を満たす3園に補助金を交付) ・保育を必要とする児童を認定(2号または3号認定)し、教育時間の前後などの預かり保育に要した経費を補助した。 ・令和2年度及び令和3年度に利用した分の利用料について、時効(2年)を確認した上で補助した。 					
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全8園で預かり保育事業を実施 うち市の基準を満たす3園に補助金を交付(朝霞たちばな幼稚園、根岸幼稚園、朝霞花の木幼稚園) ・幼稚園(私学助成)に通う2号または3号認定子ども数 R4年度 454人 うち預かり保育を利用した実人数 349人(令和4年度末時点) 働きながら子どもを幼稚園に通わせたい保護者が、安心して子どもを幼稚園に通わせることができるように、市内全8園にて預かり保育事業を実施し、環境を整えた。			
自己評価ランクの理由 (令和3年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	共働き世帯の増加により、より長い時間、幼稚園で児童を預かることが求められている。					
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	働きながら幼稚園に子どもを通わせることができる仕組みがある自治体を視察し、本市においてもさらに預かり保育を充実させることができるか調査研究する。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート

部名	こども・健康部	課名	保育課	事業番号	6-(7)-②	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	一時預かり事業					
事業概要	様々な理由で、家庭において保育を受けることができない乳幼児を対象に、幼稚園や保育所等において、一時的に預かる事業です。					
市の現状	一時預かり事業実績(保育所等)					
	利用者数(年間)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	保育所等	5,868人	4,838人	5,106人	3,398人	2,984人
	ファミリー・サポート・センター事業等	544人	512人	598人	458人	711人
事業の見込み、確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日
	確保の内容	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日
	実績	70人/日	70人/日	70人/日	—	—
確保の方策	保育所で行う預かり保育は、保護者の疾病、出産及び親族の介護・看護、その他育児疲れなどでリフレッシュしたいときなどに利用できる制度です。 ファミリー・サポート・センター事業等でも、サポート会員による預かり保育が可能です。 また、利用者が「施設等利用給付認定」を受けていて、保育の必要性が認められる方の場合、無償化の対象となる場合があります。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・東朝霞保育園・さくら保育園・仲町保育園・朝霞どろんこ保育園(R4年度開始:11～3月休止)の4園にて一時保育を実施 ・低所得者(住民税非課税世帯等)の保育料を軽減した(延べ86人) ・ファミリー・サポート・センターのサポート会員による預かりを実施					
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	■利用者数 東朝霞保育園 R4年度: 412人 R3年度: 447人 R2年度: 479人 さくら保育園 R4年度: 514人 R3年度: 338人 R2年度: 421人 仲町保育園 R4年度: 1,885人 R3年度: 1,746人 R2年度: 2,084人 朝霞どろんこ保育園 R4年度: 3人(11月～3月休止) ■利用サービス内訳 非定型保育サービス…利用者数 延べ1,365人 緊急保育サービス…利用者数 延べ607人 リフレッシュサービス…利用者数 延べ842人			
自己評価ランクの理由 (令和3年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	令和3年度と比較し、利用者数は増えているものの、制度がわかりにくいといった指摘を受けることもあることから、利用者が使いやすい仕組みづくりを考える必要があるため。					
推進に関する課題	リフレッシュが必要な世帯が、気軽に一時保育を利用することができるように、制度の周知を進める必要がある。					
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	市HPのほか、保育課のSNSを活用して広く制度を周知し、利用したい人が利用できるようにする。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート

部名	子ども・健康部	課名	保育課	事業番号	6-(8)																								
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実																												
事業名	病児保育事業																												
事業概要	児童が急な病気となり、保育所等が利用できず、また、保護者も就労などにより、保育ができない場合に、病院や保育所などに併設される専用の保育室で、看護師等が一時的に保育を行う事業です。																												
市の現状	病児保育の実績 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数（年間）</td> <td>133人</td> <td>308人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>利用者数（月平均）</td> <td>15人</td> <td>26人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>						平成30年度	令和元年度	令和2年度	利用者数（年間）	133人	308人	21人	利用者数（月平均）	15人	26人	2人												
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																										
利用者数（年間）	133人	308人	21人																										
利用者数（月平均）	15人	26人	2人																										
事業の見込み、確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>量の見込み</td> <td>5人/日</td> <td>5人/日</td> <td>5人/日</td> <td>5人/日</td> <td>5人/日</td> </tr> <tr> <td>確保の内容</td> <td>5人/日</td> <td>5人/日</td> <td>5人/日</td> <td>5人/日</td> <td>5人/日</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>5人/日</td> <td>5人/日</td> <td>5人/日</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	量の見込み	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日	確保の内容	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日	実績	5人/日	5人/日	5人/日	—	—
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																								
量の見込み	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日																								
確保の内容	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日																								
実績	5人/日	5人/日	5人/日	—	—																								
確保の方策	病児保育は、児童の病気の急変などを想定する必要があるため、医師が常駐する医療機関に併設する「医療機関併設型」が望ましいと考えます。 現在実施している病児保育を継続しながら、市民のニーズの把握を行い、今後も病児保育を確保します。																												
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育室たまご(運営主体:TMGあさか医療センター)にて病児保育を実施 ・生活保護受給世帯等が病児保育を利用した場合に、利用料を補助(1件) 																												
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	病児保育室たまご 新規登録者数 R4年度: 52人 R3年度: 99人 R2年度: 72人 利用者数 R4年度: 43人 R3年度: 59人、R2年度: 21人																										
自己評価ランクの理由 (令和3年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	児童の急な病気により保育所等が利用できない児童に対し、保育の提供はできたものの、事前の登録が必要であることを把握していない保護者がいたことから、制度の周知が不足していると考えられるため。																												
推進に関する課題	事前の登録が必要であることから、利用方法や利用条件の周知徹底を図る。																												
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	市HPのほか、保育課のSNSを活用して広く制度を周知し、利用したい人が利用できるようにする。																												
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	コメント																												

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート

部名	こども・健康部	課名	保育課	事業番号	6-(9)		
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実						
事業名	ファミリー・サポート・センター事業						
事業概要	ファミリー・サポート・センター事業は、育児の援助をしたい方(提供会員)と、育児の援助をしてほしい方(依頼会員)が会員となり、地域の中で助け合いながら子育ての援助活動をする会員組織で相互の活動の連絡・調整を実施する事業です。						
市の現状	ファミリーサポートセンター事業(小学1～6年生)※令和2年度以降は小学生以外の乳幼児も含む						
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	会員数	依頼会員数	1,152人	1,235人	1,335人	1,420人	1,541人
		提供会員数	266人	262人	258人	278人	274人
	利用人数(年間)		840人	1,082人	1,598人	1,644人	3,020人
利用人数(日平均)		2人	3人	4人	5人	8人	
事業の見込み、確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績						
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み		9人/日	9人/日	9人/日	9人/日	9人/日
	確保の内容		9人/日	9人/日	9人/日	9人/日	9人/日
実績		8人/日	10人/日	10人/日	—	—	
確保の方策	提供会員の拡大を進めながら、提供する子育ての援助活動の、さらなる質の向上を図るため、提供会員を対象とする研修の充実に努めます。						
具体的な事業内容 (どんなことを実施したかまた、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	入会説明会(3回36人参加):ファミリー・サポート・センターの概要 養成講習会(2回16人参加):サポート会員としての心構え、小児看護、安全・事故、心の発達、子どもの世話 ステップアップ講習会(1回6人参加):移動ポケットづくり						
施策の進捗状況と成果(令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	会員数(令和4年度末現在) 1,739人(令和3年度比44人増) ファミリー会員 1,460人(令和3年度比37人増) サポート会員 192人(令和3年度比5人増) 両方会員 87人(令和3年度比2人増) 延べ活動回数 3,928回(令和5年5月12日把握分まで) ※記載の数値には小学生以外の乳幼児も含む。 サポート会員養成講習会には、毎回10人を超える参加者があり、サポート会員数を増やすことができた				
自己評価ランクの理由 (令和3年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)							
推進に関する課題	令和3年度と比較し、サポート会員を増やすことはできたが、子どもを預けたい人の要望に十分に対応するために、さらなるサポート会員の成り手を増やしていかななくてはならない。						
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	サポート会員を増やすために、サポート会員養成講習会を広く周知する。市HP・市広報紙・保育課SNSのほか、朝霞駅前の掲示板や市内商業施設への掲示も依頼する。 令和5年度は、朝霞市ファミリー・サポート・センターの発足20年であることから、会員の交流の場として記念事業の実施を企画・検討している。						
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	コメント						

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート

部名	子ども・健康部	課名	健康づくり課	事業番号	6-(10)	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	妊婦健康診査					
事業概要	妊婦健康診査は、妊婦の健康の保持増進を図り、安全、安心な妊娠、出産に資するために適切な健診を行う事業です。					
市の現状	妊婦健康診査実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	対象者数	1,491人	1,427人	1,410人	1,322人	1,362人
	受診者数	1,410人	1,413人	1,381人	1,288人	1,333人
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み(受診者数)	1,216人	1,271人	1,166人	1400人	1400人
	確保の内容(受診者数)	1,216人	1,271人	1,166人	1400人	1400人
	実績	1,167人	1,241人	1,158人	—	—
確保の方策	母子健康手帳に添付された「妊婦健康診査受診票・助成券」により、妊婦健康診査の費用の一部(14回分)を助成し、妊婦の健康管理の向上を進めています。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	妊婦一般健康診査 【補助金】委託医療機関以外の医療機関を受診している妊婦に対し補助金を交付 1人あたり補助額: 上限102,190円					
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施 により得ら れた成果	令和4年度 活動指標: 妊婦一般健康診査公費負担回数 目標・計画 14回 実績14回 成 果: 妊婦一般健康診査受診者数 1, 158人 妊婦一般健康診査受診率(1回目を評価) 目標・計画 97% 実績 99%			
自己評価ランクの理由 (令和3年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)						
推進に関する課題	本事業は、妊婦健康診査に係る経済的負担の軽減を図れることから、母子の健康管理のためにも、効果的な活用が図られるよう、妊娠届出時等の周知を徹底する必要がある。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	令和5年度からは、産後1か月ごろに受診する産婦健診についても、1回分の費用助成を行うことで、産後の心身の状態の把握や早期からの支援につなげていく。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート

部名	子ども・健康部	課名	健康づくり課	事業番号	6-(11)	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	利用者支援事業					
事業概要	子育て家庭や妊産婦が、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるように、身近な場所での相談や情報提供、助言等必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり等を行う事業です。					
市の現状	妊婦健康診査実績 子育て世代包括支援センターの設置・運営					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	母子保健型(施設数)	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
	基本型・特定型(施設数)	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所
事業の見込み、確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込(施設数)	1か所	1か所	1か所	1か所	2か所
	確保の内容(施設数)	1か所	1か所	1か所	1か所	2か所
確保の方策	<p>妊娠期から切れ目のない子育て支援の充実を目指し平成29(2017)年10月からは子育て世代包括支援センター(保健センター内)を設置・運営を開始しています。すべての妊婦に対し、助産師や保健師が母子健康手帳を交付し、子育てのスタートをサポートします。妊娠・出産や子育ての悩み、疑問にお答えしたり、育児サービスの情報を提供、産後ケア事業等を行っています。</p>					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したかまた、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<p>妊娠届出をした妊婦全員に保健師・助産師が面接し、母子健康手帳の交付し、必要に応じて産前・産後の支援を行う。また、産後の新生児訪問や産後ケア事業を実施するとともに、妊娠期から切れ目のない子育て支援を実施。</p>					
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和4年度実績 妊娠届出数 1,208人 うち妊婦との面談数 1,163人			
自己評価ランクの理由 (令和3年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	妊娠届出の時期は、妊娠初期で体調がすぐれない妊婦も多いことや、子育て世代包括支援センターが一か所であるため、利便性の課題がある。					
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	北朝霞方面への設置について検討する。					
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート

部名	こども・健康部	課名	保育課	事業番号	6-(12)	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	実費徴収に係る補足給付を行う事業					
事業概要	食事の提供に要する費用(副食費分)について、未移行幼稚園に通う低所得世帯等を対象に費用の一部を補助する事業です。 (保護者の世帯所得の状況等を勘案し、助成を行います。)					
市の現状	実費徴収に係る補足給付を行う事業実績					
		令和元年度	令和2年度			
	実績	58人	36人	※幼児教育・保育の無償化に伴い、令和元年10月開始		
事業の見込み、確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	240人	240人	240人	240人	240人
	確保の内容	240人	240人	240人	240人	240人
	実績	36人	33人	53人	—	—
確保の方策	保護者の世帯所得の状況等を勘案し、助成を行います。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したかまた、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・幼稚園(私学助成)に通う児童の保護者に、園を通じて本事業の案内を配布 ・申請のあった対象者に昼食代のうち副食費(月額4,500円上限)を補助					
施策の進捗状況と成果(令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	副食費に対し、費用の一部を補助することにより、経済的な支援ができた。 申請者数 R4: 53人 R3: 33人			
自己評価ランクの理由 (令和3年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	対象者に対して、申請者が少なかったため。					
推進に関する課題	対象者に対して、申請者が少ない。当該補助金は、①小学3年生の長子から数えて3子以上または②低所得の世帯が対象であり、特に②の世帯について、園に対象であることを知られずに補助できる仕組みが必要である。					
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	他市において、①第3子か②低所得かを示さずに、対象者一覧を園に示している事例があることから、本市においても同様の対応とし、補助件数を増やすことができるか検討する。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート

部名	こども・健康部	課名	保育課	事業番号	6-(13)	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	多様な事業者の参入促進・能力活用事業					
事業概要	<p>地域の教育・保育需要に沿った教育・保育施設、地域子ども・子育て支援事業の量的拡大を進める上で、多様な事業者の新規参入を支援するほか、私立認定こども園における特別な支援が必要な子どもの受入体制を構築することで、良質かつ適切な教育・保育等の提供体制の確保を図る事業です。</p> <p>認定こども園特別支援教育・保育経費は、健康面や発達面において特別な支援が必要な子どもを受入れる私立認定こども園の設置者に対して、職員の加配に必要な経費の一部を補助する事業です。</p>					
市の現状	認定こども園において、特別な支援が必要な子どもの受入を行い、職員の加配に必要な経費の一部を補助しています。					
事業の見込み、確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	2人/月	2人/月	2人/月	2人/月	2人/月
	確保の内容	2人/月	2人/月	2人/月	2人/月	2人/月
実績	2人/月	2人/月	2人/月	—	—	
確保の方策	平成31(2019)年4月に市内の保育所2園が認定こども園に移行し、認定こども園ができましたので、今後、認定こども園特別支援教育・保育経費事業の活用を図ります。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	特別な支援が必要な子どもの受入にあたり、職員の加配の費用の補助を行い、良質な保育体制の整備に努めた。					
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	特別な支援が必要な子どもの受入にあたり、職員の加配の費用の補助を行い、良質な保育体制の整備ができた。			
自己評価ランクの理由 (令和3年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	特になし					
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

朝霞市子ども・子育て支援事業計画 関連事業 進捗状況一覧
(次世代育成支援対策推進法の行動計画)

※R4 進捗状況（事業課の自己評価）の目安について

- A: 着実に進捗している。予算執行状況が80%以上、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が80%以上であり、総合的に勘案して着実に進捗されていると判断できる場合。
 B: ある程度進捗している。予算執行状況が60%~79%、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が60%~70%であり、総合的に勘案してある程度進捗されていると判断できる場合。
 C: 進捗が顕著でない。予算執行状況が40%~59%、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が40%~59%であり、総合的に勘案して進捗が顕著でないと判断できる場合。
 D: 進捗していない。予算執行状況が39%以下、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が39%以下であり総合的に勘案して進捗していないと判断できる場合。

基本目標 1 すべての子どもがすくすく育つまち

基本方針 1-1 子どもの人権の尊重のために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況					
				R2	R3	R4	R5	R6	
(1)子どもを虐待やいじめ等の 人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組	1	DV 相談事業	人権庶務課	A	A	A			
	2	要保護児童対策地域協議会等を活用した児童 相談事業	こども未来課	A	A	A			
	3	児童虐待防止に関する意識の普及啓発	こども未来課	A	A	A			
	4	里親制度の周知	こども未来課	B	A	A			
	5	家庭児童相談事業	こども未来課	A	A	A			
	6	子ども家庭総合支援拠点の整備	こども未来課	A	A	A			
	7	養育支援訪問事業	こども未来課	A	A	A			
	8	虐待防止に関する教育相談の実施	教育指導課	A	A	A			
(1)子どもを虐待やいじめ等の 人権侵害から守るための体制強化 ②子どもの人権尊重の仕組みづくり	9	民生委員・児童委員活動事業	福祉相談課	B	B	B			
	10	いじめ防止に対する取組	こども未来課 教育指導課	A	B	A B			
	11	施設における人権擁護等の体制整備	保育課	B	C	B			
(2)子どもの意見や視点の尊重	12	朝霞“未来・夢”子ども議会	市政情報課 教育指導課	D	A	A			
	13	「特別の教科 道徳」の推進	教育指導課	A	A	A			
	14	カウンセリングの実施	教育指導課	A	A	A			
(3)子どもの生きる力を育成する 学校教育環境の充実	15	中学校自由選択制度	教育管理課	A	A	A			
	16	朝霞第五中学校特認校制度	教育管理課	A	A	A			
	17	先進校・研究推進校への視察	教育指導課	B	A	A			
	18	あさか・スクールサポーターの活用	教育指導課	B	B	B			
	19	球技大会、陸上競技大会等の実施	教育指導課	B	C	B			
	20	学校総合体育大会、新人体育大会等の実施	教育指導課	B	B	B			
	21	朝霞市地域人材活用支援事業	教育指導課	A	A	B			
	22	学校保健委員会の実施・充実	教育指導課	A	A	A			
	23	朝霞市小学校低学年複数担任制事業	教育指導課	A	A	A			
	24	社会体験チャレンジ事業	教育指導課	D	D	A			
	25	保健体育科、家庭科、道徳等の授業で知識の 習得	教育指導課	B	B	B			

基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)障害のある子どもと保護者への支援	26	重度心身障害者福祉タクシー利用料等助成事業	障害福祉課	A	A	A		
	27	紙おむつ給付事業	障害福祉課	A	A	A		
	28	補装具の交付・修理	障害福祉課	A	A	A		
	29	日常生活用具支給	障害福祉課	A	A	A		
	30	生活サポート事業	障害福祉課	B	B	A		
	31	障害者週間における啓発事業	障害福祉課	A	A	A		
	32	障害児通所支援事業	障害福祉課	A	A	A		
	33	身体障害者・知的障害者等に係る援護等	障害福祉課	A	A	A		
	34	特別児童扶養手当の支給	障害福祉課	A	A	A		
	35	重度心身障害者医療費の助成	障害福祉課	A	A	A		
	36	障害児福祉手当	障害福祉課	A	A	A		
	37	障害児放課後児童クラブ事業	保育課	C	C	A		
	38	育成保育事業	保育課	B	A	A		
	39	育み支援バーチャル支援センター事業 (発達障害児者支援体制)	健康づくり課	A	A	A		
40	朝霞市障害児就学支援委員会専門員による就学相談	教育指導課	A	A	A			
41	朝霞市はぐくみ補助金	生涯学習・スポーツ課	A	A	A			
(2)ひとり親家庭等の支援	42	ひとり親家庭への自立・生活支援事業	こども未来課	A	A	A		
	43	児童扶養手当の支給	こども未来課	A	A	A		
	44	ひとり親家庭等医療費の助成	こども未来課	A	A	A		
	45	母子生活支援施設入所	こども未来課	A	A	A		
(3)経済的困難を抱える家庭と保護者への支援	46	生活困窮者等学習支援事業	福祉相談課 こども未来課	A	A	A		
	47	生活保護進学準備給付金の支給	生活援護課	A	A	A		
	48	【No.42 再掲】 ひとり親家庭への自立・生活支援事業	こども未来課	A	A	A		
	49	【No.43 再掲】 児童扶養手当の支給	こども未来課	A	A	A		
	50	【No.44 再掲】 ひとり親家庭等医療費の助成	こども未来課	A	A	A		
	51	【No.45 再掲】 母子生活支援施設入所	こども未来課	A	A	A		
	52	官民の賃貸住宅ストックの活用の推進	開発建築課	A	A	A		
	53	小・中学校教育扶助事業	教育管理課	A	A	A		
(4)外国につながるのある子どもと保護者への支援	54	外国人世帯の支援	各課	B	B			
	55	多文化共生推進事業	地域づくり支援課	B	B	B		
	56	日本語指導支援員の配置	教育指導課	B	B	A		

基本方針1-3 地域の中の子どものために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)子どもの健全な成長を支える居場所づくり	57	児童館運営事業	こども未来課	B	A	A		
	58	都市公園、児童遊園地の充実	みどり公園課	B	B	A		
	59	冒険遊び場づくり事業(プレーパーク)	みどり公園課	B	A	A		
	60	学校体育施設の開放	生涯学習・スポーツ課	A	A	A		
	61	放課後子ども教室	生涯学習・スポーツ課	A	A	A		
	62	図書館における子ども向け事業	図書館	B	B	A		
(2)子ども同士の交流の機会の提供	63	【No.61 再掲】 放課後子ども教室	生涯学習・スポーツ課	A	A	A		
	64	市民総合体育大会、ロードレース大会、小学生スポーツ教室、ウォークラリー大会等の開催	生涯学習・スポーツ課	A	A	A		

基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち
基本方針2-1 すべての子育て家庭のために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)子育てを支える環境づくり ①情報提供の充実	65	【No.9 再掲】 民生委員・児童委員活動事業	福祉相談課	B	B	B		
	66	子育て情報の提供	こども未来課	B	A	A		
(1)子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援	67	難病患者見舞金 (小児慢性特定疾患患者を含む)	障害福祉課	A	A	A		
	68	こども医療費の助成	こども未来課	A	A	A		
	69	児童手当の支給	こども未来課	A	A	A		
	70	小児救急医療における朝霞地区4市との共同事業	健康づくり課	A	A	A		
	71	PTA連合会補助金	生涯学習・スポーツ課	A	A	A		
(2)家庭における子育て支援の充実	72	女性総合相談	人権庶務課	A	A	A		
	73	内職相談事業	産業振興課	C	C	C		
	74	あさか学習おとどけ講座	生涯学習・スポーツ課	A	A	A		
	75	家庭教育学級の支援	生涯学習・スポーツ課	A	A	A		
	76	家庭教育学級事業補助金	生涯学習・スポーツ課	A	A	A		
	77	家庭教育学級補助金	生涯学習・スポーツ課	A	A	A		
	78	子育て(育児)講座	中央公民館	C	B	A		
79	ブックスタート事業	図書館	A	A	A			

(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援	80	【No.6 再掲】 子ども家庭総合支援拠点の整備	こども未来課	A	A	A		
	81	子育て電話相談	保育課	A	B	B		
	82	母子保健相談事業	健康づくり課	A	A	A		
	83	栄養相談事業	健康づくり課	A	A	A		
	84	妊婦健康診査	健康づくり課	A	A	A		
	85	母子健康教育事業	健康づくり課	A	A	A		
	86	乳幼児健康診査	健康づくり課	A	A	A		
	87	歯科保健事業	健康づくり課	A	A	A		
	88	各種予防接種の実施	健康づくり課	A	A	A		
	89	母子健康手帳交付事業	健康づくり課	A	A	A		
	90	未熟児養育医療費給付事業	健康づくり課	A	A	A		
	91	妊娠期からの包括的な子育て支援	健康づくり課	A	A	A		

基本方針2-2 地域における子育てのために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)子育てネットワークの充実	92	子育て支援センター事業	保育課	A	B	A		
	93	保育園園庭開放・いっしょに遊ぼう保育園で	保育課	B	A	A		
(2)子どもの健全育成の充実	94	青少年育成事業	こども未来課	A	A	A		
	95	朝霞地区青少年健全育成地域の集いの開催	教育指導課	C	C	C		
	96	朝霞市ふれあい推進事業	教育指導課	D	D	C		
(3)世代を超えた子育て支援の推進	97	農業体験事業	産業振興課	D	D	B		
	98	児童館における高齢者と児童の交流事業	長寿はつらつ課	D	B	A		

基本方針2-3 子どもの安心・安全のために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり	99	防犯灯設置工事費補助金の交付	危機管理室	B	B	B		
	100	防犯灯維持管理費補助金の交付	危機管理室	B	B	A		
	101	広報による防犯啓発活動	危機管理室	A	A	A		
	102	朝霞防犯パトロール隊の認定	危機管理室	B	B	B		
	103	防犯ブザーの貸与	教育総務課	A	A	A		
	104	通学路の安全点検	教育管理課	A	A	A		
	105	朝霞市生徒指導委員会の開催	教育指導課	A	A	A		
	106	朝霞地区学校警察連絡協議会の開催	教育指導課	B	B	B		
	107	通学路等での定期・臨時パトロールの実施	教育指導課	A	A	A		
108	非行防止教室の実施	教育指導課	A	A	A			

(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり	109	道路区画線の工事	まちづくり推進課	A	A	A		
	110	交通立看板、警戒標識等の設置	まちづくり推進課	A	A	A		
	111	新入学児童への交通安全教育の実施	まちづくり推進課	D	A	A		
	112	保育園児、幼稚園児に交通ルールの指導	まちづくり推進課	A	A	A		
	113	交通安全運動チラシによる啓発活動	まちづくり推進課	B	A	A		
	114	自転車運転免許制度の実施	教育指導課	B	A	A		
(2)ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり	115	すべての方が利用しやすい公共施設の整備	財産管理課	A	A	A		
	116	都市計画道路整備事業	まちづくり推進課	A	A	A		
	117	市道整備・道路管理の充実	道路整備課	A	A	A		
	118	学校施設に対する教室等の空気検査	教育管理課	A	A	A		

基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち
基本方針3-1 教育・保育の充実のために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ①保育所、地域型保育給付施設の整備	119	保育事業	保育課	A	A	A		
	120	認可外保育施設等利用補助事業	保育課	A	A	A		
	121	家庭保育室補助事業	保育課	A	A	A		
(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ②幼稚園の利用促進	122	幼稚園事業	保育課	A	A	A		
(2)放課後児童クラブの充実	123	放課後児童クラブ事業	保育課	A	A	B		

基本方針3-2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)多様なニーズにこたえる子育て支援の充実	124	子育て短期支援事業(ショートステイ事業)	こども未来課	A	A	A		
	125	ファミリー・サポート・センター事業	保育課	A	A	A		
	126	延長保育事業(時間外保育事業)	保育課	A	A	A		
	127	一時預かり事業	保育課	A	B	B		
	128	休日保育事業	保育課	A	A	A		
	129	病児保育事業	保育課	A	B	B		

基本方針3-3 教育・保育の質を高めるために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)教育・保育に携わる人材の確保・資質向上	130	保育士研修事業	保育課	B	C	A		
	131	保育士等人材確保事業	保育課	B	C	A		
	132	小学校と幼稚園・保育所の連携	教育指導課	B	A	A		

朝霞市子ども・子育て支援事業計画

【関連事業】

進捗管理シート
(令和4年度事業)

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	1	部名	総務部	課名	人権庶務課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組				
事業名	DV相談事業				
事業概要	DV相談事業を年間を通じて実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・DV相談の実施(火～日曜日 午前9時～午後5時) ※専門の相談員による相談(火・水・金・土曜日 午前10時～午後4時) ・DV被害者緊急一時保護宿泊施設の借上げ ・DV対策関係機関ネットワーク会議の開催 ・配偶者暴力相談支援センター相談員及び女性総合相談員研修・交流会など <p>多岐にわたる相談内容について、関係機関を紹介する等、必要に応じて連携を図りながら、相談者に寄り添った支援を行った。</p>				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	DV専門相談員による相談年間実施日数 205日 年間相談者数 437人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	相談内容は多岐にわたるため、引き続き、関係機関等との連携を図りながら、必要な情報の提供などを通じて、相談者が安全安心に相談できる相談体制を充実させていく。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	2	部名	子ども・健康部	課名	子ども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組				
事業名	要保護児童対策地域協議会等を活用した児童相談事業				
事業概要	<p>要保護児童の適切な保護、要支援児童若しくは特定妊婦への適切な支援を図るため、児童相談所をはじめとする関係機関で構成する「要保護児童対策地域協議会」のネットワークを活用。</p> <p>関係機関で連携を図り、必要な支援につなげ、地域での見守りや緊急時の一時保護に対応するなど、児童相談を実施する。</p>				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<p>日頃より、関係機関と児童虐待対応に関する協力関係を構築するとともに、市への通告を受けて調査や対応方針の検討を行うなど、児童虐待の早期発見・早期対応を行った。</p> <p>職員の専門性向上のため、埼玉県が開催する児童虐待対応研修へ参加するとともに、他機関や民間団体主催の研修にも積極的に参加した。</p> <p>また、要保護児童対策地域協議会においても研修を実施し、関係機関職員を含めた資質の向上に努めた。</p>				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和4年度児童相談実績 児童虐待相談309人、養護相談(その他)304人、保健相談4人、言語発達障害相談4人、知的障害相談1人、発達障害相談7人、ぐ犯行為相談1人、触法行為等相談2人、性格行動相談54人、不登校相談9人、育児・しつけ相談18人、その他相談232人 合計945人(福祉行政報告例第44表) 要保護児童対策地域協議会の各会議を開催し、関係機関と要保護児童等の情報を共有して、子どもの見守り、児童虐待の早期発見、早期対応、未然防止の取り組みをすることができた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	関係機関との連携強化。 職員の資質向上及び増員。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業を継続。 関係機関と児童虐待に関する共通認識を持ち、連携して対応するために、個別支援会議を積極的に開催する。 関係機関が連携して対応することの重要性について、要保護児童対策地域協議会で研修を開催する。 職員に積極的な研修参加を促し、資質向上を図る。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	3	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組				
事業名	児童虐待防止に関する意識の普及啓発				
事業概要	児童虐待防止に関する広報啓発活動を行うことで、児童虐待防止意識の高揚を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	広報あさか5月号に、児童福祉週間にちなみ、「子どもの権利条約」及び「児童憲章」を、同11月号に児童虐待防止推進月間に関する記事を掲載し、意識啓発に努めた。児童虐待防止推進月間では、市役所1階市民ホールに、児童虐待防止に関するパネルを設置したほか、SNSを活用した啓発も実施した。 また、市内小中学校、県立高等学校の全校生徒に啓発物を配布し、子ども自身から助けを求めることについて広報し、児童虐待の早期発見に努めた。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	小中学生・高校生向け啓発物配布 12,500枚 Twitter、Facebook掲載 市民配信メール、学校配信メール活用 保育園だより、学校だより掲載 コロナ禍で中止していた駅前啓発活動再開 市民向けセミナーのYouTube配信 児童虐待早期発見のため、関係機関向けに児童虐待通告に関する通知発送などにより、児童虐待に関して啓発することができた。また、小中学生・高校生向けの啓発物を配布し、子ども達に直接啓発することができた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	予防的視点をもった広報啓発活動。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業を継続。 コロナ禍で縮小していた啓発活動の再開。(市民向けセミナーの会場での開催等)				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	4	部名	子ども・健康部	課名	子ども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組				
事業名	里親制度の周知				
事業概要	児童虐待など、様々な事情により自宅で暮らせない子どもを預かり、保護者等に代わって子どもを育てる里親を確保するために、制度の周知を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における 推進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	毎年10月の里親月間にあわせて、市役所1階市民ホールに里親制度普及啓発のためのパネルを設置し、広報あさか10月号にも里親制度普及啓発に関する記事を掲載した。 埼玉県里親支援専門相談員連絡会の協力を得て、市役所1階市民ホールにて、里親制度PRのためのブースを設置し、来庁者に対して里親制度のPRを行った。 里親制度について、市ホームページに掲載し、普及啓発に努めた。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により 得られた 成果	Twitter、Facebook掲載、里親制度PRパネル設置、広報あさかへの掲載などにより、里親制度を周知することができた。 令和4年度新規登録者数3世帯。 里親制度PRパネル設置、SNSを活用した広報など、新たな取り組みを始めた。 市内で新たに里親登録があり、ショートステイ事業への協力も得られた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	広報啓発活動継続による、里親制度のより一層の理解。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業を継続。 埼玉県里親支援専門相談員連絡会と連携した里親制度の広報を継続。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	5	部名	子ども・健康部	課名	子ども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組				
事業名	家庭児童相談事業				
事業概要	家庭における適切な児童の養育と、養育に関連して生じる様々な問題の解決を図るために「家庭児童相談室」を設置し、家庭における養育に関して相談を受け、専門的に助言・指導する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	相談者からの電話や来所相談への対応。 要保護児童対策地域協議会実務者会議、個別支援会議、病状調査などの参加。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和4年度家庭児童相談実績 虐待相談9人、養護相談(養育環境)219人、発達遅れ・障害5人、性格行動342人、不登校57人、育児しつけ18人、その他52人、集団204人 合計906人 相談者の主訴に寄り添い、子育てに関する助言をするとともに、関係機関との連携を図って支援にあたることができた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	保護者ばかりでなく、児童自身が気軽に相談できる相談窓口になるよう、広報啓発する。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業を継続。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	6	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組				
事業名	子ども家庭総合支援拠点の整備				
事業概要	子どもとその家庭、妊産婦等を対象として、地域の実情の把握、相談対応、調査、継続的支援等を行う「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、福祉、保健、医療、教育等の関係機関と連携した支援を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	令和4年4月1日に子ども家庭総合支援拠点を設置し、運営を開始。 子育て包括支援センターと毎月連絡会議を開催し、特定妊婦や0歳児の家庭などを中心に養育が気になる家庭の情報を共有。出産前からの切れ目の無い支援について話し合い、連携して養育の支援を行った。 子育て世代包括支援センター内に児童相談システムを配置したほか、こども未来課の端末で乳幼児健診の受診状況等を確認できるようにするなど、システム面での連携も図った。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和4年度実績 連絡会議12回開催 (延べ人数) ハイリスク妊婦202人、特定妊婦128人、0歳～4か月の子ども357人、4か月～1歳7か月の子ども248人 合計935人 令和4年4月1日付で子ども家庭総合支援拠点を開設。連絡会議開催を通じ、子育て包括支援センターと連携して支援することができた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	職員の資質向上及び増員。 要保護児童対策地域協議会関係機関と連携した対応。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	連絡会議開催を継続。 要保護児童対策地域協議会関係機関と連携した対応。 リスクアセスメントシートを活用したリスク管理。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	7	部名	子ども・健康部	課名	子ども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組				
事業名	養育支援訪問事業				
事業概要	<p>児童の養育が特に必要と判断した家庭に対して、助産師、ホームヘルパーなどがその居宅を訪問し、育児及び家事並びに養育に関する助言・指導等を行うことによって、支援対象家庭の養育が適切に行われるようにするもの。</p>				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<p>事業開始にあたり、支援対象家庭に関する支援計画を作成し、支援中には適宜要保護児童対策地域協議会実務者会議などで状況報告を行う。 子ども未来課が主催する研修会への参加を促し、支援員の資質向上に努める。</p>				
<p>施策の進捗状況と成果 (令和4年度)</p> <p>自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない</p>	A	事業の実施により得られた成果	<p>令和4年度実績 5世帯に導入。訪問回数合計52回。 養育支援、家事支援のため、助産師、ヘルパーによる訪問支援を行った。 子育て世代包括支援センターとの連絡会議開催により、特定妊婦などに関する情報共有を行う機会が増えたことから、リスクのある家庭を把握し、事業導入について検討することができた。</p>		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	<p>支援員の資質向上。 健康づくり課との連携による支援対象家庭の把握。</p>				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	<p>現行事業を継続。 支援員の増員。</p>				
<p>子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度)</p> <p>A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない</p>		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	8	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組				
事業名	虐待防止に関する教育相談の実施				
事業概要	関連機関との連携を図り、虐待等の相談を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	校長の指揮監督の下、生徒指導・教育相談部が中心となり、担任教諭、保健室(養護教諭)やさわやか相談員、サポート相談員と協力し、児童生徒とのふれあいや個人面談(教育相談)、教育活動を通しての早期発見・相談・支援にあたった。また虐待が疑われる事案については、関連機関に情報提供し、連携を図った。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	目標値等は特に定めていない。 日々の児童生徒とのふれあいを通して、虐待の早期発見に努め、教職員間の情報共有、関係機関との連携を強化できている。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	教職員が虐待を早期発見するための目や感度を高めるため、教育相談の充実を図る。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	9	部名	福祉部	課名	福祉相談課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ②子どもの人権尊重の仕組みづくり				
事業名	民生委員・児童委員活動事業				
事業概要	地域を見守り、地域住民の身近な相談相手、専門機関へのつなぎ役として活動する民生委員・児童委員への支援を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	民生委員児童委員、市民児協及び地区民児協に対し、活動費及び運営費を補助することで、活動を促進し、地域社会の福祉増進を図った。 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の地区定例会が開催できなかったが、3年ぶりに全委員を対象とした合同研修会を開催するなど、活動の支援を行った。 3年に1度の民生委員児童委員一斉改選に向けて、各地区の会長や副会長と協力して、委員の確保に努めたが、欠員が以前から増加した。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> 活動指標:民生委員児童委員数 R4目標・計画 164人 R4実績 146人 成果指標:民生委員児童委員活動(延べ日数) R4目標・計画 14,400日 R4実績 11,639日 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	民生委員児童委員の活動日数は昨年度より微増しているが、民生委員児童委員の欠員が増加してしまったため。				
推進に関する課題	地域社会の福祉増進を図るため、民生委員児童委員の欠員補充に努める必要がある。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	10	部名	こども・健康部 学校教育部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ②子どもの人権尊重の仕組みづくり				
事業名	いじめ防止に対する取組				
事業概要	いじめ防止及び解決を図るための基本事項を定め、いじめに対する必要な体制整備の検討を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	朝霞市いじめ不登校対策会議で把握している不登校児童生徒に関する情報を共有するとともに、必要に応じて教育指導課や小中学校と連携し対応を図った。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	コロナ禍の影響により、朝霞市いじめ不登校対策会議が書面開催となったが、子どもの不登校などの状況に応じて、関係機関と連携し、児童相談対応を行った。 教育指導課、小中学校、子ども相談室と情報共有し、必要に応じて関係機関とも連携した対応をとることができた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	各学校との連携強化、支援の役割分担。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業を継続。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	10	部名	子ども・健康部 学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ②子どもの人権尊重の仕組みづくり				
事業名	いじめ防止に対する取組				
事業概要	全朝霞市規模の組織を基盤に、各学校現場で、きめ細やかな対応を図り、特に「未然防止」「早期発見」「起きてしまったときの『事案処理』」ついて、重点的に取り組む。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のいじめに関する調査及び報告の義務付け。 ・いじめに関する保護者アンケートの配布。 ・いじめ問題対策連絡協議会の開催。 ・いじめ問題専門委員会の開催。 ・いじめ重大事案におけるいじめ問題専門委員による聞き取り調査。 ・朝霞市小・中学校生徒指導主任研修会の開催。 ・朝霞市小・中連携推進協議会の開催。 ・いじめ防止月間における各学校の重点的な取組。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	実施した事業を通して、学校と関係諸機関、庁内関係課との連携が強化され、関係全職員が組織的にいじめの防止、早期発見、早期対応にあたることができている。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	新型コロナの影響が残る中、令和3年度より確実に進捗したといえる状況にないため。				
推進に関する課題	いじめ発生時の保護者対応をはじめとした具体的な事例研修、いじめ重大事態に関する法令等の確認等を行い、組織的な、いじめの防止、発見、解決を図る。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	11	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ②子どもの人権尊重の仕組みづくり				
事業名	施設における人権擁護等の体制整備				
事業概要	保育所等における子どもの人権を守るため、苦情を受け付ける窓口の設置を義務とし、周知を図る。また、保育の質を向上し、子どもの人権擁護等の体制評価を目的として、第三者評価の実施を促進する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	朝霞市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例で保育所、認定こども園及び地域型保育事業者(小規模保育施設等)に対して、運営規定に虐待防止の措置について定めることや苦情を受け付けるための窓口の設置を義務づけている。 また、保育の質の向上を図り、もって施設における人権擁護等の体制整備を進めることを目的として、第三者評価を受けることを努力義務としている。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	全施設が苦情処理の仕組みを保護者に周知している。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	各施設において、苦情等の受付に係る体制等は整ってきており、保護者への周知等を図っている状況である。また、第三者評価を導入する施設も若干ではあるが増えてきているため。				
推進に関する課題	第三者評価を導入する施設の拡大。				
令和5年度以降の具体的取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続に加え、第三者評価の拡大に向けて、引き続き周知していく。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	12	部名	市長公室 学校教育部	課名	市政情報課教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)子どもの意見や視点の尊重				
事業名	朝霞“未来・夢”子ども議会				
事業概要	時代を担う子どもたちが、市議会の仕組みなどについて実体験を通して学ぶことにより、市政に対する理解と関心を深めるとともに、子どもたちからの提言や意見を市政の参考とするため、子ども議会を開催する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	市内の各小・中学校から、子ども議員を選出してもらう。選出された子ども議員は、市政に関する意見等を一般質問として発表し、それに対して市長、教育長のいずれかが答弁する。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度活動指標 子ども議会開催回数: 目標・計画1回、実績1回 令和4年度成果指標 一般質問数: 目標・計画26件、実績26件 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	子ども議会の開催時期は例年学校や保育園等でも行事が行われるため、関係機関と調整を図りながら開催するとともに、子ども議員の意見がより効果的に伝わるよう質問方法などを工夫する。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	子ども議員が質問する際にタブレット端末(iPad)を活用し、議場内に資料投影できる環境を新たに用意する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	13	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)子どもの意見や視点の尊重				
事業名	「特別の教科 道徳」の推進				
事業概要	「特別な教科 道徳」の教科化に伴い、年間指導計画に基づいて教科書を確実に活用して児童生徒の学びを深める。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に沿って、教科書を確実に活用しながら道徳授業が実施されるよう指導計画の確認、評価方法の指導を学校訪問、道徳推進教師・道徳主任研修会の開催等を通じて支援した。 ・朝霞第五中学校が、埼玉県教育委員会から「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の委嘱を受け、全職員で研修に取り組んだ。(令和4・5年の2年間) 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値等は定めていない。 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画で教科書を用いての明確な学びの位置づけと、別葉の確実な作成、活用を行う。また、適切な評価についても全教員が実施できるようにする。 				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	14	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)子どもの意見や視点の尊重				
事業名	カウンセリングの実施				
事業概要	虐待、いじめ、不登校、悩みを抱える子ども等に対してカウンセリングを実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全小中学校にスクールカウンセラーを配置した。 ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子ども相談室(教育相談員、専門家によるカウンセリング)、さわやか相談室(さわやか相談員、サポート相談員)等を活用し、児童生徒及び保護者等の相談に応じる体制を整えた。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値等は定めていない。 ・児童生徒の抱える悩みや問題は年々複雑化、多様化しており、教師だけでは対応できない相談に対し、適切に耳を傾け、必要に応じて関係機関と連携を図ることで状況の改善が図られた。 ・悩みや課題を抱える児童生徒の数は、年々増加傾向にあり、さらに多様化、複雑化しており、さらに本人だけでは解決できないこともある。専門的な知識や経験のある相談員等の活動等着実に進んでいる。 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	子どもの心のケアを行う専門的な研修を実施すること。 学校や関係機関の適切な連携を図ること。 業務量に対してスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの勤務日数が少ないこと。 教育相談に関する教職員自身のスキルアップを図ること。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	15	部名	学校教育部	課名	教育管理課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	中学校自由選択制度				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・通学区域の弾力的な運用を図ることにより、中学校を自由に選択できることで、生徒一人ひとりに「生きる力」を育む教育環境の充実を図る。 				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・周知を図るために、パンフレットを配付(小学6年生) ・YouTubeによる制度説明会を開催し、保護者からの申し込みについても紙または電子での受付とした。 ・定員を設けて申込みを受け付けし、定員を超えるときは、学校と協議のうえ決定し、又は公開抽選による定員人数を決定する。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・通学区域の弾力的な運用を図れ、生徒一人ひとりに「生きる力」を育む教育環境の充実を図れた。 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	生徒数の微増傾向が続いており、各中学校の保有教室数を超過することがないように、適切な募集定員を決定する必要がある。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	<ul style="list-style-type: none"> ・周知を図るため、小学校6年生にパンフレットを毎年配付する。 ・電子による制度説明会及び申込受付を毎年実施する。 ・保有教室数と将来推計から募集定員を慎重に決定する。 ・申込人数が定員を超過したときには、許可人数の調整又は公開抽選を実施し、適切な人数を許可する。 				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	16	部名	学校教育部	課名	教育管理課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	朝霞第五中学校特認校制度				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校の活性化を図るため、市内すべての小学校から朝霞第五中学校へ通学できるよう特認校制度を設ける。 ・県費負担教職員に加え、教科支援員の活用により、教育の充実を図る。 				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・周知を図るために、リーフレットを配付（小学校6年生、中学校1・2年生） ・制度説明会を開催（土曜日開催） ・教科支援員との少人数指導(数学・英語)を全学年、全学級で実施 ・ステップアップ教室の実施 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの配布及び制度説明会により、周知を図ることができた。 ・個の能力に応じて、きめ細かな指導を実施できた。 ・個の特性を生かした、生徒指導を推進している。 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	年度当初に限り特認校制度として募集しているが、年度途中の希望や転入者の扱いについて引続き検討する必要がある。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット配付や制度説明会による周知の徹底を継続的に取り組む。 ・教職員の共通理解による生徒指導の充実を継続的に取り組む。 ・ステップアップ教室の開催や部活動の外部指導者による指導を継続して行う。 				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	17	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	先進校・研究推進校への視察				
事業概要	<p>市内小・中学校を対象に研究開発学校を指定する。研究領域は、各教科等学校教育全般とする。委嘱期間は2年間とし、研究発表時に市内の小中学校教職員が参加し、研究成果を共有する。市内各小・中学校を対象に校内研修を助成する。</p> <p>教員経験年数の5年以上10年未満の教員を対象として指導力向上を目的に、教育奨励費を支給し主体的な研究を支援するとともに、全体研修を行う。</p>				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<p>研究開発学校を指定したり、各学校の校内研修を助成したりすることで、研究を奨励し、本市教育の充実と発展を図った。</p> <p>教育研究奨励費受給者に、一人当たり20千円、総額160千円の教育研究奨励費を支給し、1年の期間において、各自が設定したテーマに基づいて研修を行った。</p>				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値等は定めていない。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参集型の研修などは制限されたものもあったが、各校における研修は活発に行われ、その成果は市内小中学で共有することができた。 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	・校内研究テーマの具体化と、2年間を見通した計画的な研究を行う。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	18	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	あさか・スクールサポーターの活用				
事業概要	小学校3学年から6学年まで並びに中学校の通常学級における学級担任及び教科担任の補助として、児童生徒の学習指導の業務に従事し、学習内容の基礎基本の徹底を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日～金曜日の1日4時間、児童生徒の学習指導にあたる。 ・小学校10校に11名、中学校5校に6名、合計17名を配置した。(朝霞四小、朝霞一中に2名配置) 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	各学級に計画的に配置し、支援することで、一人一人の子どもの学力を保障することができた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	4月に17名を配置したが、年度の途中で退職される職員がでて、後任をすぐに補充できないことがあり、着実な進捗とはいえない状況があったため				
推進に関する課題	・学校が活用したい教科と、サポーターの指導できる教科のバランスが必要となる。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	19	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	球技大会、陸上競技大会等の実施				
事業概要	体育授業の成果発表の場と学校間交流のため、小学校6年児童による陸上競技大会を実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	球技大会は令和3年度以降の廃止決定。陸上競技大会は規模を縮小して午前j中実施。 種目は80m、100m、60mハードル、走り幅跳び、走り高跳び、ソフトボール投げ、800m(女子)、1000m(男子)を実施。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	目標値等は定めていない		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	令和4年度は新型コロナウイルス感染対策を講じながらも実施できた。				
推進に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> 天候不良の際の実施判断と予備日の設定。 各学校の学校行事との調整。 				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	20	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	学校総合体育大会、新人体育大会等の実施				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校部員が参加、運動部の朝霞地区予選は6月頃と10月頃に実施している。 ・競技によっては全国大会や関東大会に出場するなど、よい結果を多く残している。 ・ガイドラインを作成し、活動時間や休日の設定など、教師と生徒の負担を軽減し、効果的な部活動が実施されるよう指導している。 				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	大会の保護者観戦には新型コロナウイルス感染症の影響も残っており、若干制限がかけられた競技もあったが、前年度よりは大幅に緩和された。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	目標値等は定めていない		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	中学校体育連盟と連携を図りながら、実施の可否について適正な判断をすることができた。				
推進に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で、生徒の健康面や教員の休養等について、配慮し、部活動における練習日数や練習時間を設定すること。 ・密の状態を避けるための工夫や消毒・換気等を感染対策を徹底した上で、部活動を実施したり大会運営をしたりすることの難しさ。 ・部活動の地域移行を見据えた休日部活動の実施及び指導員の確保。 				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	21	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	朝霞市地域人材活用支援事業				
事業概要	理科支援員を配置し、小学校4学年から6学年までの理科の授業において、観察・実験の実施支援、準備・片付け、計画立案、教材開発、助言・提案等を行い、児童並びに教職員の実験技能の向上、基礎・基本的知識の徹底を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日～金曜日の1日3時間程度、1校につき年間20回、児童並びに教員の支援、指導にあたる。 ・小学校10校に対して、6名を配置している。(おおむね担当校2校) 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	各支援員の高度な知識と経験により、児童、教職員ともに授業・学習内容が充実し、基礎基本の定着、実験時の安全が図れている。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	6名の理科支援員の募集・配置に時間がかかったこともあり、2学期後半以降の支援開始となった学校があった。				
推進に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を考慮して配置することが必要であり、活用が2学期に集中することによる各小学校間の調整。 ・総実験回数に対する活用回数の制限(年間20回)。 				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	22	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	学校保健委員会の実施・充実				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や教職員（管理職・養護教諭等）、学校医・学校歯科医・学校薬剤師などがメンバーとなり、児童生徒の健康や体力に関する現状や課題について共通理解を図る。 ・課題を克服するための手立てや方策等について、話し合いをする。 				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校、自校の児童生徒の健康体力に関する共通理解を図り、健康や体力の保持・増進のための具体的な方策について考える会議や講演会等を年1～3回予定していた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、開催回数を減らした学校もあった。 ・朝霞市保健主事会、養護教諭研究協議会を通して、各校の内容を充実させるよう指導している。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	目標値等は定めていない 継続		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	新型コロナウイルス感染症の影響で児童生徒の体力低下が懸念される。感染防止対策を徹底した上での健康保持増進と体力を維持し、向上させるため、自校の取組に活かすように、各校の学校保健委員会の実施回数や内容について情報交換をしていく必要がある。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	23	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	朝霞市小学校低学年複数担任制事業				
事業概要	小学校1学年及び必要に応じて小学校2学年の通常学級において、児童の学校生活への支援、学習指導、生徒指導を実施するため、学級担任の補助に従事する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校10校に27名を配置した。(朝霞第一小学校、朝霞第四小学校、朝霞第九小学校には2名、それ以外の学校には3名を配置) ・月曜日～金曜日の授業日に、1日4時間、児童の学習指導に当たった。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・活動指標 あさか・スクールサポーター、小学校低学年補助教員派遣人数 目標・計画 44名、実績 44名 (年間授業日 203日) ・成果指標 あさか・スクールサポーター、小学校低学年補助教員派遣日数 目標・計画 8,800日 ほぼ目標通りの実施となった。 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	配置人数など、学校のニーズや状況に合わせて見直しを検討する。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	24	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	社会体験チャレンジ事業				
事業概要	生徒の進路意識の高揚を図るため、社会体験チャレンジ事業（地域で3日間の職場体験活動）を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	市内中学1年生が3日間にわたり、各事業所で職業体験を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・活動指標 担当者会議 目標・計画 1回、実績 1回 参加中学校数 目標・計画 5校、実績 5校 ・成果指標 参加人数 目標・計画 1,000人、実績1076人 協力事業所数 目標・計画 300社、実績 318社 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	新型コロナウイルス感染症の影響も残る中、3年ぶりに5校すべての中学校で実施できた。				
推進に関する課題	約3年間におよぶ新型コロナ感染症の影響もあり、中学生職場体験活動における中学生の受け入れに協力していただける事業所を安定して確保することが難しい。特に、社会福祉施設等は厳しい状況である。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	25	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	保健体育科、家庭科、道徳等の授業で知識の習得				
事業概要	男女で協力して、家庭を築くこと、子どもを産み育てることの意義を理解するための教育を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の実態に応じ、年間指導計画に基づいて実施した。 各校の食育に活用できるように、リーフレット「あさかを食べる」を作成し、各校の食育の取組を紹介するとともに、バランスの良い食事についてのアドバイスや朝食の欠食率についてまとめ、家庭に周知している。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> 目標値等は定めていない。 継続 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	新型コロナウイルス感染症の影響で、依然として調理実習等の実施が難しかった。				
推進に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の発達段階に応じた指導の工夫が必要である。 コロナ禍での調理実習の実施 				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上に関して、各学校の体力向上の取組を、学期ごとにまとめ、学校間で情報を共有できるようにする。 「あさかを食べる」について、紙面での作成、配布は行わず、各校において作成したものを学校間で情報共有し、食育の取組を紹介することにする。また、バランスの良い食事についてのアドバイスや朝食の欠食率についてまとめたデータを各学校に送付し、指導に活かせるようにしていく。 				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	26	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	重度心身障害者福祉タクシー利用料等助成事業				
事業概要	重度の障害のある人・児童の生活圏の拡大と社会参加の促進を図るため、福祉タクシー券、バス・鉄道共通カード、自動車燃料費の中から選択制により利用料金を助成する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	身体障害者手帳1、2級、肢体不自由の下肢3級、療育手帳○A、A、B、精神障害者保健福祉手帳1、2級の手帳所持者に対して、福祉タクシー券、バス・鉄道共通カード、自動車燃料費の中から選択制により助成すること。福祉タクシー券については年間30枚の利用券を利用者からの請求に基づき交付すること。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	障害のある人の生活を支援するため、福祉タクシー利用券の交付などの交通費の助成等を行い、障害のある人の社会参加を推進することができた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	福祉タクシー券について、令和4年度までは1回の乗車につき1枚(初乗り運賃相当)のみの利用であったが、令和5年度より1回の乗車につき2枚まで(初乗り運賃の2倍以上の料金となった場合に限る)利用可能となる。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	27	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	紙おむつ給付事業				
事業概要	在宅の重度心身障害児（者）に紙おむつを給付することにより、経済的な援護、障害者の衛生維持及び介護者の日常の介護活動の援助を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	在宅の3歳以上64歳未満の重度心身障害者(身体障害者1、2級 知的障害者○A、A)で、おむつを必要とする方に、市が指定したおむつの組み合わせの中から利用者が選択したものを毎月自宅へ配送する。 前年度まで課題となっていた財政負担の軽減について、他制度の紙おむつ支給事業との重複利用を廃止する等、制度の見直しを実施し、効果的な財政的負担軽減策に取り組んだ。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	障害のある人の生活を支援するため、希望に応じた紙おむつを支給することにより、介護活動において経済的な負担を軽減することができた。 制度の見直しを行い、令和4年度から下記のとおりとした。 ①他制度の重複受給を廃止（他制度:日生具、生保、高齢者） ②所得制限(受給者本人の市民税所得割額33,000円未満対象) ③年齢制限(3歳以上から65歳未満)		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	物価高騰により紙おむつ支給に要する費用が値上がりしている。本事業は市単独事業であるため、引き続き財政的なコスト負担が課題である。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	広報等で制度の周知を図り、現行事業を継続する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	28	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	補装具の交付・修理				
事業概要	身体障害者手帳の交付を受けている方に対し、日常生活の不自由さを補って、日常生活を容易にするために補装具の交付と修理を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	身体障害者(児)で、車いすや装具、補聴器等の補装具が必要な方に対して、交付及び修理の支給決定を行う。18歳未満の場合、原則医療機関の意見書をもとに支給の判断を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和4年度の支給実績 交付:113件(うち、18歳未満の交付件数は47件) 修理:53件(うち、18歳未満の修理件数は8件)		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	29	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	日常生活用具支給				
事業概要	在宅重度心身障害者(児)の日常生活の便宜と社会適応性を図るための用具を給付する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	在宅重度心身障害者(児)に対してネブライザー(吸入器)や電気式たん吸引機等、日常生活支援用具が必要な方に対し、用具の給付を行う。また、10月1日から医療的ケアが必要な方も対象とした人工呼吸器の自家発電機(カーインバーターを含む。)及びポータブル電源(蓄電器)を項目として追加した。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和4年度給付実績 給付件数56件(うち18歳未満の給付件数8件) ※ストマ、紙おむつを除く		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	基本的には現行事業の継続。 総合支援法に基づく補装具費給付事業と併せて、利用者負担額に関する負担上限額の所得区分上限を設定し、市町村民税所得割の最多納税者の納税額が46万円以上の場合は給付対象外とする。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	30	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	生活サポート事業				
事業概要	障害のある人・児童やその家族の方々の地域での暮らしを支援するため、市に登録された民間団体が提供する外出、送迎などサービスに要する費用を補助し、福祉の向上及び介護者の負担軽減を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	各種障害者手帳所持者等に対して、申請に応じて、生活サポート事業利用者票を交付し、登録団体におけるサービス利用の際の自己負担額の一部を補助する。18歳未満の方については、所得に応じた自己負担の軽減を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	登録団体において、迅速・柔軟なサービスを提供し、障害者及びその家族の地域生活を支援し、障害者の福祉の向上することができた、また、自己負担額の一部を補助することにより、利用者の負担軽減を図ることができた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えが若干継続していたものの、予算執行状況が約91%まで回復してきており、コロナ禍の中でも、サービス提供を行う登録団体の尽力により、利用者の支援を行うことができていたと判断できるため。				
推進に関する課題	特になし				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	31	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	障害者週間における啓発事業				
事業概要	<p>障害者週間は、障害のある方の福祉について国民の関心と理解を深めるとともに、障害のある方が社会、経済、文化のほかあらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるために国によって定められたもので、障害者週間（12/3～12/9）に市内において啓発事業を実施することにより、障害のある人への理解を促進する。その一環として、市内公共施設において、障害のある人が作成した作品や市内障害福祉施設の活動内容等を展示する。</p>				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<p>・障害者週間(12/3～12/9)に、朝霞市立図書館本館にて、市内の障害福祉施設の日頃の活動の様子や作品、障害福祉に係る啓発資料を展示した。</p>				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<p>前年は産業文化センターでパネル展を実施したが、令和4年度は朝霞市立図書館で行ったことで、広範囲の地域で展示を見ていただくことができたことにより、障害者への理解促進に成果があったと思われる。</p>		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	まだ未開催の地域でのパネル展示を検討していきたい。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	32	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	障害児通所支援事業				
事業概要	未就学の集団療育及び個別療育を行う必要があると認められる児童が通所し、日常生活における基本動作の指導、集団生活への適応のための訓練などを行う児童発達支援や、小学校1年生から高校3年生までの障害のある児童に対し、放課後や学校の休日において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供し、障害のある児童の自立を促進し、放課後等の居場所づくりを行う放課後等デイサービスを提供する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	通所に関する相談を受けること。 通所に必要な受給者証を発行すること。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和4年度利用者実人数 852人(児童発達支援 347人、放課後等デイサービス 389人、保育所等訪問支援 115人、居宅訪問型児童発達支援 1人) 前年の令和3年度利用者実人数が671人であることから、着実に進捗している。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	33	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	身体障害者・知的障害者等に係る援護等				
事業概要	ケースワーカーにより、身体障害者手帳・療育手帳に関する相談・援護を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者手帳や療育手帳の取得等についての相談を受け、聞き取りを行うこと。 ・身体障害者手帳所持者に交付される補装具の給付に係る県の判定への同行をすること。 ・療育手帳取得に際し、県の判定への同行をすること。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	障害者手帳の取得等が必要な方に対し、制度に関する説明を丁寧に行い、適切な判断をした上で相談や援護を行っている。 障害者手帳の取得等が必要な方に対し、適切な判断をした上で相談や援護を行っており、事業が着実に進捗されている。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	障害者手帳を取得することに対して、抵抗のある方がいるため、取得を検討している方や周りの方の障害者に対する理解を深める必要がある。				
令和5年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	障害者手帳の取得に対する偏見をなくし、障害者手帳が必要な方が積極的に取得できるように、引き続き周知するように努める。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	34	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	特別児童扶養手当の支給				
事業概要	精神または身体に一定の障害がある 20 歳未満の子どもを育てている方のうち、主として生計を維持する方への経済的支援を図るため、手当を支給する。 ※国の事業（受付窓口は市町村）				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	身体等に一定の障害のある20歳未満の子どもに障害の程度に応じて、月額52,400円(1級)または月額34,900円(2級)を支給する。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	手当を適切に支給することにより、障害のある子どもを育てている保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。 ※国の事業のため、市の歳出は無し。 ※特別児童扶養手当に係る事務費委託金の歳入あり(R4年度決算額478,702円)。 適切な事務処理を行い、滞りなく支給することができている。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	35	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	重度心身障害者医療費の助成				
事業概要	重度心身障害者やその家庭に対して、経済的負担を軽減し、福祉の増進を図るため、医療費の一部を助成する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<p><対象者></p> <ol style="list-style-type: none"> 身体障害者手帳1～3級 療育手帳④、A、B 精神障害者手帳1級 次の①、②のいずれの場合にも該当する方 <ol style="list-style-type: none"> ①次のa～cのいずれかに該当する手帳等の交付を65歳未満で受けている場合で、後期高齢者医療保険制度の障害認定を受けた場合 <ol style="list-style-type: none"> a)身体障害者手帳4級のうち、音声機能又は言語障害、下肢機能障害(一部) b)精神障害者保健福祉手帳2級 c)障害基礎年金1・2級の証書 <p>※平成31年1月1日以降に受給資格が発生した方(以下、「新規資格取得者」)は、10月1日から翌年9月30日までの受給資格について、本人の所得(未成年者についても同様)による審査を毎年実施する。それより前に受給資格が発生した方については、経過措置として、所得の多寡に関わらず令和4年9月30日まで受給資格を継続する。令和4年10月1日以降については、全資格取得者に本人の所得による審査を実施する。</p> <p><助成内容></p> <p>保険診療に係る自己負担額。住民税非課税世帯の対象者については、入院時食事療養標準負担額を平成28年4月診療分から助成。 令和4年10月診療分から、現物給付による窓口払い不要の対象地域を埼玉県内の医療機関に拡大。あわせて、現物給付の対象に入院を追加(上限金額の設定あり)。</p>				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	障害を持った子どもの医療費を助成することにより、障害を持った子どものいる家庭の経済的負担の軽減につながった。 予算執行状況が80%以上であり、一定程度以上の障害を持った子どもの医療費負担の軽減につながっている。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	36	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	障害児福祉手当				
事業概要	身体又は精神（知的）の重度の障害により、日常生活において常時の介護を必要とする状態にある20歳未満の方に対し負担の軽減を図るため、手当を支給する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	20歳未満で、身体等に著しく重度の障害があるため、常時特別な介護を必要とする方に月額14,850円を支給する。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	手当を適切に支給することにより、障害のある方の経済的負担の軽減を図ることができた。 対象者数:64人、支給額:8,571,270円。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	37	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	障害児放課後児童クラブ事業				
事業概要	6歳（小学1年生）から18歳（高校3年生）で障害のある子どもとその保護者への支援を図るため、障害児放課後児童クラブを運営する。				
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	障害児放課後児童クラブの運営を、NPO法人なかよしねっとに委託し、2人の児童の保育を実施した。				
施策の進捗状況と成果 （令和4年度） 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	障害児放課後児童クラブ数 1か所 障害児放課後児童クラブ在籍児童数 2人		
自己評価ランクの理由 （前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）			在籍児童2人に対し、児童一人一人の成長にあった支援を実施することができた。開所当初は10人以上の入所者がいたが、年々利用者が減っている状況が続いたほか、クラブの職員についても、平成30年度の9人から、令和元年度には3人まで減少し、その後、職員を募集したが、正規職員の採用には至らず、児童の新たな募集は難しいとの判断に至ったことから、令和3年度から児童の新規入所を停止していた。背景には、放課後等デイサービスの充実などにより、同クラブに対する需要が減少していることが考えられ、新規児童の受入を再開することができないことから、令和4年度末をもって事業を廃止した。		
推進に関する課題	令和4年度末で事業を廃止				
令和5年度以降の具体的な取り組み （どんなことを予定しているか）	公設・民間の各放課後児童クラブにおいて、障害のある児童の受入れを進めていることから、保護者から相談があった場合は、各クラブへの入所申込をご案内する。				
子ども・子育て会議進捗状況 確認欄 （令和4年度） A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	38	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	育成保育事業				
事業概要	育成事業を通じて、保育園等で障害のある子どもの保育を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	心身の障害にかかわらず、こどもたちが保育園において、ともに育ちあうなかで、安全で健やかな生活できる統合保育の実施。また、上半期と下半期に一度ずつ、障害児童の在籍する保育園において、園児、担任保育士に対するカウンセリングを行う。利用者数の増加に対しては、受入に向けて施設と調整を行うとともに、受け入れ施設に対して、「障害児保育対策事業」として補助金を交付し、施設が受入しやすくなるよう支援を行った。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<育成保育対象> 年間利用児童数 21人 受入施設数 11施設(公設のみ)		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)			<加配保育対象> 年間利用児童数 109人 受入施設数 37施設(居宅訪問型1事業含む)		
推進に関する課題	利用者数の増加				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	巡回相談を中心にこれまでの取り組みを継続する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	39	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	育み支援バーチャル支援センター事業(発達障害児者支援体制)				
事業概要	育み支援バーチャルセンターを設置し、発達に関して気がかりがある児の療育支援のため、専門スタッフ(小児科医、心理相談員等)と地域スタッフにより、巡回相談や来所型での専門相談、親子グループ等での指導や助言を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> 市内の保育園、幼稚園、小中学校への巡回相談による助言・指導の実施。 年12回の医師による相談、年約30回の心理相談員により相談・検査、運動発達面を促す親子グループを11回/年、2つの親子グループを各24回/年実施するほか、市民向け研修会や支援体制整備会議を開催 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	巡回相談回数:目標16回 令和4年度実績 13回 巡回相談件数:目標80件 令和4年度実績 76件		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	より継続的・一体的などぎれのない事業としていくために、今後も関係機関との連携を強化し、子どもが属する機関が変わる際にも支援が継続されるようなシステム形成を関係機関と検討・協議する必要がある。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	40	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	朝霞市障害児就学支援委員会専門員による就学相談				
事業概要	障害のある幼児、児童及び生徒に関し、適正な就学支援を行うための相談会の実施を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・就学相談のためのオリエンテーションを実施した。 ・就学相談を年間に6回実施して、障害のある幼児、児童及び生徒に関して適正な就学ができるように支援を行った。 ・就学相談で保護者等から相談のあった内容を、朝霞市就学支援委員会条例に基づく就学支援委員会で就学しようとする者及び在学する者の心身の障害の種類、程度等を判断し、適正な就学について答申を行った。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	事業内容を適正に行うことができた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	就学相談を希望する保護者の増加による就学相談の日程等の見直し。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	就学相談の日程や時間等の見直しを図る。 子ども相談室にて、就学相談の一部を受け付ける。その際、必要に応じて教育相談員による発達検査を実施する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	41	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	朝霞市はぐくみ補助金				
事業概要	「朝霞市内の小中学校の心や身体に障がいのある児童生徒の福祉を図り支援する」ことを目的として設立された市内小・中学校の保護者団体「朝霞市はぐくみ」に補助金を交付し、その活動を支援する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	「朝霞市内の小中学校の心や身体に障がいのある児童生徒の福祉を図り支援する」ことを目的として設立された市内小・中学校の保護者団体「朝霞市はぐくみ」に対し補助金を交付し、その活動を支援した。令和3年度は、市内小中学校15校中、特別支援学級がある14校に補助金を交付した。引き続き、支援に努めていく。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和3年度 補助金交付額 112,000円		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	「はぐくみ」の活動に対し、必要な支援を継続していく。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	42	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ひとり親家庭等の支援				
事業名	ひとり親家庭への自立・生活支援事業				
事業概要	母子家庭及び父子家庭の親に、自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金等を支給する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうかだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援教育訓練給付金を支給した。 指定講座受講修了の際、講座受講のために支払った入学料及び受講料の60%相当額(雇用保険法による一般教育訓練給付金を受給している方は、60%相当額からその支給額を差し引いた額を支給(上限200,000円、下限12,000円))。 高等職業訓練促進給付金を支給した。 指定された資格の養成機関修業中に高等職業訓練促進費(市・県民税課税世帯100,000円、非課税世帯70,500円)、修了時に修了支援給付金(市・県民税課税世帯50,000円、非課税世帯25,000円)を支給した。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	【令和4年度活動指標】 自立支援教育訓練給付金申請者数 目標 1人 実績 0人 高等職業訓練促進給付金等申請者数 目標 7人 実績 5人 【令和4年度成果指標】 自立支援教育訓練給付金申請者のうち、給付金を受給した者 目標 1人 実績 0人 高等職業訓練促進給付金等申請者のうち、支給決定した者 目標 7人 実績 5人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	就職や転職を考えている方や就職に有利な資格を取得したうえで安定して雇用をしたいという方が潜在的にいたることが想定されることから、引き続き、制度案内や周知を積極的に行っていきたい。また、ひとり親家庭への支援の強化を踏まえ、関係機関との連携により、生活の安定と自立支援を促進していく必要がある。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	43	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ひとり親家庭等の支援				
事業名	児童扶養手当の支給				
事業概要	ひとり親家庭等に、所得に応じて児童扶養手当を支給する。 【手当月額】 全部支給 43,160円 一部支給 43,150円～10,180円				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	ひとり親家庭等に、所得に応じて児童扶養手当を支給した。 【手当月額】 全部支給 43,160円 一部支給 43,150円～10,180円 【支給月】 5月、7月、9月、11月、1月、3月				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	【令和4年度活動指標】 児童扶養手当支給額 254,383千円 【令和4年度成果指標】 支給予定日に遅滞なく児童扶養手当が支給されている割合 100%		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	引き続き、ハローワークや県、関係団体と連携を図りながら、児童扶養手当 現況届の受付時及び支給認定の申請受付時等に生活の安定と自立を支援する ため、就職や転職等の支援も行う。				
令和5年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	44	部名	子ども・健康部	課名	子ども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ひとり親家庭等の支援				
事業名	ひとり親家庭等医療費の助成				
事業概要	ひとり親家庭等に対して医療費の一部を助成する。 小学校に入学を予定している子どもを持つひとり親家庭の父、母に入学準備に必要な経費の一部を支給する。 ひとり親家庭環境において、学習が進んでいない中学生・高校生を対象に家庭訪問の実施や居場所づくり及び中途退学防止のため、学習教室を開催する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうかだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭の父母及び18歳以上到達後の最初の3月31日までの児童(一定の障害がある場合は20歳未満)、療育者に対して医療費の一部を助成した(所得要件あり)。 ・ひとり親家庭の環境において、学習が進んでいない中学生・高校生を対象に本人及び保護者に対して家庭訪問の実施や居場所づくり、高等学校等への進学及び中途退学防止のため、学習支援教室を開催した。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	【令和4年度活動指標】 ひとり親家庭等医療費支給額 43,001千円 ひとり親家庭児童就学支度金支給額 80千円 【令和4年度成果指標】 支給日にひとり親家庭等医療費が遅滞なく支給されている割合 100% 支給対象者に就学支度金が遅滞なく支給されている割合 100%		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	ひとり親世帯で学習支援教室があるのを知らない世帯もいることが考えられることから、引き続き制度案内や周知を行っていく。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	45	部名	子ども・健康部	課名	子ども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ひとり親家庭等の支援				
事業名	母子生活支援施設入所				
事業概要	<p>母子の保護及び自立の促進のための生活指導を行う。 保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対し、助産施設への入所支援を行う。</p>				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<p>経済的理由により、入院助産を受けることができない妊婦の支援にあたった。 入所を必要とする世帯を把握するために、関係機関向けに助産制度活用に関する通知を発送した。</p>				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<p>安全に子どもを出産するために、助産施設への入所支援を行った。(令和4年度1件) 母子生活支援施設への入所実績なし。 母子の保護や入院助産の必要性に応じ、関係機関と連携しながら支援にあたることができた。</p>		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	<p>入所を必要とする世帯の把握。 関係機関と連携した対応。</p>				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	<p>現行事業を継続。 入所を必要とする世帯を把握するために、関係機関向けに助産制度活用に関する通知を発送するなど、制度の周知に取り組む。</p>				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	46	部名	福祉部 こども・健康部	課名	福祉相談課 こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(3) 経済的困難を抱える家庭と保護者への支援				
事業名	生活困窮者等学習支援事業				
事業概要	生活困窮家庭やひとり親家庭の環境において、学習が進んでいない中学生・高校生及びその保護者を対象に、居場所づくりや高等学校への進学、中途退学防止のための学習教室を開催するほか、家庭訪問等の必要な支援を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	校長会にて本事業の概要説明を実施し、教職員や保護者への周知及び声掛け等を依頼。 本事業について高等学校への進学及び中途退学防止のための学習教室を週1回開催したほか、家庭訪問等により学習や進学、生活習慣を身につけるための相談支援等を行った。また、生活保護ケースワーカー向けに事業の説明会を実施したほか、児童扶養手当申請時に事業の案内をしたり、児童扶養手当の受給者証の送付時や就学援助の決定通知送付時に案内チラシを同封するなどの周知を行った。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> 活動指標: 学習教室の参加人数 R4目標・計画 30人 R4実績 30人 成果指標: 参加した中学3年生の進学率 R4目標・計画 100% R4実績 100% 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	学習教室の開催場所について、現在は朝霞駅方面で行っており、朝霞台駅方面からは遠いとの声がある。遠方から通う生徒に配慮し、今後、開催場所を検討していくことも必要。また、開催日数を増やしてほしいとの声もあり、合わせて検討が必要。 必要な方へ本事業の周知が行われ、利用へ繋がるよう、関係機関に更なる周知・協力体制を構築していくことが重要である。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	訪問学習の利用や市内で活動するNPO法人が実施する学習支援教室を案内し、支援につなげていく。 また、本事業の制度や利用方法について、引き続き生活保護ケースワーカー向けに説明会を実施し、利用に繋げていく。				
子ども・子育て会議進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	47	部名	福祉部	課名	生活援護課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(3) 経済的困難を抱える家庭と保護者への支援				
事業名	生活保護進学準備給付金の支給				
事業概要	生活保護世帯に属する子どもが大学等に進学した場合に、新生活立ち上げ費用として一時金を支給する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	生活保護世帯に属する子どもが大学等に進学した場合に、進学のために転居する際は30万円、現在の自宅から通学する際は10万円を新生活立ち上げ費用として支給する。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	生活保護世帯の子どもの大学等への進学を支援することができた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	大学等への進学を希望する世帯が適切に給付を受けられることができるように、毎月発行する保護だよりに制度内容を掲載し、対象世帯の訪問時に声掛けをするなどし、周知を行う。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	52	部名	都市建設部	課名	開発建築課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(3) 経済的困難を抱える家庭と保護者への支援				
事業名	官民の賃貸住宅ストックの活用の推進				
事業概要	住宅に困窮している低所得者層の市民に対し低廉な家賃で住宅を供給する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	コンフォール東朝霞団地の一部(50戸)を市営住宅としてUR都市機構から借上げ、住宅に困窮する低所得の市民に住宅を供給し、その運営管理(家賃算定・徴収、退去の手続き等)を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	市営住宅50戸の運営管理 100%		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	市営住宅あり方検討委員会で今後の市営住宅に関する基本方針を策定したところである。令和6年4月の市営住宅の契約更新に向け、事業者との調整など適切な事務手続きを行う必要がある。				
令和5年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	53	部名	学校教育部	課名	教育管理課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(3) 経済的困難を抱える家庭と保護者への支援				
事業名	小・中学校教育扶助事業				
事業概要	学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対し、就学に必要な費用を支給する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	就学援助制度に認定した保護者に対し、以下の費目について援助を支給する。 <input type="checkbox"/> 医療費 <input type="checkbox"/> 新入学児童生徒学用品費等 <input type="checkbox"/> 学用品・通学用品費 <input type="checkbox"/> 学校給食費 <input type="checkbox"/> 修学旅行費 <input type="checkbox"/> 校外活動費 <input type="checkbox"/> 交通費 <input type="checkbox"/> 体育実技用具費(柔道着) <input type="checkbox"/> 林間学校費				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	経済的に就学困難と認定される児童、特別支援学級へ通学する児童及び火災等により被災した児童に対し、就学に必要な費用の一部を援助したことにより、円滑に義務教育が受けられている。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	申請漏れの無いよう、引き続き制度周知を図る必要がある。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定処理を適切に実施する。 ・ 令和5年度より新たに追加した費目(オンライン学習通信費)を含め、各援助費目について遅滞なく支給する。 ・ 必要とする児童・生徒の家庭へ援助を行うため、制度周知を図る。 ・ 市内小・中学校に在学する全ての児童生徒の保護者に対し、本制度の利用有無の希望を確認するとともに、新たに電子による申請の受付を開始する。 				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	54	部名	各部	課名	各課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(4)外国につながる子どもと保護者への支援				
事業名	外国人世帯の支援				
事業概要	外国人に配慮した子育て支援の情報提供や利用支援を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ内に子育て情報をまとめたサブサイト「あさか子育て応援サイト」を設け、その情報は希望言語を選択することで、表示が変換される設定になっている。 ・窓口で外国人が来庁された際、外国語で対応できる職員を派遣することや外国語翻訳機(ポCKETーク)等を活用し、育児や生活全般の相談に随時対応等、意思の疎通に努めている。 ・外国語版の母子手帳の紹介や予防接種予診票の案内をしている。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	全庁的に取り組むべき内容であるため、一概に評価することは難しいが、市職員は可能な限り外国語を使用する市民等の対応に努めている。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	全庁的に様々な場面や事業において取り組む必要があるため。				
推進に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活や保育所等において、外国人の方が生活するうえで必要とするコミュニティやサービスの対応など、日本では通念上理解されている事柄も違った文化や価値観において、相互理解が必要なため、事例の把握や対応方法などの情報収集が必要である。 				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	引き続き、全庁的な対応を行う。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	55	部名	市民環境部	課名	地域づくり支援課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(4)外国につながる子どもと保護者への支援				
事業名	多文化共生推進事業				
事業概要	多言語で情報を発信する。 多文化推進サポーターを募集・活用する。 外国人市民の意見を聞き、国際化推進事業庁内連絡会議で共有する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> 多文化共生に関する情報発信(広報、HP等での周知・啓発:13回) 多文化推進サポーター事業の実施(翻訳:15人、文化交流:9人) 国際化推進事業庁内連絡会議開催 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	多文化共生事業の実施回数(目標:58回、実績:53回) 多文化共生に関する情報発信(目標:12回、実績:13回) 多文化推進サポーター活動延べ人数(目標:32人、実績:24人)		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	前年度に続き、広報あさか及び市HPで多文化共生に関する情報発信を行った。多文化推進サポーター実働回数については、小中学校で提供された外国料理と文化の紹介記事の作成を新たに依頼し、前年度を上回る実働回数を達成した。				
推進に関する課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人市民の人口は横ばいとなっていたが、再び増加傾向になることが見込まれることから、情報発信等を通じ多文化共生意識の醸成を図る必要がある。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	56	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(4)外国につながりのある子どもと保護者への支援				
事業名	日本語指導支援員の配置				
事業概要	日本語の指導を必要とする帰国・外国籍児童生徒が在籍する朝霞市立小学校及び中学校に、日本語運用能力の向上と学校生活の安定化を図るため、日本語指導支援員の配置を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の日本語指導、基礎的な生活習慣の指導及び学習指導等の通訳を行う。 ・児童生徒が在籍する学級担任教諭及び児童等の保護者に対する助言及び援助を行う。 ・小学校合計32名の児童に対し、4名の日本語指導支援員を配置して、指導を行った。 ・1日2時間を上限とし、800回分の支援を行った。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	新型コロナ感染拡大防止のための入国制限が緩和されたあと、日本語指導が必要な児童生徒が増加したが、4名の支援員で適切に指導を実施することができた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	各学校から支援の申請があった児童生徒に、日本語指導支援員を配置することができたため。				
推進に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の使用言語に対応できる支援員の確保。 ・学校生活における基本的な日本語の指導ができる支援員の確保。 ・新型コロナの入国制限の緩和に伴う外国籍児童生徒の増加。そのための予算の確保。(国際状況を把握しながらの年度途中での補正が必要となるため) 				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続 県費負担日本語指導加配教員の配置(朝霞市内で2名)があるため、支援内容に関して調整する				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	57	部名	子ども・健康部	課名	子ども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-3 地域の中の子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもの健全な成長を支える居場所づくり				
事業名	児童館運営事業				
事業概要	児童の健全な成長を目指し、子どもたちが安全にかつ快適に遊び、活動できるよう、子どもたちの安心・安全な居場所として児童館ガイドラインに沿った管理・運営を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	幼児事業、児童対象事業、中高生対象事業、保護者対象事業、館外事業、季節事業を開催した。 新型コロナウイルス感染症対策を実施し、開館を継続した。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	利用者数 きたはら児童館 25,792人 はまさき児童館 14,721人 みぞぬま児童館 43,049人 ねぎしだい児童館 20,228人 ひざおり児童館 27,702人 ほんちょう児童館 41,406人	計172,898人	
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	指定管理者と協力し、利用者のニーズの把握に努め、それを踏まえた魅力ある児童館事業の実施や設備の充実を図る。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	新型コロナウイルス感染症の影響により実施することができなかった一部の事業について順次再開し、子どもたちが安全かつ快適に遊び、活動できるよう、また、子どもたちの安心・安全な居場所として様々な児童館事業を実施する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	58	部名	都市建設部	課名	みどり公園課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-3 地域の中の子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもの健全な成長を支える居場所づくり				
事業名	都市公園、児童遊園地の充実				
事業概要	幼児や小学校低学年の遊び場として、整備の充実を図る。 公園不足地区の解消及び既存公園の質的向上を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	新設3公園の整備に当たり、子どもたちが利用したくなる公園のアイデアを徴収するため、近隣の小学校を対象にアンケート調査を実施。また、子どもたちが安心安全に遊べるよう、都市公園長寿命化計画に基づき、既設公園の老朽化した遊具の更新工事を実施。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	活動指標①公園改修件数: 目標・計画35件、実績20件 ②公園改修対象か所数: 目標・計画41か所、実績41か所 ③児童遊園地改修件数: 目標・計画18件、実績5件 ④児童遊園地改修対象か所数: 目標・計画83か所、実績83か所 成果指標①都市公園遊具の不具合による事故件数: 目標・計画0件、実績0件 ②児童遊園地遊具の不具合による事故件数: 目標・計画0件、実績0件		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の小学校へのアンケートや住民説明会を実施するなど、特色ある公園整備に向けて着実に進捗している。 ・新しい遊具を設置することにより、安全安心で魅力的な公園づくりが進められている。 				
推進に関する課題					
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	令和5年度 ・(仮称)宮戸二丁目公園、まぼりひがし公園及びまぼりみなみ公園の基本設計及び実施設計業務 令和6年度 ・(仮称)宮戸二丁目公園及びまぼりひがし公園工事 令和7年度 ・(仮称)宮戸二丁目公園及びまぼりひがし公園供用開始 ・まぼりみなみ公園工事 令和8年度 ・まぼりみなみ公園供用開始				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	59	部名	都市建設部	課名	みどり公園課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-3 地域の中の子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもの健全な成長を支える居場所づくり				
事業名	冒険遊び場づくり事業(プレーパーク)				
事業概要	<p>「子供の居場所づくり」と「子どもを中心とした地域社会の活性化」に寄与することを目的に、子どもの遊び場づくりの専門職(プレーリーダー)を配置し、適切な安全管理を行いながら、子どもの自由な外遊びを促す機会を提供する。</p>				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<p>基地跡地暫定利用広場「朝霞の森」において、子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶことができる「プレーパーク」を、委託事業として年間63回開催した。また、昨年度に引き続き、朝霞の森以外の都市公園において「移動式プレーパーク」を年間20回実施した。 コロナ禍においても、屋外公共空間を活用し、安心・安全に子どもの居場所づくりができた。また、常連の小中学生が増え、率先してスタッフの手伝いをするなど自主性が育まれている。 令和4年度より正式に事業化された移動式プレーパークについては、実施後に行ったアンケートで「また来たい」と答えた参加者が100%であり、ニーズの高さが伺えた。</p>				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	活動指標①プレーパークの開催: 目標・計画63回、実績63回 成果指標①来場者数: 実績 9,958人 関連事業: 移動式プレーパーク 年間20回開催 参加人数 1,617人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	天候等の影響により中止や振替開催になった時の周知の徹底				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	令和5年度は移動式プレーパークの開催日数を10日増やし、年間30回開催する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	60	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-3 地域の中の子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもの健全な成長を支える居場所づくり				
事業名	学校体育施設の開放				
事業概要	小・中学校の運動場、体育館を開放し、子どもの心身の健康づくりをサポートする。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	学校開放利用調整会議を開催し、団体間の利用調整を行う。 学校と利用団体で組織する学校開放運営協議会による団体間の利用調整を行う。 開放時間帯の設定は現状維持とするが、利用団体からの意見や学校側の意向等を踏まえながら、事業充実のための検討を継続する。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和3年度 学校体育施設開放利用実績 利用件数:5,665件 利用人数:175,455人		
			令和4年度 学校体育施設開放利用実績 利用件数:5,813件 利用人数:173,346人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	利用団体の増加に対応するための貸出枠数の確保が課題となっている。 また、利用者に対しては、感染症対策の継続、利用マナーの向上、施設利用に関するルールの周知啓発等が課題となっている。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	61	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-3 地域の中の子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもの健全な成長を支える居場所づくり				
事業名	放課後子ども教室				
事業概要	市内の小学校と連携し、小学校を会場とした放課後子ども教室を実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	令和4年度は事業を拡充し、市内の至小小学生を対象として、朝霞第一、第二、第四、第五、第七、第十小学校の6校で、夏季休暇期間にも3日間ずつ計18回の放課後子ども教室を実施した。また、秋からの土曜日の放課後子ども教室も、同じ小学校で、9月から2月までの半年間、各校全12回ずつ放課後子ども教室を実施した。 夏季の教室は学習プログラム提供型と自主学習を見る見守型を合わせた教室とし、秋からの教室は、従来のとおり学習プログラム提供型で実施した。学習プログラムとしては、科学教室、工作教室、バランスボール、スポーツ教室、劇あそび、書道教室を実施した。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和4年度、新たに開催した夏季休暇期間の教室は、無事に終了することができた。なお、延参加者数は、251人であった。また、秋からの教室は、令和3年度は延べ参加者数が844人であったが、令和4年度は延べ参加者数が982人と増加しており、教室の需要が高いものであることが伺えた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	前年度に引き続き、事業開催場所となる小学校の空き教室や、特別教室等の確保が課題となっている。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	令和5年度は、夏季休暇期間の教室をさらに各校2回ずつ増やすよう、事業の拡充を予定している。これにより、夏季休暇期間の教室は令和4年度の18回から、30回に増えることとなる。また、秋からの教室も、引き続き土曜日の午前中、市内6校において各校全12回実施する予定である。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	62	部名	生涯学習部	課名	図書館
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-3 地域の中の子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもの健全な成長を支える居場所づくり				
事業名	図書館における子ども向け事業				
事業概要	子どもを対象に、良書を読む機会を提供するため、おはなし会や読み聞かせなどを開催する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みおはなし会:1回(1日) ・うさみみタイム(絵本等の読み聞かせと映画上映):24回(24日) ・赤ちゃんとママ・パパのおはなしタイム(絵本の読み聞かせやわらべうたなど):24回(12日) ・クリスマスおはなし会:1回(1日) ・子ども読書の日おはなし会:1回(1日) ・絵本のよみきかせ(手遊びと絵本の読み聞かせ):6回 ・えんじょいきっず(図書貸出し返却事務など):3回 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	(活動指数) ①イベント件数 ●夏休みおはなし会 目標:1回 実績:1回 ●うさみみタイム 目標:毎週木曜 実績:48回 ●赤ちゃんとママ・パパのおはなしタイム 目標:年12回 実績:22回(年12回、午前・午後) ●クリスマスおはなし会 目標:1回 実績:1回 ●絵本のよみきかせ 目標:12回 実績:12回 ●えんじょいきっず 目標:4回 実績:4回 ●キッズシネマ 目標:1回 実績:1回 (成果指数) ①イベント件数 ●夏休みおはなし会 目標:30人 実績:21人 ●うさみみタイム 目標:維持(未設定) 実績:484人 ●赤ちゃんとママ・パパのおはなしタイム 目標:120組 実績:65組(147人) ●クリスマスおはなし会 目標:30人 実績:28人(10組) ●絵本のよみきかせ 目標:1回あたり20人 実績:12回 延べ122人 ●えんじょいきっず 目標:16人 実績:15人 ●キッズシネマ 目標:168人 実績:82人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	新型コロナウイルス感染防止対策として、人数制限と事前申込制を行いながらも徐々に規制緩和しながら実施した。				
推進に関する課題	引き続き、子どもの読書活動の推進を図って行く。また、活動を推進する上で、図書館で行っているおはなし会や展示等の各種イベントの周知が課題。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	読書の楽しさ、読書から得る知識や発見の喜びを知る機会を提供し、子どもが図書館へ足を運びたくなるよう、ホームページやSNS、広報紙等を使って事業等により、周知を行う。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	64	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-3 地域の中の子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(2)子ども同士の交流の機会の提供				
事業名	市民総合体育大会、ロードレース大会、小学生スポーツ教室、ウォークラリー大会等の開催				
事業概要	<p>スポーツ振興と市民の親睦、健康増進を図るため、小学生・中学生及び市民等を対象に、市民総合体育大会、ロードレース大会、小学生スポーツ教室、ウォークラリー大会等を開催する。</p> <p>また、都市間交流事業として、越生町との共催でハイキング大会を開催する。</p>				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<p>市民総合体育大会、ロードレース大会、小学生スポーツ教室、市民スポーツ教室、ウォークラリー大会等を開催するとともに、都市間交流事業として越生町とのハイキング大会を開催したが、ロードレース大会は、荒天により中止となった。</p>				
<p>施策の進捗状況と成果 (令和4年度)</p> <p>自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない</p>	A	事業の実施により得られた成果	<p>市民体育祭、小学生スポーツ教室、市民スポーツ教室、ウォークラリー大会等を開催し、合計で約1,900名の参加があった。</p>		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	<p>多くの人に各種事業を知っていただき、参加していただくための周知・広報活動が課題となっている。</p>				
令和5年度以降の具体的取り組み (どんなことを予定しているか)	<p>現行事業の継続</p>				
<p>子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度)</p> <p>A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない</p>		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	66	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子育てを支える環境づくり ①情報提供の充実				
事業名	子育て情報の提供				
事業概要	子育てに関する情報を一元化した子育て情報誌を作成し、子どものいる家庭に配布する。また、子育て情報誌の内容を市のホームページに掲載し、情報提供を行うとともに、子育て情報メールで、子育て等に関する情報提供を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> 子育て情報誌「あさか子育てガイドブック」を市内の児童館、子育て支援センターなどの市内公共施設等に設置したほか、母子手帳の交付時及び、子育て家庭に対して転入時に配布を行った。 子育て情報誌の掲載内容の改定を行い、発行した。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	情報を更新し新しい情報の提供を行うことができた。 冊子、ホームページ、子育て情報メールと異なる媒体で情報を提供することができた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	情報誌の配布方法及び、市民のニーズに応じた内容の充実				
令和5年度以降の具体的取り組み (どんなことを予定しているか)	毎年、情報を更新し新しい情報提供に努める。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	67	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援				
事業名	難病患者見舞金(小児慢性特定疾患患者を含む)				
事業概要	指定難病医療受給者証等の交付を受けている人に、見舞金を支給する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	市内に住所を有し、埼玉県知事が発行する受給者証(次のいずれか:①指定難病②小児慢性特定疾患③指定疾患④特定疾患⑤県単指定難病)の交付を受けている難病患者に対して、申請に基づき難病患者見舞金年額20,000円を支給。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	難病患者及びその家庭への経済的支援につながった。 予算執行状況が80%以上であり、指定難病医療受給者証等の 所持者に継続的な支給を行えている。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	埼玉県が発行する受給者証の新規取得者を制度の利用へとつなげる。				
令和5年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	68	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援				
事業名	こども医療費の助成				
事業概要	対象となる子どもに対し、医療費を助成する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうか)	<ul style="list-style-type: none"> 対象/子どもに対し、医療費を助成した。 助成内容等/通院費対象:0歳児～中学3年生 入院費対象:0歳児から高校3年生 助成方法/通院費:朝霞地区4市内の医療機関で21,000円未満の場合は現物給付、それ以外は償還払い、入院費:償還払い 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	【令和4年度活動指標】 こども医療費支給額 590,243千円 【令和4年度成果指標】 支給日に遅滞なく医療助成費が支給されている割合 100%		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	引き続き、こども医療費の支給を円滑に進めていく。				
令和5年度以降の具体 的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	69	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援				
事業名	児童手当の支給				
事業概要	子育て世帯に対して、児童手当を支給する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	<p>子育て家庭に対し、児童手当を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受給資格者／中学3年生までの対象となる児童を養育する保護者 ・手当月額 0～3歳未満:(一律)15,000円 3歳～小学校修了前(第1子・第2子):10,000円、(第3子以降は15,000円) 中学生:(一律)10,000円 所得制限基準額以上の世帯児童:5,000円 ・支給時期:6月、10月、2月 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	【令和4年度活動指標】 児童手当支給額 2,133,545千円 【令和4年度成果指標】 支給日に手当が遅滞なく支給されている割合 100%		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	引き続き、児童手当の支給が円滑に行われるよう努める。				
令和5年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	70	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援				
事業名	小児救急医療における朝霞地区4市との共同事業				
事業概要	医師会と連携し、救急指定病院等をローテーションして小児救急医療を実施				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅当番医制運営事業(日曜・休日 午前10時～午後4時) ・小児救急医療支援事業(平日・日曜・休日 午後6時～午前8時) (日曜・休日 午前8時～午後6時) ・病院群輪番制病院運営事業(平日・日曜・休日 午後6時～午前8時) (日曜・休日 午前8時～午後6時) 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	令和4年度の実績 ・在宅当番医制運営事業では、1,169人(内小児受診者361人)が受診できた。 ・小児救急医療支援事業では、4,144人(入院813人(内小児受診者264人)・外来3,331人(内小児受診者2,159人))が受診できた。 ・病院群輪番制病院運営事業では、987人(入院187人・外来800人)が受診できた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	朝霞地区4市在学、在勤者など、地区以外の利用者が属する自治体からは、この制度の運営費を負担していない。				
令和5年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	71	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援				
事業名	PTA連合会補助金				
事業概要	朝霞市立小中学校のPTAと相互の連絡協調を図り、各校のPTAの発展に努め、児童生徒の福祉の増進と教育の振興を促進することを目的とした団体であるPTA連合会に補助金を交付し、その活動を支援する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	PTA連合会に補助金を交付し、加盟各校(団体)の活動支援を行った。 令和4年度のPTA連合会加盟校は、市内小中学校全15校中、一小、三小、五小、六小、七小、一中、二中、三中の全8校(団体)。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和4年度補助金交付額 169,200円		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	今後もPTA連合会の活動に対し、必要な支援に努める。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	72	部名	総務部	課名	人権庶務課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 家庭における子育て支援の充実				
事業名	女性総合相談				
事業概要	女性総合相談事業を年間を通じて実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> 女性総合相談の実施(毎週木曜日 午前10時～午後3時) 配偶者暴力相談支援センター相談員及び女性総合相談員研修・交流会(1回) 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	女性総合相談 年間実施日数 51日 年間相談者数 41人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	相談内容は多岐にわたるため、引き続き、女性総合相談だけでなく、関係機関やDV相談等、必要な相談先等に繋いでいく必要がある。				
令和5年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	73	部名	市民環境部	課名	産業振興課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 家庭における子育て支援の充実				
事業名	内職相談事業				
事業概要	週2回、市民相談室において内職の相談・斡旋事業を実施している。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週火曜日・金曜日の午前9時から午後4時まで実施している。 ・広報あさかに毎号掲載するとともに、市ホームページにおいても情報を掲載することで周知を図っている。また、チラシを作成し、市内公共施設等に配架している。 ・令和4年度の求職相談件数は123件、うち紹介件数は18件 ・令和4年度の求人相談件数は4件 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	C	事業の実施により得られた成果	活動指標 内職相談実施回数 目標・計画 100回 実績 96回 成果指標 内職相談人数 目標・計画 200人 実績123人 内職紹介件数 目標・計画 20人 実績 18人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	相談件数が減少傾向にある。世情の影響も考えられるが、相談事業の更なる活用に向けて、新たな周知方法等を検討する必要があると考える。				
推進に関する課題	コロナ禍の収束により、相談件数は昨年度比では多少増加傾向にあるものの、依然として目標に対し低い水準であり、目標件数増加に向けて周知活動を継続する必要がある。 紹介件数については、昨年度から大幅に増加し、目標値に近い成果をあげることができている。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	相談件数を増やすための取組として、SNS等の時流を捉えた広報媒体による情報発信を実施することで、今まで事業を知らなかった市民に利用してもらえるような周知を引き続き実施する。 紹介件数を増やすための取組として、紹介できる内職を増やすため、近隣市の業者を含めた新規事業者の開拓を引き続き実施する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	74	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)家庭における子育て支援の充実				
事業名	あさか学習おとどけ講座				
事業概要	関係各課や企業等との連携、協力を得て、市民の学習の場として講座を提供する「あさか学習おとどけ講座」を実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	令和4年度のあさか学習おとどけ講座の登録件数は、行政メニューが69件、企業メニューが6件だった。また、あさか学習おとどけ講座の利用件数は7件、利用延べ人数は174人だった。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	あさか学習おとどけ講座の事業後に実施したアンケートでは、「満足した」、「やや満足した」という回答が、「無回答」を除くと98.3%（「あまり満足しなかった」、「満足しなかった」という回答は2件）という結果となり、利用した方々からは概ね好評をいただいた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	家庭での教育力の向上を図るため、子どもや子育てに関わるメニューの充実に努める。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	75	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 家庭における子育て支援の充実				
事業名	家庭教育学級の支援				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での教育力の向上を図るため、子育てサークル、PTA等の家庭教育学級の学習活動を支援し、子どもや子育てに関わる各種講座・教室の充実を図る。 ・子育て講座を実施する 				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級(サークル2団体、PTA等6団体)に補助金を交付し、家庭教育学級の開催及びその学習活動を支援した。 ・子育て講座を3回実施した。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	①家庭教育学級数:8団体 ②家庭教育学級参加者数:321人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	引き続きPTA等団体及びサークル、保護者や一般市民に対し、家庭教育の重要性と家庭教育学級事業の周知に努める。また、学んだ保護者(学級生)が、今後も学びを継続できるよう、PTA等団体やサークルが情報を共有し、相互に連携を深めるとともに、保護者同士の結びつきを強める必要がある。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	76	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 家庭における子育て支援の充実				
事業名	家庭教育学級事業補助金				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での教育力の向上を図るため、子育てサークル等の家庭教育学級活動に補助金を交付する。 ・家庭教育学級活動報告集を作成し、各学級の活動を広く紹介し、家庭教育の重要性を啓発する。 				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級(サークル2団体)に補助金を交付し、学習活動の支援を行った。 ・各学級がそれぞれに学習活動を行った。 ・家庭教育学級活動報告集を作成し、学級生等に配布した。 ・子育て講座を3回実施した。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	①家庭教育学級数:2団体 ②家庭教育学級参加者数:45人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	引き続きサークルや市民に対して事業のPRに努める。また、学んだ保護者(学級生)が、今後も学びを継続できるよう、PTA等団体やサークルが連携を深め、保護者同士の結びつきを強める必要があり、家庭教育学級の活動・運営等に対する相談体制の充実を図り、団体への必要な支援に努めていく。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	77	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 家庭における子育て支援の充実				
事業名	家庭教育学級補助金				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での教育力の向上を図るため、PTA等の家庭教育学級活動に補助金を交付する。 家庭教育学級活動報告集を作成し、各学級の活動を広く紹介し、家庭教育の重要性を啓発する。 				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育学級(幼稚園・小中学校PTA等6団体)に補助金を交付し、学習活動の支援を行った。 家庭教育学級活動報告集を作成し、学級生等に配布した。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	①家庭教育学級数:6団体 ②家庭教育学級参加者数:276人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	引き続き継続して、幼稚園、小・中学校のPTA等に家庭教育の重要性を啓発するとともに、事業のPRに努める。また、学んだ保護者(学級生)が、活動を継続して行うことができるよう、PTA等団体やサークル間の連携を深め、保護者同士の結びつきを強めるよう支援に努める。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	78	部名	生涯学習部	課名	中央公民館
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 家庭における子育て支援の充実				
事業名	子育て(育児)講座				
事業概要	各種講座等の開催（子育て、育児講座等の開催）				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・こども天体教室、サイエンスキッズ(中央公民館) ・子どもふれあい広場、育児パパ・ママ応援講座(東朝霞公民館) ・伝統文化講座、レッツチャレンジ、育児講座(西朝霞公民館) ・南っ子クラブ(南朝霞公民館) ・子育て講座、わんぱくキッズランド(北朝霞公民館) ・子どもランド(内間木公民館) 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・こども天体教室: 定員15組30人 受講者14組28人 ・サイエンスキッズ: 定員計48人 受講者37人 ・子どもふれあい広場: 3講座定員計45人 受講者56人 ・育児パパ・ママ応援講座: 2講座定員計36人 受講者37人 ・伝統文化講座: 3講座定員計45人 受講者52人 ・レッツチャレンジ: 2講座定員計20人 受講者20人 ・育児講座: 5講座定員計112組224人 受講者69組176人 ・南っ子クラブ: 3講座定員計67人 受講者76人 ・子育て講座: 3講座定員計36組72人 受講者33組73人 ・わんぱくキッズランド: 2講座定員計20人 受講者16人 ・子どもランド: 3講座定員計36人 受講者26人 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)	新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、前年度よりも多くの講座を実施することができ、受講者も前年度より増加したため。				
推進に関する課題	公民館の事業への期待は引き続き高いと考えられる。今後も、子ども向け講座や子育て関連講座を充実させていく必要がある。				
令和5年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	79	部名	生涯学習部	課名	図書館
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 家庭における子育て支援の充実				
事業名	ブックスタート事業				
事業概要	月2回4ヶ月健診の受診者に赤ちゃん絵本を配布し、読書のきっかけとする。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	4ヶ月健診の受診の際にメッセージを添えて絵本の入ったパックを配布した。ブックスタート・ボランティアによる読み聞かせ等は、令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず、代わりに絵本を読む楽しさや有用性等を書いた手引きを配布することで啓発を行った。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	R4年度開催予定:24回 実施:24回 受診者数:1,230人(4ヶ月健診受診者の99.8%が参加) パック配布数:1,228パック		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	新型コロナウイルスの感染が落ち着き、保健センターで体制が整ったことに合わせ、4月からブックスタート・ボランティアの読み聞かせを再開する。また、絵本や読み聞かせが赤ちゃんとのきづなを深める大切なものであることを伝えることで、子ども読書活動推進につなげる。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	保健センターの協力を得て、4月からブックスタート事業において、対面による読み聞かせ体験や啓発を再開する。また、フォローアップ事業である「赤ちゃん和妈妈・パパのおはなしタイム」につながるように積極的に周知を行うとともに、ブックスタートに先立つ妊娠期の母子と家族向けの「プレママ・パパ絵本講座」についても周知を図り、切れ目のない読書支援を推進していく。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	81	部名	子ども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	子育て電話相談				
事業概要	子育て中の保護者を対象に、子育て支援センターにおいて乳幼児の育児に関する相談を受ける。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	さくら子育て支援センターに、電話相談専用回線を設け、育児全般の相談を受けた。 受付:月～土曜日 午前9時～午後5時				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	生活習慣、発育・発達・障害、予防接種に関する相談などをを受け、アドバイスすることにより、保護者の不安を解消することができた。 相談件数:48件		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	子育てに関する相談を電話でも受けることで、外出が困難な保護者に対しても、育児に関する相談の場を提供できたことにより、不安が解消され育児支援ができたと考えたため。				
推進に関する課題	さくら子育て支援センター以外の、市内7か所のセンターにおいても相談を受け付けているが、電話相談専用回線があるのは、さくら子育て支援センターのみである。他のセンターでは、事業や来所の予約も電話で受け付けていることから、長時間の電話相談に応じることが難しく、さくら子育て支援センターの電話番号の周知を進める必要がある。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	市HPだけではなく、SNSを通じて、電話相談事業を周知していく。				
子ども・子育て会議進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	82	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	母子保健相談事業				
事業概要	妊娠期から妊娠・出産・育児に関して訪問・面接・電話等での保健師・栄養士・助産師等が個別の相談を受け、子どもとその保護者の健康の保持・増進のための支援を実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	面接・電話・訪問による育児や健康に関する相談や指導等の支援を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和4年度相談件数 面接:407件、電話:1,869件、訪問:360件		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	育児支援が必要なケースや児童虐待のリスクのある世帯も含めて、適切な時期に相談を行えるよう、関係機関との情報共有や連携を図り、支援の強化を強化を図る。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	83	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	栄養相談事業				
事業概要	来所や電話での個別の栄養指導。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	乳幼児期や児童期の食生活の不安や疑問に対応するため、随時、来所や電話での 個別栄養相談を実施。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	令和4年度実績 相談件数:386 件		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	保育施設や医療機関等との連携や情報共有の進め方や連携策の方針等の調整 を行っていく。				
令和5年度以降の具体 的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	84	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	妊婦健康診査				
事業概要	母子健康手帳交付時に、妊婦健康診査助成券の交付を行い、その費用の一部を助成し、妊娠期の健康管理を勧める。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健康診査助成(委託医療機関分) ・委託医療機関以外の医療機関を受診している妊婦に対して補助金を交付 一人あたり補助額:上限102,190円 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和4年度 活動指標:妊婦一般健康診査公費負担回数 目標・計画 14回 実績 14回 成果:妊婦一般健康診査受診者数 1,158人 妊婦一般健康診査受診率(1回目を評価) 目標・計画 97% 実績 99%		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	本事業は、妊婦健康診査に係る経済的負担の軽減を図れることから、母子の健康管理のためにも、効果的な活用が図られるよう、妊娠届出時等の周知を徹底する必要がある。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	85	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	母子健康教育事業				
事業概要	母性または乳幼児の健康の保持増進に必要な知識や技術について、集団や個別で相談および教育を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	マタニティ教室:18回/年 母と子のつどい:2回/年 離乳食スタート教室:24回/年 離乳食ステップアップ教室:12回/年 すこやか相談(発育発達相談):6回/年				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和4年度実績 マタニティ教室実施回数 目標:18回 実績:18回 マタニティ教室参加満足度 目標80% 実績:90%		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	コロナ以降、病院での教室実施が中止またはオンラインでの開催となっており、対面で実施している本事業に対するニーズは高いことから、より多くの方に参加していただけるよう、内容を検討する必要がある。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	86	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	乳幼児健康診査				
事業概要	乳児（4か月・10か月）及び幼児（1歳6か月児・3歳児）に対する健康診査及び保健指導を実施。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	・4か月児健康診査:24回/年 10か月児健康診査:24回/年 1歳6か月児健康診査:24回/年 3歳児健康診査:24回/年 1歳6か月児歯科健康診査:24回/年 3歳児歯科健康診査:24回/年				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	令和4年度実績 活動指標:乳幼児健康診査実施回数 目標値96回 実績:96回 成果指標:乳幼児健康診査受診率 目標値:95% 実績:98.8%		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	乳幼児健康診査では、母子保健の視点と児童虐待予防の視点の両面から未受診者の把握及びその支援の在り方について、関係各課と連携して対応していく必要がある。				
令和5年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	87	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	歯科保健事業				
事業概要	乳幼児に対して歯の健康診査、フッ化物塗布、保健指導、教育を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	3歳児フッ化物塗布(3歳児健康診査時) 親子歯科健康診査(5歳児とその保護者)				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	活動指標:フッ化物塗布実施回数 目標値:24回 実績:24回 成果指標:フッ化物塗布率 目標値:85% 実績:76.7%		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	令和4年度からは親子歯科健康診査に替わり幼児歯科健康診査(5歳児対象)を実施した。大切な永久歯が生え始める5歳児に歯科健康診査を実施することで、引き続き、幼児の口腔の健全な発育・発達を促し、心身の健康増進を図る必要がある。				
令和5年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	88	部名	子ども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	各種予防接種の実施				
事業概要	子どもを対象に、定期的に予防接種を実施				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	ロタウイルス、B型肝炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、BCG、麻しん・風しん、水痘、日本脳炎、二種混合、ヒトパピローマウイルス				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	令和4年度の実績 定期予防接種の実施者数 ロタウイルス 2,985人、B型肝炎 3,621人、ヒブ 4,827人 小児用肺炎球菌 4,827人、四種混合 4,804人、BCG 1,229人 麻しん・風しん混合 2,431人、水痘 2,252人、日本脳炎 6,355人 二種混合 969人、ヒトパピローマウイルス 830人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和5年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	予防接種法に基づく各種予防接種を継続して実施する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	89	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	母子健康手帳交付事業				
事業概要	子育て世代包括支援センターで妊娠の届出時に母子手帳を交付する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	妊娠届出時に母子健康手帳を交付する。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	令和4年度実績 妊娠届出数 1,166人 うち妊婦との面談数 1,049人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	妊娠届出の時期は、妊娠初期で体調がすぐれない妊婦や就労中の方も多く、すべての妊婦と直接面接することは難しい。				
令和5年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	令和5年4月から伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金事業を開始しており、妊娠届出時の面談と出産後の面談の実施を給付の要件おしている。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	90	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	未熟児養育医療費給付事業				
事業概要	入院医療が必要な未熟児に対し、医療費の給付を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	未熟児で出生した子供に対し、必要な医療の給付を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	活動指標:未熟児養育医療処理件数 目標値:100回 実績 120回 成果指標:未熟児養育医療給付人数 目標値:40人 実績 38人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和5年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	91	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	妊娠期からの包括的な子育て支援				
事業概要	妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供するワンストップ拠点(子育て世代包括支援センター)で、保健師等の専門職がすべての妊産婦等を継続的に把握し、必要に応じて支援プランを作成し、妊産婦に対して切れ目のない支援の実施を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	母子健康手帳の交付をとおして、保健師等の専門職がすべての妊産婦等の状況を把握する。必要に応じて支援プランを作成することにより、妊産婦等に対し、面談・訪問・電話等を行い、切れ目のない支援を図る。また、退院直後の母子についても心身のケアや育児サポート等を行う(訪問型)				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和4年度実績 妊娠届出数 1,208人 うち妊婦との面談数 1,163人 乳児全戸訪問件数:1,197人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	妊娠届出の時期は、妊娠初期で体調がすぐれない妊婦も多いことや、子育て世代包括支援センターが1か所であるため、利便性の課題がある。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	引き続き、北朝霞方面への設置について検討する。また、訪問での対応など柔軟な対応を行う。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	92	部名	子ども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-2 地域における子育てのために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子育てネットワークの充実				
事業名	子育て支援センター事業				
事業概要	子育て中の保護者と児童を対象に、子育て支援センターにおいて、子育てに関する相談を受けるほか、各種事業を実施し、子育てサークルに活動場所を提供するなど支援する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	子育てに関する相談、指導、各種事業(誕生会、身体計測、食の安心サロン、児童の月齢に応じた集り等)を企画・実施した。 また、市内子育て支援センター8か所の職員を集めたセンター会議を2回開催し、新型コロナウイルス感染症への対応や行事の開催方法など、各センターで実施している内容を共有し、各センターの改善に取り組んだ。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	市内子育て支援センター 全8か所 (公設公営2か所、公設民営2か所、民設民営4か所) 事業参加者数(公設公営のみ) 4,366人 相談者数(公設公営のみ) 195人 電話相談件数(公設公営のみ) 63件(81_子育て電話相談事業と一部重複)		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)			0歳児の集まるイベント、1歳児の集まるイベントなど、年齢を限定したイベントを実施したことで、同じ年齢の児童を持つ保護者が知り合える機会を提供することができた。また、子育てに関する相談を受け、保護者の育児に関する不安を軽減できたと考えるため。		
推進に関する課題	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、外出を控えていた家庭が子育て支援センターを利用しに来ることが増えることを想定している。事業の参加者が特定の利用者に偏らないように、新規の予約枠を設けるなど、新規利用者が子育て支援センターを利用しやすい環境を作っていく。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	民間の子育て支援センターの職員に対して、朝霞市が実施している子育て関連施策を共有し、各センターにおいて、保護者からの相談に対して、同様の対応ができるように研修会を実施する予定である。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	93	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-2 地域における子育てのために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子育てネットワークの充実				
事業名	保育園園庭開放・いっしょに遊ぼう保育園で				
事業概要	保育所の遊びを通して未就園児の子育て家庭を支援するため、公立保育所の園庭を開放する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため、令和4年度中は「いっしょに遊ぼう保育園で」(保育所における保育士との遊び)を取りやめ、「園庭開放」のみに切り替えて実施した(公設民営保育園を含む11園)。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和4年度 利用者数: 大人485人 子ども489人 合計974人		
令和3年度 利用者数: 大人437人 子ども426人 合計863人					
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	子育て世帯に対する保育等の様々な不安の解消のため、保護者等への更なる事業の周知や、参加者からの、保育園での生活や入園に係る相談など、きめ細かい説明が必要である。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	「園庭開放(いっしょにあそぼう保育園で)」として、毎月2回、園庭で体操したり、日頃あそんでいる体操遊具(トンネル等)を出して自由にあそぶ事業を実施する。新型コロナウイルスの感染状況から令和4年度まで中止していた出張家庭児童相談室事業について令和5年度から再開する。また、これまでの周知方法に加え、令和5年度より保育課で開設したツイッターによる周知を行う。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	94	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-2 地域における子育てのために				
施策の方向性	施策の方向性(2)子どもの健全育成の充実				
事業名	青少年育成事業				
事業概要	青少年健全育成団体に補助金を交付し、団体の活動を支援するとともに、関係機関・学校・地域と連携して、青少年健全育成啓発活動を実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成団体に補助金を交付し、団体の活動を支援した。 ・青少年健全育成の集い、ふれあい体験事業、ふれあい標語、青少年を守り育成する家等の啓発活動事業を実施した。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成活動事業数 6回 ・青少年健全育成活動事業延べ参加者数 6,032名 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	青少年教育を所管する関係課と引き続き連絡調整を図るとともに、関係団体・学校・地域が連携して事業を実施できるよう努める。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	新型コロナウイルス感染症の影響により実施することができなかった一部の事業についての再開と実施事業の継続。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	95	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-2 地域における子育てのために				
施策の方向性	施策の方向性(2)子どもの健全育成の充実				
事業名	朝霞地区青少年健全育成地域の集いの開催				
事業概要	学校・家庭・地域社会が連携して、地域ぐるみで青少年の健全育成を推進する。そのために、年1回、朝霞地区四市の生徒指導担当の運営で、児童・生徒・教員・PTAの各代表が、学校や家庭の問題について取組や成果を発表をする。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中・高の児童生徒、教員、PTAそれぞれの代表が発表を行い、朝霞地区の青少年健全育成に努める。 ・他市・他校の取組等を確認できる。 参加者 朝霞地区各市小・中・高・特別支援学校 教職員及びPTA 朝霞地区各市青少年健全育成関係団体 朝霞警察署 新座警察署 朝霞地区各市教育委員会 発表者 児童代表 生徒代表 小学校教諭代表 中学校教諭代表 保護者代表 高等学校・特別支援学校代表				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	C	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響もあり、会場に参加者等を集めての開催は今年度もできなかった。児童生徒の作文発表は動画発表やレポート発表による形式となった。 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	新型コロナウイルスの影響により、計画どおり事業を実施できなかったため。				
推進に関する課題	新型コロナの影響もあり、昨年度に引き続き開催ができなかった事業もあるが、次年度以降、コロナ前の活動状況に戻れるようしっかりとした計画が必要である。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	朝霞地区青少年健全育成の集いについては、令和5年度以降開催しない。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	96	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-2 地域における子育てのために				
施策の方向性	施策の方向性(2)子どもの健全育成の充実				
事業名	朝霞市ふれあい推進事業				
事業概要	地域における奉仕活動、体験活動等を展開し、心豊かな青少年の育成を図るとともに、地域で子供を育てる意識を醸成し、地域の教育力の活性化を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> 朝霞市ふれあい推進事業推進委員会を組織し、事業の推進方策の検討・運営を行い、各中学校区での主催事業を支援した。 市内すべての中学校区で実行委員会を組織したが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、朝霞一中校区、朝霞二中校区は地域ぐるみの取組(ふれあいまつり、フェスティバル)は、中止した。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	C	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> 活動指標 実施中学校区数 目標・計画 5校区、実績 3校区 成果指標 事業参加者数 目標・計画 7,500人、実績 5,693人 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	新型コロナウイルスの影響により、2つの中学校区で取組が実施できなかったため。				
推進に関する課題	新型コロナによる開催中止が続いた校区に関して、次年度以降しっかりと支援してコロナ以前の活動状態に戻していく必要がある。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。5つの中学校区でふれあい推進事業を実施する。 6月6日に第1回ふれあい推進事業実行委員会を開催する				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	97	部名	市民環境部	課名	産業振興課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-2 地域における子育てのために				
施策の方向性	施策の方向性(3) 世代を超えた子育て支援の推進				
事業名	農業体験事業				
事業概要	市内の農家の協力のもと、都市農業への理解を深めるため、芋ほり、田植えなどの体験を通じて地域との交流を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・5月 田植え体験 ・6月 ジャガイモ掘り体験 ・8月 稲刈り体験 ・10月 さつまいも掘り体験 ・12月 人参掘り体験 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	活動指標 農業体験の開催回数 目標・計画 5回 実績5回 成果指標 農業体験の参加人数 目標・計画 1500人 実績1154人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	コロナ感染拡大防止対策のため中止となっていた体験事業を、感染対策を講じてすべて実施することができ、多くの参加をいただいた。				
推進に関する課題	年間を通して農業体験を実施できるように県の技術普及担当職員と連携し、農家の意見も踏まえ、市民が参加しやすいよう日程等検討していく。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	98	部名	福祉部	課名	長寿はつらつ課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-2 地域における子育てのために				
施策の方向性	施策の方向性(3) 世代を超えた子育て支援の推進				
事業名	児童館における高齢者と児童の交流事業				
事業概要	老人クラブ会員が児童館事業の伝承遊びの講師として指導することにより、世代間の交流を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<p>◆浜崎老人福祉センター</p> <p>1 切り絵体験講座 目的：異世代間交流 実施日：R4.7.23(土) 対象者：老人福祉センター利用者、児童館利用者 参加者：18名(うち児童7名)</p> <p>2 老センといっしょ ～卓球であそぼう～ 目的：異世代間交流 実施日：R4.8.19(金)、26(金) 対象者：老人福祉センター利用者、児童館利用者 参加者：30名(うち児童5名)</p> <p>◆溝沼老人福祉センター</p> <p>1 切り絵体験講座 目的：異世代間交流 実施日：R4.8.3(水) 対象者：老人福祉センター利用者、児童館利用者 参加者：14名(うち児童6名)</p> <p>2 老センへ行こう ～ゲーム大会～ 目的：異世代間交流 実施日：R4.10.17(月) 対象者：老人福祉センター利用者、児童館利用者 参加者：14名(うち児童10名)</p>				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	新型コロナウイルス感染症が流行している中でも、感染防止対策を図りながら予定どおり異世代間交流を図ることができた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	新型コロナ感染防止対策を十分に図りながら、令和3年度以上に事業を実施することができたため。				
推進に関する課題	多くの児童や高齢者に参加していただける事業の検討。				
令和5年度以降の具体的な取り組み(どんなことを予定しているか)	多くの児童や高齢者に興味を持っていただける事業内容について、社会福祉協議会等と検討を行う。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	99	部名	危機管理室	課名	危機管理室
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	防犯灯設置工事費補助金の交付				
事業概要	地域の方々による防犯活動の推進を図るため、通学路を含めた道路などに設置する防犯灯に関する工事費を自治会・町内会等に補助する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	新たに防犯灯を設置する自治会・町内会等に対し、補助金を交付した。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	令和4年度成果目標「夜間の照明確保」 目標:適切に確保 実績:適切に確保		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)			事業内容について、自治会・町内会等との協働が今後の課題であるため		
推進に関する課題	自治会・町内会等との協働				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	100	部名	危機管理室	課名	危機管理室
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	防犯灯維持管理費補助金の交付				
事業概要	地域の方々による防犯活動の推進を図るため、通学路を含めた道路などに設置した防犯灯の維持管理に関する費用を自治会・町内会等に補助する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	自治体・町内会等が設置した防犯灯の維持管理(電気料金)に対する補助を行う				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	令和4年度成果目標「夜間の照明確保」 目標:適切に確保 実績:適切に確保		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	事業内容について、自治会町内会等との協働が今後の課題であるため				
推進に関する課題	自治会町内会等との協働				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	101	部名	危機管理室	課名	危機管理室
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	広報による防犯啓発活動				
事業概要	防犯に対する意識啓発のため、市広報に防犯記事の掲載、防犯研修会・防犯街頭キャンペーンを実施する。また、青色防犯パトロールを運行し、注意喚起を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・青色防犯パトロールカーを運行し、注意喚起を行う。 ・毎週ホームページに朝霞警察署からの地域防犯ニュースを掲載している。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	青色防犯パトロールカーを243日運行		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	102	部名	危機管理室	課名	危機管理室
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	朝霞防犯パトロール隊の認定				
事業概要	地域の方々による防犯活動の推進を図るため、防犯パトロールを実施する自主防犯組織を朝霞市防犯パトロール隊として認定する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロールを実施する自主防犯組織の活動報告により、市内の防犯活動の状況把握を行う。 ・年間をとおして活動した自主防犯組織に対し、感謝状を贈呈する。 ・防犯パトロールを実施する自主防犯知識に対する補助を行う。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	令和4年度成果目標「自主防犯パトロール団体数」 目標:65団体 実績:63団体		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	自治会員の高齢化により新たに防犯パトロールを結成してもらうことが難しいため。				
推進に関する課題	自治会・町内会等との協働及び新規自主防犯パトロール団体の結成の推進				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	103	部名	学校教育部	課名	教育総務課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	防犯ブザーの貸与				
事業概要	小・中学生全員に防犯ブザーを貸与する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	朝霞市内の小・中学校全児童生徒のほか、市内在住で国立・私立等の小・中学校へ 通学し、貸与を希望する児童生徒に対し、登下校時及び放課後の安全対策の一環 として防犯ブザーを貸与する。 また、貸与時に使用方法等を指導する。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	継続 (目標値等の設定なし)		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和5年度以降の具体 的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現状事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	104	部名	学校教育部	課名	教育管理課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	通学路の安全点検				
事業概要	毎年通学路の危険箇所について安全点検を行うことにより、通学路の安全確保に努める。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	各学校において通学路安全点検を行うことにより、学校等から報告を受けた通学路の危険箇所について市役所の関係各課と協力し、整備や修繕を行うことで、通学路の安全対策を図っていく。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	各学校等から報告を受けた通学路の危険箇所の多くの部分において、整備や修繕を行うことで、通学路の安全が確保された。また、通学路の危険箇所について市役所と学校とで認識の共有が図られた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	今後も継続して学校に調査依頼することにより、通学路の状況を適時把握していく。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	「現行事業の継続」				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	105	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	朝霞市生徒指導委員会の開催				
事業概要	生徒指導に関する実質的な課題解決のために、朝霞市生徒指導委員会を開催し、生徒指導に関しての連携を図る。学校間の情報交換をはじめ、非行・問題行動等の対策について協議する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	委員会を年に2回程度開催し、情報交換を行うとともに、連携を図った。また、朝霞市小・中連携推進協議会を同時開催し、各中学校区で実質的な生徒指導上の連携を強化した。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> 朝霞市小・中連携推進協議会を発足させ、各中学校区で実質的な生徒指導上の連携を強化した。 学区内外の生徒指導に関する取組についての情報交換及び、新しい知見の情報提供ができた。 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	小学校と中学校のさらなる行動連携。及び各学校間の行動連携。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	106	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	朝霞地区学校警察連絡協議会の開催				
事業概要	学校と警察が連携し、犯罪から児童生徒を守るための連絡会を開催する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・総会・全体協議会を実施。 ・第2回総会、講演会及び朝霞警察署との情報交換会を実施 ・年末街頭補導はその役割を終えたとの判断で中止を決定。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実 施により 得られた 成果	子どもたちをそれぞれの立場から見ることや、行動連携により、子どもたちの健全育成に努めることができる。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)	新型コロナの影響が残る中、令和3年度より確実に進捗したといえる状況にないため。				
推進に関する課題	各学校と警察、教育委員会との行動連携。				
令和5年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	<ul style="list-style-type: none"> ・5月中旬、役員会開催。 ・6月上旬、全体協議会を紙面開催。 ・10月中旬、第2回役員会開催。 ・10月中旬、講演会及び朝霞警察署との情報交換会を実施。 ・12月下旬、合同街頭補導について実施。 ・2月上旬、第3回役員会開催。 				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	107	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	通学路等での定期・臨時パトロールの実施				
事業概要	学校付近や通学路をPTAやボランティア等が連携してパトロール活動を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でPTA活動そのものを減らす学校もあったが、スクールガード・リーダー及びボランティアが連携してパトロールを行った。 ・スクールガード・アドバイザーとの連絡回数を増やした。 ・スクールガードを対象に研修会を開催し、埼玉県県民生活部の職員による講演を実施。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	目標値等は定めていない 継続		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	各学校のスクールガード・リーダー同士の連携がなかなか取れない。 中学校・小学校での見守り活動の連携。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	<ul style="list-style-type: none"> ・現行事業の継続 ・スクールガード養成講習会を実施する際、各学校のスクールガード・リーダーの方へ出席してもらうよう依頼し、開会前に顔合わせと実施する。 				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	108	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	非行防止教室の実施				
事業概要	各学校が保護者、地域、警察等の関係機関と連携を図り、児童生徒の非行・問題行動等の予防・根絶を図ることを目的とし、講演会等の取組を実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	各学校の実態に応じ、朝霞警察や埼玉県警、携帯電話事業者等と連携し、非行防止教室(講演会)を開催した。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	各学校の実態に応じて、教員の話だけでなく、警察官をはじめとする専門家から、より具体的な内容の話聞くことで、子どもたちの規範意識を高めることができた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	警察、関係機関、学校の連携。保護者の参加。学校の実施状況の把握。児童生徒の実態に応じたテーマ設定。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続 スマートフォン等がからむトラブル等児童生徒を取り巻く環境に即した適切なテーマ設定をする。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	109	部名	都市建設部	課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり				
事業名	道路区画線の工事				
事業概要	グリーンベルトや外側線等の新設及び摩耗した区画線の引き直しを行い交通安全の確保に努める。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	外側線・グリーンベルト等の新設及び摩耗している区画線の復旧工事を実施し、車両の通行帯を明確にすることで歩行者の安全確保に努めたほか、交通事故発生箇所等を警察、関係機関と連携し、道路区画線を復旧・新設するとともに、市民(自治会・小学校等)からの要望を受け安全対策工事を実施した。 また、令和4年度においては、千葉県八街市で発生した交通事故を受け、朝霞警察署等の関係機関と連携して実施した緊急安全点検結果を基に、対策が必要と判断した箇所について、区画線やグリーンベルト設置等の交通安全対策工事を実施した。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	道路区画線等路面表示 R4目標 6,000 m R4実績 16,579 m グリーンベルト等のカラー表示 R4目標 150 m ² R4実績 704 m ²		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	本来であれば、長期的、中期的な視点に基づき、配置や予算に対する事業計画を立てて実施するべきであるが、対応に緊急性があることから随時対応を行っている。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	110	部名	都市建設部	課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり				
事業名	交通立看板、警戒標識等の設置				
事業概要	道路交通環境の整備として、交通事故発生箇所などを再点検し、交通安全の確保を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	通学路等における危険箇所や、自動車・自転車運転者などへの注意喚起を促すた め、交通安全啓発看板を設置した。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	交通安全啓発看板の作成、設置数 R4実績 40枚 危険な箇所に対する注意喚起を行うことで、安全意識の向上を図 ることができた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	看板の設置にあたっては、道路構造に適したものを設置する。また、既存の 看板等の維持管理が必要になる。				
令和5年度以降の具体 的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	111	部名	都市建設部	課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり				
事業名	新入学児童への交通安全教育の実施				
事業概要	新入学児童を対象に教育用信号機を使った交通安全教育を警察署員、各小学校教員が実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	新入学児童を対象に、教育用信号機を用いた交通安全教育を警察署、小学校等の 関係機関による連携のもと実施した。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	安全教育の実施により、交通ルールを学ぶとともに、交通安全意 識の高揚につながった。 【実施数】 小学校 10校		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和5年度以降の具体 的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	112	部名	都市建設部	課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり				
事業名	保育園児、幼稚園児に交通ルールの指導				
事業概要	パネルシアターやビデオ上映等を行い、園児に正しい交通ルートを警察署員が指導する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	保育園児、幼稚園児を対象に、プロジェクターを使った交通安全教育を警察署員が実施した。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	安全教育の実施により、交通ルールを学ぶとともに、交通安全意 識の高揚につながった。 【実施数】 保育園: 32園 幼稚園: 7園 合 計: 39園		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	年々、対象保育園が増加しており、保育園の行事等の関係上、日程調整が困難に なっている。				
令和5年度以降の具体 的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	113	部名	都市建設部	課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり				
事業名	交通安全運動チラシによる啓発活動				
事業概要	交通事故防止、交通安全意識の普及を図るため、啓発活動を展開する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、例年実施している街頭活動は一部を除き中止となったが、市ホームページや広報あさかにて交通安全に関する啓発記事を掲載したほか、カインズ朝霞店で実施された「朝霞市防災フェア」に交通安全ブースを出展した。また、新たな取り組みとして、交通安全作品の受賞作品を基に横断幕、ポスター、立て看板を作成する等、様々な機会を捉えて交通安全等に関する啓発を実施した。 例年実施している啓発活動に加え、交通安全作品受賞作品の活用等、様々な機会を捉えて交通安全意識の普及に努めている。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	年間交通事故発生件数(人身事故) R4目標 280件 R4実績 283件		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	114	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり				
事業名	自転車運転免許制度の実施				
事業概要	朝霞警察署が主体となり、市内小学校4年生児童全員に、自転車運転の試験を行う。その結果、免許を児童がもらい、安全に自転車に乗るよう指導していく。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・夏季休業の事故防止と安全意識を向上させるため、5月～6月に市内小学校4年生を対象に自転車免許運転実技試験を実施を予定し、朝霞警察署、学校、まちづくり推進課、交通指導員、教育管理課、教育指導課が協力し、自転車を安全に運転するために大切なことについて指導した。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	目標値等は定めていない 継続 新型コロナウイルス感染対策を講じた上で実施できた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	交通ルールを守る姿勢を育むとともにヘルメットの着用を促進する。				
令和5年度以降の具体的取り組み (どんなことを予定しているか)	事業を継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	115	部名	総務部	課名	財産管理課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり				
事業名	すべての方が利用しやすい公共施設の整備				
事業概要	市民の意見・要望を踏まえ、すべての方が利用しやすいよう市内の公共施設の整備を推進する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	朝霞第六小学校校舎増築工事設計業務委託において、エレベーター新設や車いす利用者用駐車場、車いす対応トイレの整備などを盛り込み埼玉県福祉のまちづくり条例に適合した計画とした。また、朝霞第三中学校、第四中学校の体育館に空調設備を整備した。 その他、市役所庁舎において、男子トイレにサンタリーボックスを設置したほか、バリアフリートイレに被介護者のプライバシー確保のためのカーテンの設置などを行った。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	すべての方が利用しやすい公共施設となる整備を行うための設計を行った。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	市民の意見・要望を踏まえ、すべての方が利用しやすいよう市内の公共施設の整備を引き続き推進する。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	朝霞市公共施設等マネジメント実施計画に基づき、施設の長寿命化改修、大規模改修工事等を行う際に、併せてユニバーサルデザインの深化、バリアフリー化推進を図る。 令和5年度は朝霞第六小学校校舎増築工事や朝霞第九小学校校舎増築工事、武道館耐震改修工事設計業務委託、仲町市民センター大規模改修工事設計業務委託においてエレベーターの設置やその他、ユニバーサルデザイン・バリアフリー化について工事および設計を行う予定。 その他、朝霞第二中学校の体育館に空調設備を整備する予定。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	116	部名	都市建設部	課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり				
事業名	都市計画道路整備事業				
事業概要	交通を適切に処理して円滑な交通を確保するとともに、歩車道の分離や自転車通行帯の整備などを図り、歩行者や自転車の安全性の確保を目指す。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅東通線及び岡通線事業用地において除草委託を実施した。 ・岡通線事業用地においては、木柵設置工事を実施するとともに、仮歩道を確保するほか、新たに事業用地を1件契約した。 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・駅東通線及び岡通線の事業用地については、除草委託により適切な維持管理ができた。 ・岡通線事業用地については、仮歩道を確保することで、歩行者の安全が向上した。また新たに事業用地を1件契約したことで事業推進が図られた。 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅東通線及び岡通線については、引き続き用地取得に向けた交渉を進めていく。 				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	117	部名	都市建設部	課名	
記入者					
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり				
事業名	市道整備・道路管理の充実				
事業概要	主要市道に歩道を整備し、歩行者等の安全を確保する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	<p>歩行者等の安全を確保するため、用地の協力が得られた箇所について歩道整備を行った。</p> <p>市道3号線歩道築造工事他3件</p> <p>歩道が必要であった市道の整備を行うことで市民の安全を確保し、目標としている工事延長が概ね達成できた。</p>				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	令和4年度 活動指標 歩道整備延長 目標 L=220m 実績 L=202.9m 成果指標 歩道整備率 目標 100% 実績 92%		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	歩道等整備のための用地交渉にあたり、厳しい財政状況の影響や関係地権者の理解と協力を得られないこともあり、一気に進捗しない難しさがある。				
令和5年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	118	部名	学校教育部	課名	
記入者					
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり				
事業名	学校施設に対する教室等の空気検査				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・教室等の空気検査を小中学校5校で実施（全15校を5校毎にローテーション実施） ・ダニの検査を小中学校15校で実施 				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校5校の教室等のホルムアルデヒド及びトルエン含有量の分析を実施 ・各小中学校の保健室等の寝具等のダニ検査を実施 				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	教室等の空気検査及び保健室等のダニ検査を実施することにより児童生徒に対して良好な学校環境の維持が図られた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	今後も継続して検査を実施することにより良好な学校環境を整備する。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	「現行事業の継続」				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	119	部名	子ども・健康部	課名	
記入者					
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-1 教育・保育の充実のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ①保育所、地域型保育給付施設の整備				
事業名	保育事業				
事業概要	仕事や疾病などで、家庭において子どもを保育できない場合に、保護者に代わって保育園や小規模保育事業での保育を行う。また、待機児童解消のため、適切な定員設定や保育施設の整備を進める。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	適切な定員設定として、令和4年4月入所に引き続き、令和5年4月入所の定員について公設保育園の0歳児受入人数を減少して設定(受入減により翌年度1歳児としての受入増に繋がる内容)。 また、待機児童解消に向けて、保育所2施設の整備を行った。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度)	A	事業の実施により得られた成果	受入定員 4,090人(令和5年4月1日) 保育園 3,492人 認定こども園 149人 小規模 442人 事業所内 7人 入所児童 3,785人(令和5年4月1日時点) 保育園 3,224人 認定こども園 146人 小規模 409人 事業所内 6人 待機児童 9人(R5年4月)、21人(R4年4月)、43人(R3年4月)、		
自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない					
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	保育園を希望する家庭が増加する中、待機児童の解消に至っていない。				
令和5年度以降の具体的取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続に加え、待機児童の発生要因を分析し、各年齢による定員配分の見直しを行うなど、待機児童の解消に向けた取組を行う。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	120	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-1 教育・保育の充実のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ①保育所、地域型保育給付施設の整備				
事業名	認可外保育施設等利用補助事業				
事業概要	認可外保育施設を利用する保護者に対し、補助金を交付する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	認可外保育施設に通う児童の保護者が、幼児教育・保育の無償化を受けることができる者であることを確認し、認定した。 保育料の無償化分の請求(上限37,000円/月または上限42,000円/月)に対しては、提出書類を審査し、遅滞なく給付した。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	対象施設数 13施設 対象者数 29人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変 わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ 記載)					
推進に関する課題	幼児教育・保育の無償化に伴い、対象となる人がサービスを利用するためには、利用開始日前に認定を受ける必要がある。また、原則、無償化分の支払いについては、償還払いであることから、時効が2年であることを改めて周知し、保護者の請求漏れがないように取り組む必要がある。				
令和5年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定して いるか)	認可外保育施設は、国が定める「認可外保育施設指導監督基準」を満たす必要があるが、現在、経過措置として5年間の猶予期間が設けられている。この猶予期間は、令和6年9月30日までであることから、令和6年10月1日以降に、当該基準を満たしていない施設は、無償化の対象とはならない(朝霞市は猶予期間を設けていないが、他市では事例あり)。認可外保育施設を利用している(利用を考えている)保護者に対しては、施設に無償化の対象であることを確認した上で、入園するよう周知を進めていく。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	121	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-1 教育・保育の充実のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ①保育所、地域型保育給付施設の整備				
事業名	家庭保育室補助事業				
事業概要	認可外保育施設で市と指定契約を結んだ施設（家庭保育室）に対する運営費補助を行う。また、保護者に対して、保育料軽減費補助を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	認可外保育施設で市と指定契約を結んだ施設(家庭保育室)に運営費補助金を交付するとともに、家庭保育室を利用した保護者に対して、保育料を補助した。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	家庭保育室 市内1か所 市外3か所 合計4か所 年間延べ利用者数(令和4年度) 0歳児 75人(うち市外施設利用21人) 1歳児 68人(うち市外施設利用33人) 2歳児 43人(うち市外施設利用23人) 合計 186人(うち市外施設利用77人)		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	認可保育園等との保育料格差が課題				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	認可保育園の定員数増加により、家庭保育室の利用者は減少しているが、家庭保育室の需要が一定数あることから、現行事業を継続していく。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	122	部名	こども・健康部	課名		記入者	
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち						
基本方針	基本方針3-1 教育・保育の充実のために						
施策の方向性	施策の方向性(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ②幼稚園の利用促進						
事業名	幼稚園事業						
事業概要	県等の認可を受けている私立幼稚園（私学助成）に就園する園児の施設利用費を補助するほか、保育の必要性の認定を受けた保護者に預かり保育補助金を交付する。また、低所得者等に副食費を補助する。						
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	満3～5歳児クラスの児童(市民)が在籍する幼稚園に対し、1人当たり月額25,700円を上限に入園料及び利用料を補助した。 保育の必要性の認定を受けた保護者に預かり保育補助金を交付した。 低所得者等に副食費(おかず代)を補助した。						
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	私立幼稚園(私学助成)数 31園 私立幼稚園(私学助成)在籍者数 1,853人 預かり保育補助金対象者数 454人 副食費補助金申請者数 63人 対象者が在籍する私立幼稚園に対し、月額25,700円を上限に入園料及び利用料を遅滞なく交付できた。また、預かり保育補助金及び副食費補助金の申請があった際には、提出書類を審査し、遅滞なく交付できた。				
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)							
推進に関する課題	幼児教育・保育の無償化に伴い、対象となる人がサービスを利用するためには、利用開始日前に認定を受ける必要があるが、保護者の中には、サービスの利用を開始してから申請書を提出する人もいることから、幼稚園との連携を図る。また、原則、預かり保育及び副食費の各補助金の支払いについては、償還払いであることから、時効が2年であることを改めて周知し、保護者の請求漏れがないように取り組む必要がある。						
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	共働き世帯の増加などで、保育園を希望する世帯が増え、幼稚園利用者が減少傾向にある。市内幼稚園8園すべてにおいて預かり保育を実施し、働きながら幼稚園に通うことができる環境を整えていることから、幼稚園の利用を積極的に進めていきたいと考えている。						
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント					

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	123	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-1 教育・保育の充実のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)放課後児童クラブの充実				
事業名	放課後児童クラブ事業				
事業概要	仕事や疾病等で放課後に児童を保育できない場合に、保護者に代わって、児童を放課後児童クラブで保育する。また、入所保留児童解消のために、民間事業者によるクラブの整備を進める。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	公設クラブへの入所を希望する保護者を選考し、入所/保留を決定した。 公設クラブ10か所を社会福祉協議会を指定管理者として指定するとともに、民間クラブ21か所に運営費補助金を交付した。 令和5年度4月の民間1クラブの開所に向けて準備を進めた。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	放課後児童クラブ数 21か所(公設10か所、民間11か所) 入所者数 1,778人(令和5年4月入所) 1,765人(令和4年4月入所) 1,657人(令和3年4月入所) 入所保留者数 64人(令和5年4月入所) 69人(令和4年4月入所) 69人(令和3年3月入所)		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)			入所保留者数は減少しているものの解消できていないため。		
推進に関する課題	学区によっては空き枠があるなど、需要にばらつきがある。需要が高い学区には民間クラブの設置を進めているほか、マンション開発によって、今後、需要が高まることを見込む学区もあるなど、入所保留児童の解消には至っていない。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	マンション開発中のエリアなどにおける保育の需要を学区ごとに分析し、必要に応じて民間クラブの新規開所計画を立てる。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	124	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)多様なニーズにこたえる子育て支援の充実				
事業名	子育て短期支援事業(ショートステイ事業)				
事業概要	保護者の疾病や仕事等により、子どもを養育することが困難になった場合に、一時的に市内の里親宅でその子どもの預かりを行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	保護者からの相談を受けて子どもの状況に合った里親を選定し、里親宅で一定期間養育を行った。 地区里親会の総会や、所沢児童相談所の里親認定調査に同行するなどして、里親に事業への協力を依頼し、9世帯の里親と委託契約を締結した。 委託契約を締結した9世帯のうち、6世帯に事業を委託した。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和4年度実績 委託里親6世帯 ショートステイ委託日数95日、委託児童数延べ36人 相談業務を通じて、事業の利用が必要と考えられる世帯に対して事業を案内をするなど、支援につながることができた。 委託里親数の増加により、急な利用希望にも対応できる体制を整えた。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	ショートステイ事業の市民への周知。 委託里親の確保。 里親制度の広報。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業を継続。 相談業務を通じ、ショートステイ事業を周知。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	125	部名	子ども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)多様なニーズにこたえる子育て支援の充実				
事業名	ファミリー・サポート・センター事業				
事業概要	子どもを預けたい人からの依頼に対し、アドバイザーが子どもを預かる人を斡旋する。 子どもを預けたい人、子どもを預かりたい人、両方をしたい人の会員登録するための説明会を開催し、受講が完了した人の会員登録の管理を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	入会説明会を3回、サポート会員養成講習会を2回、ステップアップ講習会を1回開催した。サポート会員の獲得に向け、自治会にも協力を依頼したほか、市広報紙に掲載するとともに市HPも適切に更新し、目に届くように工夫をした。 サポート会員養成講習会には、毎回10人を超える参加者があり、サポート会員数を増やすことができた。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	会員数(令和4年度末現在) 1,739人(令和3年度比44人増) (内訳) ファミリー会員 1,460人(令和3年度比37人増) サポート会員 192人(令和3年度比5人増) 両方会員 87人(令和3年度比2人増) 延べ活動回数 3,928回(令和5年5月12日把握分まで)		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	令和3年度と比較し、サポート会員を増やすことはできたが、子どもを預けたい人の要望に十分に対応するために、さらなるサポート会員の成り手を増やしていかなくてはならない。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	サポート会員を増やすために、サポート会員養成講習会を広く周知する。市HP・市広報紙・保育課SNSのほか、朝霞駅前の掲示板や市内商業施設への掲示も依頼する。 令和5年度は、朝霞市ファミリー・サポート・センターの発足20年であることから、会員の交流の場として記念事業の実施を企画・検討している。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	126	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)多様なニーズにこたえる子育て支援の充実				
事業名	延長保育事業(時間外保育事業)				
事業概要	保育園を利用する保護者の就労時間の長時間化や通勤範囲の広がり等に伴う、保育時間のニーズを把握し、延長保育の充実をすすめる。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	保育園の開所時間を午後7時まで時間延長(一部の園では午後8時まで)する。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	市内施設において延長保育を実施。 令和4年度施設数 71カ所 保育所 33カ所、認定こども園 2カ所、小規模保育25カ所、事業所内保育 1カ所		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	延長保育料の設定				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	127	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)多様なニーズにこたえる子育て支援の充実				
事業名	一時預かり事業				
事業概要	保護者の就労、病気、育児疲れ解消（リフレッシュ）等の理由により、家庭での保育が困難な小学校入学前の児童を一時的に保育する。また、指定家庭保育室で、保育所と同様に一時保育を実施している場合、保育料を補助する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	公設公営園2園、公設民営園1園、民設民営園1園の計4園で一時預かり事業を実施した。また、幼稚園型Ⅰを実施した2園に対し、補助金を交付した。低所得者(住民税非課税世帯)等に対し、保育料を軽減した。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	利用者数 東朝霞保育園(公設公営) R4年度:412人 R3年度:447人 さくら保育園(公設公営) R4年度:514人 R3年度:338人 仲町保育園(公設民営) R4年度:1,885人 R3年度:1,746人 朝霞どろんこ保育園(民設民営) R4年度:3人 R3年度:— ※朝霞どろんこ保育園は令和4年度から事業開始したものの、11月から3月まで事業休止		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)			令和3年度と比較し、利用者数は増えているものの、制度がわかりにくいといった指摘を受けることもあることから、利用者が使いやすい仕組みづくりを考える必要があるため。		
推進に関する課題	リフレッシュが必要な世帯が、気軽に一時保育を利用することができるように、制度の周知を進める必要がある。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	市HPのほか、保育課のSNSを活用して広く制度を周知し、利用したい人が利用できるようにする。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	128	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)多様なニーズにこたえる子育て支援の充実				
事業名	休日保育事業				
事業概要	休日に保護者の就労等で保育を必要とする児童を対象に、保育所において保育を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<p>年末年始(12月29日～1月3日)を除く日曜、祝日などに保育園において保育を実施した。</p> <p>実施保育園:仲町保育園</p> <p>休日等に保育を必要とする児童を対象に、保育所において保育を実施した。</p>				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	実施保育園 仲町保育園 対象児童 8か月～5歳 利用者数(延べ) 令和4年度:437人 令和3年度:283人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	利用者との連携を図り、必要な連絡、確認等に関して十分な対応が行えるよう、改めて周知を図っていく。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	129	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)多様なニーズにこたえる子育て支援の充実				
事業名	病児保育事業				
事業概要	児童が急な病気となり、保育所等が利用できず、また、保護者も就労などにより、保育ができない場合に、病院などに併設される専用の保育室で、看護師等が一時的に児童を保育する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	病児保育室たまご(運営主体:TMGあさか医療センター)にて病児保育を実施した。生活保護受給世帯等が病児保育を利用した場合に、利用料を補助した。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	病児保育室たまご 新規登録者数 R4年度:52人 R3年度:99人 R2年度:72人 利用者数 R4年度:43人 R3年度:59人、R2年度:21人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	児童の急な病気により保育所等が利用できない児童に対し、保育の提供はできたものの、事前の登録が必要であることを把握していない保護者がいたことから、制度の周知が不足していると考えたため。				
推進に関する課題	事前の登録が必要であることから、利用方法や利用条件の周知徹底を図る。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	市HPのほか、保育課のSNSを活用して広く制度を周知し、利用したい人が利用できるようにする。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	130	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-3 教育・保育の質を高めるために				
施策の方向性	施策の方向性(1)教育・保育に携わる人材の確保・資質向上				
事業名	保育士研修事業				
事業概要	県や関係機関等の主催する各種研修会等への保育士の派遣や、内部での研修会などを開催し、職員等の資質の向上を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	県や関係機関等の主催する各種研修会等に保育士を派遣。保育園等の職員を対象とした保育園職員研修会を実施。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	各種研修会等への保育士の派遣:143人 保育園職員研修会:計4回開催、477人		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)			各種研修会等への参加を通じて、職員等の資質の向上に繋げることができた。		
推進に関する課題	令和4年度、保育園職員研修は新型コロナウイルスの感染対策と施設の規模から公立保育園の職員のみで開催とし、民間保育所への研修の案内を行うことができなかった。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。 令和5年度は新型コロナウイルスの感染状況を考慮しつつ、民間保育所にも研修の案内を行う。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート

事業番号	131	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-3 教育・保育の質を高めるために				
施策の方向性	施策の方向性(1)教育・保育に携わる人材の確保・資質向上				
事業名	保育士等人材確保事業				
事業概要	市内の認可保育園や小規模保育施設における保育士等の不足解消及び放課後児童クラブ指導員を確保するため、就職を希望する方(学生・転職・再就職)を対象として、合同の保育園職員・放課後児童クラブ指導員就職相談会を実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	市内の保育園等の魅力や保育理念並びに運営などを知っていただくため、合同の就職相談会を実施する。				
施策の進捗状況と成果 (令和2年度末) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、11法人が参加し就職相談会を実施することができた。 参加者数:24名(令和4年度)		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)			ハローワーク朝霞や埼玉県雇用対策協議会との連携や、産業振興課主催の「就職支援セミナー」を同時開催などを行い、就職相談会を開催した。すべての法人ブースで相談が行われ、職員の採用に繋げることができた。		
推進に関する課題	学生の就職活動に合わせた周知方法の変更。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。 また、これまでの周知方法に加え、公立保育園で学生の保育実習を受け入れている大学などでの周知を検討するほか、令和5年度より保育課で開設したツイッターによる周知を行う。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	132	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-3 教育・保育の質を高めるために				
施策の方向性	施策の方向性(1)教育・保育に携わる人材の確保・資質向上				
事業名	小学校と幼稚園・保育所の連携				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝霞市幼児教育振興協議会」を中心とし、保育園見学、小学校生活科の授業公開、小学校教員と保育園・幼稚園・こども園の職員との情報交換会等を行い、保幼小の連携を図る。 				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	①令和4年度朝霞市幼児教育振興協議会に係る幼・保・小合同研修会および保育園見学会 令和4年11月25日・11月30日・12月12日 市内幼稚園3園公開 ②「令和5年度小学校入学に係る保幼小連絡会」朝霞市民会館にて開催。小学校教員と保育園・幼稚園・こども園の計144名の職員との情報交換会を実施。令和5年1月31日 ③ 生活科授業参観・合同研修会 2月2日 (朝霞二小)				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育と小学校教育に携わる教員・職員間で、情報共有を図り、指導に生かすことができた。 ・新型コロナウイルスの感染拡大対策を講じ、「令和5年度入学に係る保幼小連絡会」を開催し、新就学時に関する情報共有を図ることができた。 		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	<ul style="list-style-type: none"> ・「令和5年度朝霞市幼児教育振興協議会に係る生活科授業参観・合同研修会及び生活科主任研修会」は継続。会場は朝霞第三小学校。 ・「令和6年度小学校入学に係る保幼小連絡会」令和6年1月下旬に開催予定。 ・「保育園見学」(小学校教員対象)を2学期(10～12月)に実施の方向で準備中。 				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

子ども・子育て支援事業計画 支援事業 評価シート

評価者氏名 _____

子ども・子育て支援事業計画（支援事業）評価シートは、15の事業計画について、全ての委員に評価（A・B・C・D）と理由を記載いただくものです。（令和4年度実績）

事業番号	評 価	理 由
5		
6 - (1)		
6 - (2)		
6 - (3)		
6 - (4)		
6 - (5)		
6 - (6)		
6 - (7) ①		

提出物1：必須

事業番号	評価	理由
6-(7) ②		
6-(8)		
6-(9)		
6-(10)		
6-(11)		
6-(12)		
6-(13)		

※全員提出となります。

10月27日（金）までに、こども未来課へ御提出ください。

こども未来課 宛

氏名 _____

質問票

事業（複数回答可、質問する事業番号に○をつけてください）

【支援事業】

- 5 幼児期の学校教育・保育の提供
- 6-(1) 延長保育事業（時間外保育事業）
- 6-(2) 放課後児童クラブ
- 6-(3) 子育て短期支援事業（ショートステイ事業）
- 6-(4) 乳児家庭全戸訪問事業
- 6-(5) 養育支援訪問事業及び要保護児童支援事業
- 6-(6) 地域子育て支援拠点事業
- 6-(7)-① 一時預かり事業（幼稚園）
- 6-(7)-② 一時預かり事業（保育園等）
- 6-(8) 病児保育事業
- 6-(9) ファミリー・サポート・センター事業
- 6-(10) 妊婦健康診査
- 6-(11) 利用者支援事業
- 6-(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業
- 6-(13) 多様な事業者の参入促進・能力活用事業

【関連事業】

- ・ (_____ 事業番号・事業名をご記入ください)
- ・ (_____ 事業番号・事業名をご記入ください)
- ・ (_____ 事業番号・事業名をご記入ください)



事業番号 (○をつけた事業)	上記事業の質問内容（質問内容を御記入ください）	インタビュー 希望
		有 ・ 無
		有 ・ 無
		有 ・ 無
		有 ・ 無
		有 ・ 無

○各事業についての詳細や疑問等、質問がありましたら、**9月15日（金）まで**にこの質問票を御持参いただくか返信用封筒で郵送してください。事業担当課に確認し、回答の御連絡をします。

※各事業について担当課に質問等がある場合のみご提出ください。

子ども・子育て支援事業計画 関連事業 評価コメントシート

評価者氏名 _____

この子ども・子育て支援事業計画評価コメントシートは、事業担当課と評価は同じですが、意見やコメントを残したい場合に、事業番号とコメント等を記載いただくものです。
※特にコメント等がない場合は、提出不要です。

事業番号	コメント

提出物 3 : 任意

事業番号	コメント

※特にコメント等がない場合は、提出不要です。

提出物4：任意

事業番号	評 価	理 由

※事業担当課と異なる評価をしない場合は、提出不要です。

会議の進め方について

「朝霞市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について」

今回の第2回子ども・子育て会議では、昨年に引き続き、第2期朝霞市子ども・子育て支援事業計画に位置付ける、令和4年度に市の担当課で実施した取り組みについて、委員の皆様にご審議（評価）をお願いするものです。

進め方といたしまして、資料2と資料3に示されている担当課による自己評価に対して、委員の皆様にご評価を行っていただき、評価の変更や御意見がある場合にはそれぞれの書類を提出していただきます。

御提出いただきました評価や意見をもとに、第4回会議で評価の取りまとめを行い、最終的には、第5回の会議で報告書案を事務局が提示し、委員の皆様にご確認を行っていただき、令和4年度事業の進捗に関する報告書を作成いたします。

評価の流れや評価方法等については、下記の内容を参考にさせていただき、資料1のフローチャートも参考にしてください。

（1）進捗状況に対する評価

朝霞市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理については、朝霞市子ども・子育て会議条例の第3条（2）「子ども・子育て支援に関する施策の実施状況を調査審議すること。」と示されており、当会議の所掌事務になっております。（計画書（冊子）の100ページ参照）また、皆様からいただいた評価や御意見は、計画書97ページでお示ししているように「PDCAサイクル」に基づき、各事業に反映させてまいります。

（2）朝霞市子ども・子育て支援事業計画について

本市の第2期朝霞市子ども・子育て支援事業計画の計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間となっております。このたび、本計画に基づき市の担当課で実施した、令和4年度における子ども・子育てに関連する事業の実施状況に係る自己評価結果を事務局で取りまとめましたので、今後、委員の皆様にご委員評価・検証をお願いするものです。

本計画は、2つの計画から構成されており、一つは、子ども・子育て制度を推進するための15の目標から構成する「子ども・子育て支援事業計画」であり、その説明は計画書79ページ以降の第5章にお示ししております。

もう一つは、「次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画」として、市の担当課が行う子ども・子育てに関連する事業、132事業から構成する「次世代育成支援行動計画」であり、その説明は計画書49ページ以降の第4章にお示ししております。

(3) 評価方法について

資料1・・・進捗管理のフローチャートです。太枠の項目について、今後、委員の皆様
様に実施していただきたい内容となっております。

まず、A「令和4年度各事業に対する事業課の自己評価」ですが、こちらは担当課で自己評価を行ったものが資料2及び資料3となっております。

資料2・・・**資料2は評価が必須です。**子ども・子育て支援事業計画支援事業の進捗状況の一覧です。資料2-1は、第2期計画期間の令和4年度についての担当課の自己評価を一覧にしております。資料2-2は事業計画の実績と担当課の自己評価を掲載しております。

資料3・・・**資料3は評価が任意です。**子ども・子育て支援事業計画関連事業の進捗状況の一覧です。資料3-1は、第2期計画期間の令和4年度についての担当課の自己評価を一覧にしております。資料3-2は関連事業の実績と担当課の自己評価を掲載しております。

(4) 今後の流れ（資料1をご覧ください。）

第2回の会議は、B「令和5年度第2回子ども・子育て会議進捗管理シートの説明等」にあたります。各事業内容や自己評価を御確認いただき、**全委員の皆様**に、**支援事業評価シート（提出物1）を10月27日（金）までに御提出**いただきます。

C「インタビュー（希望者）」につきましても、委員評価を行う際の参考として、事業課にインタビューを希望される委員のみに実施させていただきます。資料を御確認いただいた中で、さらに詳しくお聞きになりたい場合や疑問点があった場合、「質問票」（提出物2）にインタビューを希望される内容を記したものを、御持参いただくか返信用封筒で郵送して**9月15日（金）までにこども未来課に御提出**ください。

インタビューは10月上旬で調整させていただきますが、調整がつかない場合もございますので、その場合は質問内容をお伺いし、事務局から担当課に質問後、回答させていただきます。また、インタビューの希望はなくても、御質問がございましたら「質問票」（提出物2）をこども未来課へ御提出いただければ、担当課に問い合わせて回答いたします。

D「子ども・子育て支援事業計画支援事業評価」は、提出物1を御覧ください。資料2の15の事業計画について、すべての委員に評価をお願いするものでございます。皆様の評価とその評価をされた理由を御記入いただきますようお願いいたします。

E「子ども・子育て支援事業計画関連事業評価」は、資料3の132事業について評価をお願いするものでございます。こちらの評価には、『提出物3』、『提出物4』を御使用ください。

まず、『提出物3』は「評価コメントシート」となっており、担当課の**自己評価と同じ評価とするが、意見やコメントがある場合**に御記入いただくシートとなっております。事業番号とそのコメントを御記入ください。

次に、『提出物4』は「評価検討シート」となっており、担当課の**自己評価と御自身の評価が異なる場合**に御記入いただくシートとなっております。事業番号と委員の評価と評価が異なる理由を御記入ください。

なお、『提出物3』、『提出物4』の提出は**任意**となりますので、特に御意見等がない場合は提出不要となります。

(5) その他

資料2につきましては、全委員の評価が必要となりますので、『提出物1』は**必ず御提出**いただきますようお願いいたします。**令和5年10月27日(金)必着**(同封の返信用封筒を御使用ください。)

メールで回答を希望される委員は、様式をお送りしますので、

kodomo_mirai@city.asaka.lg.jp に御連絡ください。

資料の説明について**1 資料 1～3 について****資料 1 朝霞市子ども・子育て支援事業計画評価フローチャート**（議題 1 関連）

本会議において、委員の皆様にご審議いただき第 2 期朝霞市子ども・子育て支援事業計画のうち、「第 5 章 次世代育成行動支援対策推進法の行動計画」及び「第 6 章 子ども・子育て支援事業計画」の各事業の進捗状況について、評価の流れや参照する資料、提出書類について流れを示したものとなります。評価を行っていただくに当たっては、このフローチャートを御参考にしてください。

資料 2-1 朝霞市子ども・子育て支援事業計画 支援事業 進捗状況一覧（議題 1 関連）

「第 6 章 子ども・子育て支援事業計画」でお示した地域子ども・子育て支援事業 15 事業の進捗状況について、令和 4 年度の担当課による評価結果一覧です。

資料 2-2 朝霞市子ども・子育て支援事業計画 支援事業 進捗管理シート（議題 1 関連）

「第 6 章 子ども・子育て支援事業計画」でお示した地域子ども・子育て支援事業 15 事業について、事業概要、市の現状、事業見込み、確保内容及び実績、施策の進捗状況、成果など事業の詳細を示した資料です。

資料 3-1 朝霞市子ども・子育て支援事業計画 関連事業 進捗状況一覧（議題 1 関連）

「第 5 章 次世代育成支援対策推進法の行動計画」でお示した関連事業 132 事業の進捗状況について、令和 4 年度の担当課による評価結果一覧です。

資料 3-2 朝霞市子ども・子育て支援事業計画 関連事業 進捗管理シート（議題 1 関連）

「第 5 章 次世代育成支援対策推進法の行動計画」でお示した関連事業 132 事業について、事業概要、施策の進捗状況と成果、進捗に関する課題など事業の詳細を示した資料です。

→ 続いて裏面へ（提出物について）

2 提出物について

提出物 1 支援事業 評価シート **【必ず提出】**

資料 2-1、資料 2-2 を御確認いただき、評価を御記入ください。

※ こちらの用紙を、**10月27日（金）（提出期限）**までに必ず提出してください。

提出物 2 質問票 **（質問が無ければ提出不要）**

次の資料について、評価するために質問がある場合は、9月15日（金）までに御持参いただくか、返信用封筒で郵送して御提出ください。各事業の担当課に確認した後、後日、回答いたします。

- ・朝霞市子ども・子育て支援事業計画 支援事業 進捗状況一覧（資料 2-1）
- ・朝霞市子ども・子育て支援事業計画 支援事業 進捗管理シート（資料 2-2）
- ・朝霞市子ども・子育て支援事業計画 関連事業 進捗状況一覧（資料 3-1）
- ・朝霞市子ども・子育て支援事業計画 関連事業 進捗管理シート（資料 3-2）

提出物 3 関連事業 評価コメントシート **（提出は任意）**

資料 3-1、資料 3-2 を御確認いただき、令和 4 年度の担当課の評価と同じ評価とするが、何か意見やコメントがある場合には、事業番号とその意見内容をシートに御記入ください。

※ 特に意見等がなければ提出は不要です。意見等があれば、**10月27日（金）（提出期限）**までに提出してください。

※ 担当課による評価と御自身の評価が異なるときは、次の「関連事業 評価検討シート」をお使いください。

提出物 4 関連事業 評価検討シート **（提出は任意）**

資料 3-1、資料 3-2 を御確認いただき、令和 4 年度の担当課の評価と御自身の評価が異なる場合は、事業番号と御自身の評価、担当課の自己評価と異なる評価をした理由を御記入ください。

※ 担当課と同じ評価の場合は、提出不要です。

評価が異なる場合は、**10月27日（金）（提出期限）**までに提出してください。

令和5年度第1回子ども・子育て支援事業計画部会 実施報告

令和5年7月20日（木）14時～15時30分
朝霞市民会館（ゆめぱれす） 301会議室

【議題】

1 自己紹介

グループ討議の際に自己紹介をするため省略

2 部会長選出

委員からの推薦により、嶋崎会長を部会長に選出

3-(1) 計画策定部会の狙いと流れ

事務局より、朝霞市におけるこれまでの計画策定状況、計画策定支援業務委託事業者の選定、アンケート及びヒアリング調査等について説明

-(2) 子ども・子育て支援事業計画に関する国や県の動向

事務局より、こども大綱の策定に向けて国で行われている有識者会議等でのポイント、「子どもの貧困対策」、「子供・若者対策」、「少子化対策」について第2期計画においても位置付けられている事業について説明

4-(1) 朝霞市の現状把握（グループ討議）

下記のグループに分かれて、討議を実施

第1G 子ども貧困対策（ヤングケアラー含む）

第2G 子供・若者対策（青少年健全育成含む）

第3G 少子化対策（伴走型支援と児童相談含む）

第1G	第2G	第3G
希望委員がいなかったため実施せず	嶋崎部会長、川合委員、神部委員、こども未来課（高橋課長、石田補佐、永山係長、榎本主事）	岡部委員、本田委員、安孫子委員、吉村委員、鶴田委員、保育課（玄順次長、三浦係長）、健康づくり課（鈴木課長、萩原係長）、こども未来課（高橋係長）
	【計7名】	【計10名】

4-(2) グループ討議のふり返し

★各グループの討議内容（まとめ）★

第2G 子供・若者対策（青少年健全育成含む）

①第2期計画策定から現在までの課題として

・児童館は遊びの場として機能をしており、利用者はボール遊びを目的で来ている子が多い。しかし、ちょうどコロナの時期であったことから、ボール遊びを制限していたため来館者が減ったという現実がある。

②今後の課題として

- ・子どもの居場所というものは、子どもの成長過程で意味合いが変わるもの。
→ボール遊びの場所を含め、居場所をすぐに排除する傾向があるが、子ども達がほっこりできる場所が必要であり、どう作っていくのか、大人ができることを検討する必要がある。
- ・Z世代で多様性、ダイバーシティをどう進めていくのか、その中でSDG'sの視点を持って取り組むことは当然となってくるが、そこにZ世代を巻き込んでいくことで一早く取り組むことができ、市の独自性を持たせるカギになるのではないかと。そのためには、小さい時からそのような取り組みに関わらせることが必要ではないか。また、ほんちよう児童館で実施している若者世代の取組の成功事例から次々と展開していくことが重要。
→若者世代を上手く活用しながら、この仕組みを第3期計画につなげていく
- ・既存団体以外、例えば児童館やボランティア等の地域の力を借りて取り組むことができればよい。
→地域資源を活かしながら第3期計画につなげていく。
- ・こどもの意見をどう引き上げていくのか、意見表明していくのが課題。
→具体的な事実を積み上げながら、こどもの意見表明を取り入れたらよいのではないかと。

第3G 少子化対策（伴走型支援と児童相談含む）

①子育て支援の受け皿が足りない

- ・子育て支援のための支援の手が足りない
- ・自宅への訪問支援、アウトリーチ型の支援がない
- ・一番大変な時期、眠れない時期（生まれて間もない頃）の支援がない

②サービスがあっても利用がむずかしい

- ・ファミサポのマッチング
会員が1,700人、サポート会員が160人と、バランスが取れていない
多胎児や発達に課題のある子どもだと、支援してくれる人がいない
- ・幼稚園入園児の夏休み中の保育の確保が困難（共働き世帯）
- ・学童保育について、枠が少なく、学区によっては民間の学童もないため、選択肢が少ない
- ・市内住んでいる場所によって、市役所が遠く開庁時間に行けない、交通手段にも課題

③全般的な不安（安心して子育てができるかの不安）

- ・社会的な要因
男性の育休取得の問題、核家族化していることから子育て協力者の手が足りない
民間企業に浸透するように市役所から取得促進と情報発信を
- ・経済的なもの
こども医療の高校生までの対象拡大を
保護者の人生プランを立てるにもお金がかかる、子育てのための手当や給付金の充実を
- ・子どもの居場所の不足
学童は3年生頃から通う子が少なく、子どももつまらないとしていきたがらない
- ・緊急時に子どもを預けられる場所
親が倒れても預けるところが無く、つらくても休めない、倒れられない

④その他市民の声

- ・広報は見ないので、いくら広報に子育て支援に関して掲載しても情報が行き届かない
- ・メールも見ない
- ・デジタル化等によって目につく工夫をしてほしい
- ・支援者と顔の見える関係づくりがあれば安心できる、その工夫を

【こんなのがあったらいい】

- ・緊急サポートセンター（例：さいたま市、NPOとの連携）
- ・市の相談窓口にも、コンシェルジュ的な人がいればいい、コーディネーターの配置を
- ・第3子以降の子育てを経験した人の意見を聞く機会が欲しい、体験談を参考にしたい
- ・ラインを活用した子育て世帯向けのクーポン等配布すれば、皆登録して見るので、情報が届きやすくなるのではないかな
- ・0歳2か月までの支援が足りないから、ホームスタート事業（例：和光市）などがあると、子どもを預けられるし、自宅に来てくれるなど、実際的な支援が受けられる
- ・生まれる前から支援計画を立ててくれる仕組みがあれば、出産後の不安が解消されて安心して子育てできる、スムーズに子育てできるのではないかな
- ・市の支援策等について、知る機会が多ければ、市民に届けば、子どもを産むことの不安が少なくなり、安心につながるのではないかな

令和5年度第1回朝霞市子ども・子育て会議

令和5年7月6日（木）開催

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回朝霞市子ども・子育て会議		
開催日時	令和5年7月6日（木）午後2時から午後3時30分まで		
開催場所	朝霞市民会館（ゆめぱれす） 2階 201会議室		
出席者	<p>【委員 21人】 嶋崎会長、鈴木副会長、山谷委員、小林委員、新井委員、田島委員、菅原委員、坂本委員、金子（雅）委員、佐藤委員、川合委員、岡部委員、獅子倉委員、本田委員、宮永委員、安孫子委員、渡邊委員、金子（和）委員、喜多委員、吉村委員、鶴田委員</p> <p>【事務局 11人】 玄順こども・健康部次長兼保育課長 保 育 課：佐久間専門員、臼倉係長、三浦係長、常木係長 山守主査 こども未来課：高橋課長、永山係長、高橋係長、曾根田主任 榎本主事</p>		
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞市子ども・子育て会議委員委嘱 ・議題（1）会長及び副会長の選出について ・議題（2）こども基本法の概要について ・議題（3）子ども・子育て会議及び部会の運営について ・議題（4）第3期朝霞市・子ども・子育て支援事業計画の策定について ・議題（5）その他 		
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・朝霞市子ども・子育て会議 委員名簿 ・朝霞市子ども・子育て会議委員 部会名簿（案） ・資料1 朝霞市子ども・子育て会議条例 ・資料2 朝霞市子ども・子育て会議部会設置規程 ・資料3 こども基本法の概要について ・資料4 子ども・子育て会議と第3期子ども・子育て支援事業計画策定の流れ（案） ・すべてのこども・おとなに知ってほしい こども基本法とは？ ・待機児童数について ・第2期朝霞市子ども・子育て支援事業計画 		
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録		
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録		
	<input type="checkbox"/> 要点記録		
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）		
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去	
<input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月			
会議録の確認方法 会長及び副会長による確認			
その他の事項	傍聴人なし		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【高橋課長】

それでは、会議の進め方について説明いたします。

はじめに、会議の公開につきましては、「市政の情報提供及び審議会等の会議の公開に関する指針」により、本審議会は原則公開となっております。

また、傍聴人につきましては、傍聴要領を定め、記載された事項をお守りいただいた上で傍聴をしていただくこととなります。なお、守るべき事項に反する行為をされた場合には、退場していただくことがございます。

次に、会議録の作成におきましては、発言者名を明記させていただきますので、恐れ入りますが、発言の際には、御名前をおっしゃってから、御発言をお願いします。

また、会議録は、会議終了後に作成し、全委員に送付いたします。当日欠席された場合でも、会議録によって審議の内容を御確認いただけるようにし、やむを得ず欠席される際に、御意見等がある場合には、会議開催日の前日までに書面により御提出ください。会議の進め方については以上でございます。

それでは、会議の公開についてお諮りしたいと思います。

本日の審議会の開催につきましては、「市政の情報提供及び審議会等の会議の公開に関する指針」により、本審議会は原則公開となっております。

皆様、この会議は公開としてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし

【高橋課長】

特に御意見がなければ、本日の会議は公開といたします。

事務局に確認いたします。本日、傍聴人はいらっしゃいますか。

【榎本主事】

本日、現在のところ傍聴人はおりません。

【高橋課長】

傍聴希望人は、いらっしゃらないようですので、議題に移りたいと思います。

【高橋課長】

定刻となりましたので、ただいまから、令和5年度第1回朝霞市子ども・子育て会議を開催させていただきます。

本日はお忙しい中、令和5年度第1回朝霞市子ども・子育て会議に御出席いただき、ありがとうございます。

本日、進行を務めさせていただきます、こども未来課長の高橋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

これより、朝霞市子ども・子育て会議、委嘱状の交付を行います。

委嘱状の交付にあたりましては、時間の都合もございましたので、委員を代表いたしまして、獅子倉様にお受け取りいただきたいと存じます。

【玄順次長】

委嘱状、獅子倉 賢治 様、朝霞市子ども・子育て会議委員を委嘱します。任期は令和5年7月6日から令和7年3月31日までとします。令和5年7月6日、朝霞市長 富岡 勝則 よろしく願いいたします。

【高橋課長】

ありがとうございました。他の委員の皆様は、本日机の上に置かせていただいておりますので御確認をよろしくお願いいたします。

続きまして、玄順次長より御挨拶を申し上げます。

【玄順次長】

皆さんこんにちは。

子ども・健康部次長の玄順と申します。よろしくお願いいたします。

本来は、子ども・健康部長が出席し、挨拶するところでございますが所用により会議に出席できず、代理で挨拶することにつきましてお詫び申し上げます。

委員の皆様におかれましては、御多忙のところこのたび委員をお引き受けいただきまして誠にありがとうございます。

皆様も御存知のとおり、国では4月に子ども家庭庁が設置され、子ども基本法を策定するなど、こどもの政策を総合的また積極的に進めることが始まりました。

朝霞市におきましても、令和7年度を始期とする第3期朝霞市子ども・子育て支援事業計画を今年度と来年度の2カ年をかけて策定するにあたりまして、この子ども基本法の理念に沿った内容、また子どもが中心となった計画にするため、委員の皆様におかれましては、この会議において御意見を頂戴したり、御指摘をいただく形で進めさせていただきたいと考えておりますので、ぜひ忌憚のない御意見をいただきながら、この会議を進めていただければと考えております。

最後になりますけれども、再度御協力をお願いいたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

【高橋課長】

続きまして、今回は新たに委員任期が始まる初回の会議ですので、委員の皆様より自己紹介をお願いしたいと存じます。

事務局にてマイクをお回ししますので、名簿を御参照いただきながら、選出団体等と御名前をいただければと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

【各委員】

各委員自己紹介

【高橋課長】

なお、本日、幼稚園保護者 鈴木様、公募委員 神部様、連合埼玉朝霞・東入間地域協議会 藤田様、朝霞地区里親会 江川様、以上4名の方が所用により欠席と御連絡をいただいているところでございますので、御報告させていただきます。

続きまして、事務局職員の紹介をさせていただきたいと存じます。

こども・健康部次長兼保育課長の玄順でございます。

保育課専門員佐久間でございます。

保育課保育総務係長臼倉でございます。

保育課保育支援係長三浦でございます。

保育課保育係長常木でございます。

保育課保育係主査山守でございます。

こども未来課こども未来係長永山でございます。

こども未来課こども相談係長高橋でございます。

こども未来課こども未来係曾根田でございます。

こども未来課こども未来係榎本でございます。

最後に私は本日の司会を務めさせていただいております、こども未来課長の高橋でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

この会議は、子ども・子育て支援法第72条第1項の規定に基づき設置されたもので、朝霞市子ども・子育て会議条例により、その組織や運営等について定めております。

朝霞市子ども・子育て会議条例第7条第2項の規定によりまして、会議については、「委員の過半数の出席しなければ、会議を開くことができない。」とされております。

本日の出席委員は21名ですので、会議の成立要件である、委員の定数25名の過半数の13名を満たしておりますので、会議は成立していることを御報告いたします。

次に、資料の確認をさせていただきます。

初めに大変申し訳ございません。事前にお配りするというところで、通知をしていたところですが、一部委員の方につきまして、まだ御手元に届いていないような状況があったことをお詫び申し上げます。本日、受付で会議資料をお渡しさせていただいた部分もでございます。

会議の資料について

- ・ 本日の会議次第
- ・ 朝霞市子ども・子育て会議 委員名簿
- ・ 朝霞市子ども・子育て会議委員 部会名簿 (案)
- ・ 資料1 朝霞市子ども・子育て会議条例
- ・ 資料2 朝霞市子ども・子育て会議部会設置規程
- ・ 資料3 こども基本法の概要について
- ・ 資料4 子ども・子育て会議と第3期子ども・子育て支援事業計画策定の流れ (案)
- ・ すべてのこども・おとなに知ってほしい こども基本法とは？
- ・ 第2期朝霞市子ども・子育て支援事業計画については、新委員の方のみにお配りしております。継続して委員をしていただいている方については、御手元にあるかと思ひます。

また、本日お配りした資料といたしまして、待機児童数について、A4、1枚のものが1つでございます。資料は以上でございます。皆様、御手元にございますか。資料に不足がある方は挙手をお願いします。大丈夫でしょうか。

続きまして、本日の会議は、新たに委員を委嘱させていただきました、最初の会議ですので、会長及び副会長が決まっておりません。

朝霞市子ども・子育て会議条例第5条第1項に「子ども・子育て会議に、会長及び副会長を1人置き、委員の互選によってこれを定める。」とございますので、ただいまから、当会議の会長、副会長の選出を行いたいと思います。

なお、会長、副会長が決まるまでの間、こども・健康部次長の玄順が議事を進行させていただきたいと存じます。それでは玄順次長よろしく願いいたします。

【玄順次長】

それでは、会長、副会長が選出されるまでの間、私が仮議長を務めさせていただきますのでよろしく願いいたします。

では、議題（1）会長及び副会長の選出について

朝霞市子ども・子育て会議条例第5条第1項に委員の互選によって定めるとの規定がございます。

会長、副会長につきまして、自薦、他薦を問いませんので、どなたか御意見がある方はいらっしゃいますでしょうか。

【渡邊委員】

昨年度から継続して委員をされている、東洋大学の嶋崎委員に会長をお願いできればありがたいと思いますので、よろしく願いします。

【玄順次長】

ただ今、渡邊委員から東洋大学の嶋崎委員を会長にとの御意見がありますが、皆様いかがでしょうか。

【各委員】

異議なし

【玄順次長】

嶋崎委員、お引き受けいただけますでしょうか。

【嶋崎委員】

よろしく願いいたします。

【玄順次長】

それでは、皆様の御賛同をいただきましたので、東洋大学の嶋崎様に会長をお引き受けいただきたいと存じます。これからの議事進行は嶋崎会長をお願いしたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

ここで私は仮議長を降ろさせていただきます。

【高橋課長】

ありがとうございました。

それでは、嶋崎会長、正面の席へ御移動をお願いいたします。

それではここで会長になられました嶋崎様より、御挨拶を頂戴いたしたいと存じます。よろしくをお願いいたします。

【嶋崎会長】

嶋崎と申します。改めてよろしくお願い申し上げます。先ほど玄順次長からこども家庭庁の設置、こども基本法の策定のお話がありました。また、この秋、「こども大綱」が出るという話になっておりまして、それは少し遅れるという状況が出ておりますが、こども大綱に即して、各自治体がこどもの政策、計画を立てるということになっております。この2年間は、皆様と第3期の計画の策定が我々の主たるミッションになります。より良いものを作っていきたいと思っておりますので、様々な角度から御意見をいただきながら、計画を立案してまいりたいと思っております。どうぞ、協力よろしくお願い申し上げます。

【高橋課長】

ありがとうございました。

それでは、ここからの議事進行は、朝霞市子ども・子育て会議条例第7条の規定のとおり、会長をお願いしたいと存じます。よろしくをお願いいたします。

【嶋崎会長】

次に副会長につきまして、私から十文字学園女子大学の鈴木委員を推薦させていただきたいと思っておりますが、皆様いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、鈴木委員よろしくお願い申し上げます。

ここで、副会長をお願いしました、鈴木委員より一言御挨拶をお願いいたします。

【鈴木副会長】

皆様、改めましてよろしくお願い申し上げます。私はほとんど現場で動いていた人間になりますので、長く現場に居ながら子どもたちの生活を早く変えるには何ができるのかということでこの職に転職をいたしました。

実際に住んでいる方がこどものためであるとか、未来がある方々ですので、そこに繋がるものが出来上がるというところに参画できるところを一生懸命頑張っていこうと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【嶋崎会長】

ありがとうございました。

それでは、次の議題に入ってまいりたいと思っております。議題（2）こども基本法の概要について、事務局より説明をお願いいたします。

【永山係長】

それでは、議題（2）こども基本法の概要につきまして、こども未来課の永山から説明させ

ていただきます。

皆様に資料3 こども基本法の概要を配付しておりますけれども、本日はパワーポイントを使って説明いたしますので画面を御覧いただければと思います。

令和5年4月1日に「こども家庭庁」が発足しまして、同時に「こども基本法」が施行されております。ここで言う「こども」とは何歳までのことかを言いますと、こども基本法では、18歳や20歳といった年齢で必要なサポートが途切れないよう、心と体の発達過程にある人を「こども」としており、こどもや若者がそれぞれの状況に応じて社会で幸せに暮らしていけるよう支えていくこととしております。

こちらは「こども基本法の概要」について、目的や基本理念等を表にしたものとなっております。この中でポイントとなる箇所について、この後説明してまいります。

まず、こども基本法第1条にあります、こども基本法が作られた目的について説明いたします。

目的といたしましては、全てのこどもや若者が将来にわたって幸せな生活できる社会を実現するためとなっております。

これまでこどもに関する様々な政策の充実に取り組んできましたが、少子化の進行や人口減少に歯止めがかかっておりません。また、児童虐待相談や不登校の件数が過去最多になるなど、こどもを取り巻く状況は深刻となっております。

常にこどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取り組みや政策を社会の真ん中に据えて強力に進めていくことが急務となったことから、こども家庭庁の設置と相まって、従来、いろいろな法律に基づき、各機関において進められてきたこどもに関する様々な取り組みを講ずるにあたっての共通の基盤となるものとして、こども施策を社会全体で総合的かつ強力に実施していくための包括的な基本法として制定されました。

次に、第2条の定義について説明いたします。

ここでは、先ほど説明いたしました「こども」の定義についてと「こども施策」について書かれております。

「こども施策」とは、「こどもに関する施策」と「一体的に講ずべき施策」からなっております。

「こどもに関する施策」とは、こどもの健やかな成長や、結婚、妊娠、出産、子育てに対する支援を主たる目的とする施策を指すものと解されております。具体的な例が、下の表の第2条第2項の1、2、3に書かれております。

「一体的に講ずべき施策」とは、主たる目的はこどもの健やかな成長に対する支援等ではないが、こどもや子育て家庭に関する支援や「こどもに関する施策」と連続性を持って行われるべき若者に係る施策のことを指すものと解されております。このように「こどもの施策」には、こどもの健やかな成長に対する支援等を主たる目的とする施策に加え、教育施策、医療施策、雇用施策など幅広い施策が含まれます。

例えば教育施策として、国民全体の教育の振興などがございます。医療施策として、小児医療を含む医療の確保、提供などがございます。雇用施策として、雇用環境の整備、若者の社会参画支援、就労支援などがございます。

次に、第3条、基本理念について説明いたします。こちらには6つの基本理念が書かれております。

1号から4号におきましては、「児童の権利に関する条約」のいわゆる4原則、「差別の禁

止」、「生命、生存及び発達に対する権利」、「児童の意見の尊重」、「児童の最善の利益」の趣旨を踏まえ規定されています。

また、5号ではこどもの養育について、6号では子育てについて、それぞれ定められています。

それでは1つずつ説明してまいります。

1つ目は、すべてのこどもが大切にされ、基本的人権が守られ、差別されないこととなっており、日本国憲法の「基本的人権の保障」、「個人の尊重」、「法の下での平等」、さらには児童の権利に関する条約の「差別の禁止」の趣旨を踏まえて規定されています。

2つ目は、すべてのこどもは大事に育てられ、生活が守られ、愛され、保護される権利が守られ、平等に教育を受けられることとなっており、児童の権利に関する条約の「生命、生存及び発達に対する権利」の趣旨を踏まえて、こどもの成長を支えることを定めたものとなっております。

3つ目は、年齢や発達の程度により自分に直接関係することに意見を言えたり、社会の様々な活動に参加できることとなっており、児童の権利に関する条約の「児童の意見の尊重」の趣旨を踏まえ、こどもの意見を表明する機会と多様な社会的活動に参画する機会が確保されることを定めたものとなっております。

4つ目は、すべてのこどもは年齢や発達の程度に応じて、意見が尊重され、こどもの今とこれからにとって最も良いことが優先して考えられることとなっております。

5つ目は、子育ては家庭を基本としながら、そのサポートが十分に行われ、家庭で育つことが難しいこどもも、家庭と同様の環境が確保されることとなっており、児童の権利に関する条約の趣旨を踏まえ、子育てに対して社会全体として十分な支援を行うことを定めたものとなっております。また、家庭での養育が困難なこどもに対して、その健やかな成長のために同様の養育環境を確保することを定めたものとなっております。

6つ目は、家庭や子育てに夢を持ち、喜びを感じられる社会をつくることとなっており、子育てをする者、しようとする者が、家庭や子育てに夢を持ち、子育てに伴う喜びを実感できるよう、社会環境を整備することを示したものとなっております。

なお、この6つの理念ですけれども皆様にも初めお渡しした資料では、2番目の全てのこどもはの「は」が抜けていたのと、6番目の一番初めの「家庭」の部分が「子育て」ということになっておりまして誤りがございましたので、本日机上に置かせていただいた資料と差し替えをお願いできればと思います。

次に第9条では、「こども大綱」について書かれています。

「こども大綱」は、こども施策を総合的に推進するために、こども施策に関する基本的な方針、重要事項を定めるものとなっております。これまで別々に作られてきた、「少子化社会対策大綱」、「子供・若者育成支援推進大綱」、「子供の貧困対策に関する大綱」が束ねられ、こども大綱に一元化されることとなっております。

「こども大綱」により、従来3つの大綱が1つになることから、政府全体として、統一性のある大綱の下で、これまで以上に総合的かつ一体的にこども施策を進めていくこととなります。この「こども大綱」につきましては、先ほどお話にありましており、秋ごろに発表される予定となっておりますけれども、こども大綱をより充実した内容にするために、こども家庭審議会においてしっかり議論する必要があることから、「年内までに公表していく。」という変更になった旨の連絡が来ております。

次に第10条、都道府県こども計画、市町村こども計画について説明いたします。

都道府県は、国の大綱を勘案して、都道府県こども計画を作成するよう、また、市町村は国の大綱と都道府県こども計画を勘案して、市町村こども計画を作成するよう、それぞれ、努力義務が課せられております。

市町村こども計画は、既存の各法令に基づく以下の市町村計画と一体のものとして作成することができるとなっております。

まず、子ども・若者育成支援推進法第9条に規定する、市町村子ども・若者計画次に、子どもの貧困対策の推進に関する法律第9条に規定する、子どもの貧困対策計画また、その他の法令の規定により地方公共団体が作成する計画であって、こども政策に関する事項を定めるものの例として、子ども・子育て支援法に基づく子ども・子育て支援事業計画、次世代育成支援対策推進法に基づく次世代育成支援行動計画がございます。

本市の第2期朝霞市子ども・子育て支援事業計画では、子どもの貧困対策計画、子ども子育て支援事業計画、次世代育成支援行動計画を包含しております。

こども施策に関する事項を定める計画を一体として策定した場合に期待できることとしましては、区域内のこども施策に全体として統一的に横串を刺すこと、住民にとって一層わかりやすいものとする、事務負担の軽減を図ることなどがございます。

次に第11条、こども等の意見の反映について説明いたします。

こちらは、こども施策を策定、実施、評価するにあたり、施策の対象となるこどもや子育て当事者等の意見を幅広く聴取して反映させるために必要な措置を講ずることを定めております。

こどもの意見を反映させるために必要な措置については、当該施策の目的等によって様々であると考えられますが、想定される手法といたしましては、「こどもや若者を対象として、パブリックメントの実施」、「審議会、懇談会等の委員会等へのこどもや若者の参画の促進」、「こどもや若者にとって身近なSNSを活用した意見聴取など、こどもや若者から直接意見を聞く仕組みや場づくり」などがございます。

第3期朝霞市子ども・子育て支援事業計画を策定していくにあたりましては、こどもや若者の意見を聞き、それらの意見を反映した形で計画を策定してまいりたいと考えております。以上簡単ではございますが「こども基本法の概要」について、説明をさせていただきました。また、こども家庭庁が発行している「すべてのこども・おとなに知ってほしい こども基本法とは？」お配りしている冊子のQ&Aでわかりやすい内容となっておりますので、ぜひ御参考にしていただければと思います。

【嶋崎会長】

説明ありがとうございました。

こども基本法の概要について、事務局から説明をしていただきました。

委員の皆様から御質問等はありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

こどもの意見を取り入れるということが重要な課題になっておりますので、そのあたりも含めて今後議論できればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議題（3）子ども・子育て会議及び部会の運営について、事務局から説明をお願いしたいと思います。

【曾根田主任】

それでは、子ども・子育て会議及び部会の運営につきまして説明をいたします。

まず、子ども・子育て会議は、子ども・子育て支援法に基づき市の子ども・子育てに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的として、本市では平成27年度に設置されました。

この会議の事務については、子ども・子育て支援法第72条第1項に定められており、市の子ども・子育て支援に関する施策の総合的な計画である子ども・子育て支援事業計画の推進に関し、必要な事項や施策の実施状況を調査審議いただくとともに、保育園や放課後児童クラブなどの施設整備や運営に関する基準、利用者負担などの検討をお願いしており、委員の任期は2年となっております。

また、本市の子ども・子育て会議においては、委員の皆様がより活発な意見交換ができるよう、「朝霞市子ども・子育て会議部会設置規程」に基づき、3つの部会を設け、各部会で御審議いただいた事項を、全体会議において御意見をいただく形で運営してまいりたいと考えております。

では、部会の運営について、説明に移らせていただきます。

子ども・子育て会議には、保育園等運営検討部会、保育園等利用者負担検討部会、子ども・子育て支援事業計画部会の3つの部会がございます。

保育園等運営検討部会の所管事務として、特定教育・保育園設置及び特定地域型保育事業所並びに放課後児童クラブについての施設整備及び運営に関することや、認可外保育施設に関すること等について御審議いただきます。

保育園等利用者負担検討部会の所管事務として、保育園等の利用者負担の検討に関すること等について御審議いただきます。

子ども・子育て支援事業計画部会の所管事務として、子ども・子育て支援事業計画の策定について御審議いただきます。

【嶋崎会長】

ありがとうございました。

子ども・子育て会議及び部会の運営について、事務局から説明をいただきました。

朝霞市子ども・子育て会議委員 部会名簿（案）を御覧いただき、自身の名前も確認していただきたいと思っております。

委員の皆様から御質問等はありませんでしょうか。

【渡邊委員】

朝霞市子ども・子育て会議の部会について、具体的には、保育園等運営検討部会と保育園等利用者負担検討部会ということで、3分の2は保育園関係で、朝霞市の喫緊の状況があるということで、このような会議になっていると思いますが、こども基本法の中では、これがメインということではなく、子どもが産まれる前から20才までの方に対して、どのように考えていくかという社会的な認知を高めるための法律がこども基本法ですよね。どちらかという、今は親の負担の部分にウエイトがかかっている社会情勢があり、様々な支援が足りなくていろいろな問題が起きたのかなという感じがします。その辺の関係については、子ども・子育て支援事業計画部会で検討されると思いますが、保育園に入れる、入れないという話題とは対極の話で

すけれども、そのところがうまく合致しないところが子育ての難しいところだと思います。保育園入れる、入れないという物理的な話ではなく、社会的に認知される、子どもに対してどのようにしていくか、今回の方針の中でうまく提言できると良いと思います。

【嶋崎会長】

貴重な御意見をありがとうございます。

いただいた御意見もぜひ、計画に反映できるような状況を作っていきたいと思います。

この後、事務局から説明があるかと思いますが、資料4に令和5年度及び令和6年度の計画策定の流れを示したものがございます。

実働部隊として、子ども・子育て支援事業計画部会が計画されていて、具体的に進めていくという形になりますが、それを子ども・子育て会議に反映させるということになります。

保育園等運営検討部会や保育園等利用者負担検討会については、まだ空欄になっている部分がありますが「こども大綱」が発出され、保育の分野について具体的に掘り下げてというようなことになったときに保育園等運営検討部会から意見を出していただくというようなことの打診があるかも知れませんが、渡邊委員がおっしゃったことも踏まえながら、今後進めていければと思っております。このような形で子ども・子育て支援事業計画部会の委員も改めて確保していただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【本田委員】

事務局に質問ですけれども、保育園等運営検討部会、保育園等利用者負担検討部会、子ども・子育て支援事業計画部会、それぞれの部会でどんなことを話し合うのかということをもまず説明いただいてもいいですか。

【嶋崎会長】

事務局お願いします。

【永山係長】

各部会の行う内容でよろしかったでしょうか。

まず、保育園等運営検討部会としましては、特定教育保育施設、特定地域型保育事業所、放課後児童クラブ等の施設の整備であったり、運営に関する事、認可外の保育施設に関する内容を御審議いただきます。

保育園等利用者負担検討部会としましては、保育園等の利用者負担の検討に関する事となりますので、保育料や給食費に関する内容を御審議いただきます。

子ども・子育て支援事業部会計画部会としましては、第3期計画の策定に関する事を御審議いただきます。

【本田委員】

委員が重なって部会に入ることが難しいので、こういう割り振りとなったと思いますが、資料4の保育園等利用者負担検討部会の第1回で公営保育園の給食費についてという議題がもう書かれておりますが、保育園等利用者負担検討部会に公営保育園保護者の方が入ってらっしゃらないです。

御自身が負担するものについての議論に入れないということでもいいのかという疑問がありますが、事務局のお考えを伺いたいということ、公営保育園の保護者も御意見を言いたいと思いますが、御希望があれば何か御意見をいただければいいのかと思いますが、いかがでしょうか。

【嶋崎会長】

事務局、よろしいですか。

【高橋課長】

これから、部会名簿の（案）について、説明をするところでしたが、部会については朝霞市子ども・子育て会議部会設置規程によりまして、1つの部会で11人以内との規定がされている中で、まず、事務局が（案）として作成し、お示ししたところでございます。委員から御意見があった部分についてもできるだけ御希望に沿う形としたいので、後ほど事務局へ相談をお願いいたします。

【嶋崎会長】

よろしいでしょうか。ありがとうございます。

各部会におきましては、事務局で部会名簿を作成しております。部会名簿の案のとおりで決定させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

今回の任期は2年間につきましては、別紙の部会名簿のとおり部会を決定させていただきたいと存じます。

しかしながら、他の部会を希望されたいという場合がございますら、会議終了後事務局職員に相談をしていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

今後、部会が開催される場合には、積極的に出席いただいて、提案事項等の御審議をお願いしたいと思っておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。

それでは次に移りたいと思います。議題（4）第3期朝霞市子ども・子育て支援事業計画の策定について事務局から説明をお願いいたします。

【曾根田主任】

それでは第3期朝霞市子ども・子育て支援事業計画の策定について説明いたします。

「第3期朝霞市子ども・子育て支援事業計画の策定」に係る説明の前に、現行の第2期朝霞市子ども・子育て支援事業計画について簡単に触れさせていただきます。

朝霞市子ども・子育て会議が所管する計画としまして、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする、第2期朝霞市子ども・子育て支援計画を位置づけており、本計画は、子ども・子育て支援法第61条に基づいて策定するもので、本市の子ども・子育て支援施策について幅広く検討するものです。

御手元にごございます第2期計画書の43ページを御覧ください。

「このまちで 育ってよかった 育ててよかった 子育てのよろこびをわかちあえるまち 朝霞」を基本理念として、子どもの「育ち」を応援する姿勢をより強くし、子どもが「朝霞で育って良かった」と思い、保護者が「朝霞で育ててよかった」と実感し、地域の人たちが「子育てのよろこびをわかちあえるまち」を目指すこととしております。

次に46ページの施策の体系を御覧ください。

基本理念を実現させるための取り組みとして、基本目標1、2、3と、3つの基本目標を定めています。

この3つの基本目標の下に、それぞれ基本方針、施策の方向性を示しており、この施策展開に基づいた形で、市が行う様々な子ども・子育て事業を位置付けております。

基本方針、施策の方向性に関する事業として132の事業を位置付けております。

次に48ページを御覧いただきますと、子ども・子育て支援事業計画の主要事業として15事業を位置付けております。

続いて97ページを御覧ください。

本計画につきましては、朝霞市子ども・子育て会議条例第3条、所管事務において、子ども・子育てに関する施策の実施状況を調査審議することとの規定がございます。計画の推進、実現には、97ページの図のように、PDCAサイクルに基づき、実施状況などを点検、評価し、乖離がある場合には修正を行っていく必要があるため、このCheck、評価を皆様に行っていただくこととなります。

つきましては、次回、本会議におきまして、昨年度の関連事業の実施状況について年次報告をさせていただきます、委員の皆様から御意見を頂戴したいと存じます。

第3期朝霞市子ども・子育て支援事業計画の策定について、説明をさせていただきます。

朝霞市では、計画期間が令和7年3月で終了することを受けて、令和7年度から令和11年度の5年間の計画期間とする第3期朝霞市子ども・子育て支援事業計画の策定をすることといたしました。

ここで御手元の資料4を御覧ください。

先ほども説明がありましたが、表が令和5年度、裏に令和6年度とあるように、2カ年で策定をしてまいります。

表の左側から、子ども・子育て会議、子ども・子育て支援事業計画部会、保育園等運営検討部会、保育園等利用者負担検討部会と記載をしております。

まず、令和5年度ですが、表にあるように、本日7月6日、第1回子ども・子育て会議を開催しています。7月20日には、第1回子ども・子育て支援事業計画部会の開催が予定をされており、部会の進め方などを議題として、第3期計画策定に向けて始動する形です。

なお、7月20日の子ども・子育て支援事業計画策定部会の審議内容は8月31日の第2回本会議にて報告させていただきます。9月の第2回子ども・子育て支援事業計画策定部会にて、計画策定に係る各種のアンケートなどの(案)について、内容の検討を行い、12月の第3回本会議にて計画部会での検討内容を報告するとともに、内容を決定していただく予定であります。

このように、各部会で審議、検討された内容は、本会議へ報告し、本会議にて必要事項を決定する流れとなります。

また、第3期計画策定にあたっては、こども家庭庁から発出予定の「こども大綱」の内容を十分に踏まえる必要がありますが、令和5年秋ごろ発出予定とされていたスケジュールがこの度、令和5年冬ごろに変更となる旨の通知が国からあったことにより、資料4中の令和5年12月以降のスケジュールについては流動的なものとなると思われますので、開催時期や内容については分かり次第、委員の皆様にご度情報共有をさせていただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

令和5年度については年度末までに、令和5年12月の本会議で決定された内容のアンケート等を実施し、集計分析を行う予定であります。

裏面にありますように令和6年度については、5月以降にアンケート等の集計結果や国の「こども大綱」の内容を踏まえ、計画の方向性の検討、骨子案の検討、素案の検討を順次行っていき、パブリックコメント等を実施し、令和7年3月に第3期計画を完成させるスケジュールとなっております。

【嶋崎会長】

ありがとうございました。第3期計画の策定について説明をいただきました。

資料4を御覧いただきながら、御質問等がございましたらよろしくお願ひいたします。

【山谷委員】

子ども・子育て支援事業計画部会で議論されるとされているアンケート調査票の案などは子ども・子育て支援事業計画部会でしか検討されないのでしょうか。本会議では決定するだけとなり、何か意見を言う機会はないのかを教えてください。

【嶋崎会長】

事務局からお願いします。

【高橋課長】

計画策定に関することにつきましては、子ども・子育て支援事業計画策定部会で検討し、部会内で決定して、本会議に諮り、最終的には委員の皆様のお意見ということで決定をしていく予定でございます。

アンケートにつきましては、先ほど事務局職員から説明がありましたが、本来であれば「こども大綱」の発出が本年の秋ごろということでしたので、それを踏まえつつ年末のアンケートやヒアリングが間に合う想定をしていましたが、こども家庭庁から「こども大綱」の発出が少し遅れますとの情報だけしか来ていない状況があり、いつ来るか分からない状況で各自治体でも手を拱いていることがあり、その部分を外してアンケートを作成し、先々へ進めてしまうと聞かなくてはいけないことが漏れてしまうということもあるかと思っておりますので、「こども大綱」の発出以降のことは流動的となると先ほど事務局の職員からも説明がありましたが、必ず、部会で方向性を決定して本会議で委員の皆様から御承認をいただくという形で進めさせていただく予定でございます。

【嶋崎会長】

山谷委員よろしいですか。

【山谷委員】

本会議で意見を言う機会はあるのでしょうか。

【高橋課長】

そちらにつきましては、本会議開催の日程等にもよるかと思いますが、本会議でいただいた

御意見を反映できるような形で本会議の日程を調整させていただきたいと思います。

【嶋崎会長】

よろしいでしょうか。

資料4を御覧いただき、例えば12月の第3回子ども・子育て会議はアンケートの調査票案の確定となっていますけれども、子ども・子育て支援事業計画部会でたたき台を作って、それを本会議に出していくという応答性は必ず担保するということはお伝えしておきたいなと思っております。

他いかがでしょうか。

それでは、御意見、御質問がないようなので、次の議題に移りたいと思います。

議題（5）その他について、事務局から何かございますか。

【常木係長】

保育課の常木から1点御報告させていただきたいと思います。本日配付いたしました、待機児童数についてという資料を御覧ください。

令和5年4月における待機児童数についての御報告です。上段の表が令和5年度の状況となりまして、申請の総数が1,229件ございました。

入園選考の結果、2段目の合計227名が入所保留という形になりまして、国の待機児童の定義により精査しました結果、3段目の1歳児で8名、2歳児で1名の合計9名が令和5年度の待機児童数になりました。

昨年度が21名でしたので、昨年度よりも12名の減少しております。

また、埼玉県内の各自治体の待機児童数につきましては、7月12日に公表予定と聞いてございます。

【永山係長】

先ほどの議題（4）と説明が重複いたしますけれども、まず、第1回目子ども・子育て支援事業計画部会を7月20日木曜日午後2時からゆめばれす301会議室で開催予定となっております。また、第2回子ども・子育て会議につきましては8月31日木曜日午後2時からゆめばれす梅会議室となっております。開催通知、資料につきましては詳細が決まり次第送付させていただきますのでよろしくお願いいたします。

【嶋崎会長】

委員の皆様、日程確認よろしくお願いたします。

その他何か事務局からありますでしょうか。

ただいまの待機児童数の報告、次回の会議日程等について、委員の皆様から御質問等がありますか。大丈夫でしょうか。

【本田委員】

待機児童数についての資料ですけれども、定義が難しく、例えば1歳児も8名いるのに空き状況が4と書いてあったり、内容について分かるように説明していただいてもいいですか。

【常木係長】

待機児童数にですが、まず1段目の申請者数ですけども、年齢ごとの申請者数がございませう。これに対しまして入園の選考を行います。その結果、保留になった方々が保留者という欄でございませう。0歳児から67名、1歳児が116名、2歳児が34名、3歳児が9名、4歳児が1名、それから5歳児が0名、計227名が保留者でございませう。

この保留者の中には、育児休業の延長を御希望される方、特定の園を御希望される方などが含まれておりまして、国の定義に基づいてそれらの方々を除いた数字というのが待機児童数の3段目でございませう。令和5年度ですと、1歳児が8名と、2歳児が1名と、合計9名でございませう。

その他、一番下の空き状況ということですけども、こちらが4月1日現在で、保育園の空き状況でございませう。それぞれ0歳児から5歳児までの空き状況を示してございませう。

例えば、1歳児につきまして、待機児童がいるにも関わらず空きがあるという形ですけども、こちらは保育園の場所等で保護者様が御希望する場所に保育園がないというような状況で、こちらの保育園は空きがあるけども、需要が多いところには空きがないといったような状況で、待機児童がいるけれども空きもあるという状況でございませう。

【嶋崎会長】

本田委員、よろしいでしょうか。

【山谷委員】

先ほど、保留者から育児休業の延長を希望する方とその特定の園を希望する方を除いてということだったと思いますが、この8名の人は特定の園を御希望されていない方かと思いますが、空いている園には入れないでしょうか。

【常木係長】

例えば、地域によってだと思ひますが、朝霞駅周辺に住んでいる方が朝霞台方面に空きがあるといった場合は、御希望自体を出さないですとか、通園が難しい場合ということがありますのでそういった状況がこの8名ということにございませう。

【山谷委員】

227名から引いた、特定の園を希望するというのは完全にこの園というふうに決めている方ということですか。

【常木係長】

その特定の園を希望というの、例えばごく限られた園だけしか希望されていないという方であって、その地域で複数の園があるにも関わらず、ピンポイントの園しか希望されていないという方を特定の園だけを希望されている方という位置付けで除いているという形です。

【山谷委員】

分かりました。ありがとうございます。

【嶋崎会長】

はい。ありがとうございました。そのほかいかがでしょうか。

それでは、今御手元にある議題は全て終了しました最後に全体を通して御意見、御質問等がございますでしょうか。それでは、御質問がないようですので終了させていただきます。

議事は全て終わりましたが、最後に本会議の議事録等の手続きにつきましては会長、副会長に一任していただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【嶋崎会長】

これで議長の座を降ろさせていただきます。スムーズな進行に御協力ありがとうございました。

【高橋課長】

嶋崎会長、議事進行ありがとうございました。委員の皆様におかれましても、長時間の御審議ありがとうございました。

何点か連絡事項がございます。お渡ししております承諾書の提出がまだの方につきましては、お帰りの際に事務局職員にお渡しいただきますよう、よろしく願いいたします。また、会議の中もお伝えさせていただきましたが、今一度、部会名簿（案）を御覧いただき御自身が、どこの部会に属されているかということを確認いただきたいと存じます。その上で、何か変更の御要望等あるようでしたら、事務局職員にお伝えいただき、可能な限り、御希望される部会に入れるように配慮いたしたいと存じますのでよろしく願いいたします。

なお、この後、保育園利用者負担検討部会の皆様、また、子ども・子育て支援事業計画部会の皆様につきましては、連絡事項がございますので、そのままお待ちいただきますようよろしく願いいたします。

以上をもちまして令和5年度第1回朝霞市子ども・子育て会議を終了させていただきます。皆様どうもありがとうございました。